

講義内容

経営学部

2006
(平成18)
年度

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

経営学科フレックス A

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	115
4	保健体育科目	243
II	専門教育科目	291
III	他学部履修科目	409
IV	「日本語」・「日本事情」科目	453

経営学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	479
2	教養教育科目	487
3	外国語科目	515
4	保健体育科目	551
II	専門教育科目	567
III	他学部履修科目	635

経営学科フレックス A	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育	「日本語」
	他学部履修科目	「日本事情」
経営学科フレックス B	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育	他学部履修科目

経営学科フレックスA

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経営A1必	通年	4	村松哲文	11
仏教と人間	経営A1必	通年	4	吉村誠	11
仏教と人間	経営A1必	通年	4	伊藤隆壽	12
仏教と人間〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	4	晴山俊英	12
仏教と人間〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	4	岡本一平	13
仏教と人間〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	4	古山健一	13
仏教と人間〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	4	吉津宜英	14
文化と宗教	経営A選	通年	4	長谷部八朗	14
社会と宗教	経営A選	通年	4	池上良正	15
自然と宗教	経営A選	通年	4	小川順敬	15
坐禅	経営A選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	16

科目名	担当者名
仏教と人間	村松哲文

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のほずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	吉村誠

講義のねらい

この講義は、本学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうために設けられています。仏教が現代に生きる私たち人間にとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということ、学問的見地から考察します。

前期は、仏教の開祖ブッダ（釈尊、紀元前5世紀頃）の思想と、その後に発展した大乘仏教（紀元後1世紀頃）の特徴について概説します。後期は、仏教と日本文化の関係について、空海（774-835）がもたらした密教の世界観と、道元（1200-1253）が究めた禅の人間観とを中心に検討します。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）ブッダの生涯（2）ブッダの観たもの（3）ブッダ最初の説法（4）仏教の実践教義（5）業と輪廻（6）真理の言葉（7）ブッダ最後の旅（8）無我から空へ（9）菩薩とは誰か（10）仏像の誕生（12）大乘仏教の伝播（13）お盆の話（後期）（1）お彼岸の話（2）日本への仏教伝来（3）国家と仏教（4）最澄と空海の入唐（5）密教のコスモロジー（6）共生の世界（7）神と仏のシンクレティズム（8）浄土への憧憬（9）禅と無の境地（10）栄西と道元の入宋（11）自己の探求（12）禅と生活文化（13）仏教と現代

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席をしないようにしてください。

成績評価の方法

出席状況とレポート・試験などを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名
仏教と人間	伊藤隆壽

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	晴山俊英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	岡本 一平

講義のねらい

仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期：仏教の思想と歴史に関する概論
 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想
 後期：日本における仏教について
 ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点

講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年
 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	ふる やま けん いち 古 山 健 一

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教科書

プリント随時配布する。

参考書等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『バウッタ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）3,465円 ISBN4794805365

科目名

仏教と人間[再クラス]

担当者名

よし ず よし ひで
吉 津 宜 英

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名

文化と宗教

担当者名

ほ せ べ ち ろ う
長谷部 八 朗

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみよしまさ</small>

講義のねらい	宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手ごかりなども探ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教科書	特に指定しない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわとしゆま</small>

講義のねらい	人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。 この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。
成績評価の方法	評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書	原則として教科書は用いません。
参考書等	講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

担当者名

坐禅

佐藤 秀孝・熊本 英人
さとう しゅうこう くまもと えいじん

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅—講本—』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.487)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「近代」〕	経営A・経営B選	通年	4	川島淳史	23
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	経営A・経営B選	通年	4	田中保	23
歴史学〔日本近代史〕	経営A・経営B選	通年	4	立川章次	24
芸術学(1)〔日本美術〕	経営A選	通年	4	北野良枝	25
芸術学(2)〔西洋美術〕	経営A選	通年	4	矢野陽子	26
芸術学(3)〔音楽〕	経営A選	通年	4	浦本裕子	26
哲学〔西洋思想の源流〕	経営A・経営B選	通年	4	中村友太郎	27
哲学〔西洋思想の源流〕	経営A選	通年	4	河谷淳	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経営A・経営B選	通年	4	鈴木聡	29
論理学〔知の技法〕	経営A選	通年	4	伊古田理	30
論理学〔知の技法〕	経営A選	通年	4	植野公稔	31
科学史〔近代科学の成立と展開〕	経営A選	通年	4	高橋秀裕	31
倫理学(1)〔人間観〕	経営A選	通年	4	古田知章	32
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	経営A選	通年	4	黒崎剛	33
倫理学(3)〔価値観〕	経営A選	通年	4	滝沢正之	33
倫理学(4)〔応用倫理学〕	経営A選	通年	4	麻生亨志	34
倫理学(5)〔制度とモラル〕	経営A選	通年	4	滝口清栄	34
倫理学(6)〔東洋倫理〕	経営A選	通年	4	末木恭彦	35
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	経営A・経営B選	通年	4	池上良正	35
宗教学(2)〔聖と俗〕	経営A・経営B選	通年	4	田中かの子	36
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	経営A・経営B選	通年	4	小川順敬	36
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	経営A・経営B選	通年	4	矢野秀武	37
宗教学(5)〔生活と宗教〕	経営A・経営B選	通年	4	菅原壽清	37
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	経営A・経営B選	通年	4	浅川泰宏	38
人文地理学(1)〔風土と文化〕	経営A選	通年	4	山口太郎	39
人文地理学(2)〔風土と文化〕	経営A選	通年	4	高橋健太郎	40
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	経営A選	通年	4	伊藤修一	41
教育の思想	経営A・経営B 2選	半期	2	伊藤茂樹	41
教育の思想	経営A・経営B 2選	半期	2	坂本信昭	42
教育の思想	経営B 2選	半期	2	豊田千代子	42
教育の思想	経営B 2選	半期	2	北村三子	43
教育の思想	経営B 2選	半期	2	萩原建次郎	43
教育と社会	経営A・経営B 2選	半期	2	伊藤茂樹	44
教育と社会	経営A・経営B 2選	半期	2	坂本信昭	44
教育と社会	経営B 2選	半期	2	豊田千代子	45
教育と社会	経営B 2選	半期	2	北村三子	45
教育と社会	経営B 2選	半期	2	萩原建次郎	46
発達と学習の心理学	経営A・経営B 2選	半期	2	小倉康仁	47
発達と学習の心理学	経営A・経営B 2選	半期	2	三國隆子	47
発達と学習の心理学	経営A・経営B 2選	半期	2	飯田都	48
発達と学習の心理学	経営B 2選	半期	2	大浜幾久子	48

発達と学習の心理学	経営B2選	半期	2	角野善司	49
カリキュラムと学習	12以降入学生/経営A・経営B2選	半期	2	小倉康仁	50
カリキュラムと学習	12以降入学生/経営A・経営B2選	半期	2	三國隆子	50
カリキュラムと学習	12以降入学生/経営A・経営B2選	半期	2	杉山二季	51
カリキュラムと学習	12以降入学生/経営B2選	半期	2	大浜幾久子	51
カリキュラムと学習	12以降入学生/経営B2選	半期	2	角野善司	52
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	片山晴賢	53
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	萩原義雄	54
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	佐原作美	55
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	鈴木裕子	55
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	坂口博規	56
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	藺部幹生	56
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	石割透	57
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	小林治	57
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	松田直行	58
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/経営A1選	半期	2	湯浅陽子	59
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	佐原作美	60
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	鈴木裕子	60
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	坂口博規	61
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	藺部幹生	61
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	石割透	62
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	小林治	62
日本文化基礎	経営A1・2選	半期	2	松田直行	63
日本語文化基礎	経営A1・2選	半期	2	片山晴賢	64
日本語文化基礎	経営A1・2選	半期	2	萩原義雄	65
日本語文化基礎	経営A1・2選	半期	2	湯浅陽子	66
日本文化研究I A	経営A選	通年	4	佐原作美	67
日本文化研究I A	経営A選	通年	4	坂口博規	67
日本文化研究I A	経営A選	通年	4	鈴木裕子	68
日本文化研究I A	経営A選	通年	4	藺部幹生	68
日本文化研究I B	経営A選	通年	4	石割透	69
日本文化研究I B	経営A選	通年	4	小林治	69
日本文化研究I B	経営A選	通年	4	松田直行	70
日本文化研究II A	経営A2・3・4選	通年	4	(19年度より開講予定)	
日本文化研究II B	経営A2・3・4選	通年	4	(19年度より開講予定)	
日本語文化研究I	経営A選	通年	4	片山晴賢	71
日本語文化研究I	経営A選	通年	4	萩原義雄	72
日本語文化研究I	経営A選	通年	4	湯浅陽子	74
日本語文化研究II	経営A2・3・4選	通年	4	(19年度より開講予定)	

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	経営A・経営B選	通年	4	呉炳三	75
統計学〔社会現象の統計的分析〕	経営A・経営B選	通年	4	田中正光	76
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	経営A・経営B選	通年	4	杉井純一	77
文化人類学〔社会変化と価値観〕	経営A・経営B選	通年	4	内山明子	78
法学・憲法〔法と国家〕	経営A・経営B選	通年	4	佐藤多美夫	79
法学・憲法〔法と権利〕	経営A・経営B選	夏季集中	4	池田実	80
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	経営A・経営B選	通年	4	横田匡紀	80
社会科学論〔社会認識の思想〕	経営A・経営B選	通年	4	大石雄爾	81
教育学〔デス・エデュケーション〕	経営A選	通年	4	柳堀素雅子	82
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	経営A選	通年	4	小田切紀子	83

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生物と環境〕	経営A・経営B選	通年	4	中村敏枝	84
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	経営A・経営B選	通年	4	市川清士	84
自然環境論〔生命と環境〕	経営A・経営B選	通年	4	坂野井和代	85
自然環境論〔生命と環境〕	経営A・経営B選	通年	4	中村敏枝	86
自然誌〔現代の自然像〕	経営A選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	87
数学(1)〔微積分学入門〕	経営A選	通年	4	小沢誠	88
数学(2)〔線形代数学入門〕	経営A選	通年	4	小沢誠	88
数学(3)〔現代数学入門〕	経営A選	通年	4	福田賢一	89
情報数学〔情報と論理〕	経営A・経営B選	通年	4	坂野井和代	89
物理学〔光と物質〕	経営A選	通年	4	篠原正雄	90
化学〔衣食住の化学〕	経営A選	通年	4	持丸真里	91
宇宙科学〔星と銀河〕	経営A選	通年	4	篠原正雄	91
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	経営A選	通年	4	篠田謙一	92
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	経営A・経営B選	通年	4	仲渡江美	92
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	経営A・経営B選	通年	4	加藤博己	93
心理学〔心を科学する〕	経営A・経営B選	夏季集中	4	深堀友覚	93

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	経営A選	通年	4	四津谷孝道	94
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	経営A選	通年	4	熊本英人	95
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	経営A選	通年	4	村松哲文	95
総合Ⅱ				休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	経営A選	通年	4	ピアス, D. M.	96
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	経営A選	通年	4	岡崎寿一郎	97
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	経営A選	通年	4	野島利彰	97
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	経営A選	通年	4	林明人	98
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	経営A選	通年	4	西村祐子	98
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	経営A選	通年	4	丸小哲雄	99
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	経営A選	通年	4	石原孝哉	100
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	経営A選	通年	4	大野祐二	100
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	経営A選	通年	4	青柳かおる	101
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	経営A選	通年	4	早川紀代	102
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	経営A選	通年	4	高橋洋城 他	103
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	経営A選	通年	4	内海麻利 他	104
総合Ⅷ				休講	

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔近代〕〕	かわしまあつし 川島淳史

講義のねらい

日本近代文学の成立期における西欧文化の受容と反動について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

明治新政府は積極的に欧化政策を推進してきたが、やがてその極端な欧化主義に対する反発と揺り戻しから、国粹的な傾向が強まっていった。思想の面でも欧化主義を批判する言説が現れ始める。徳富蘇峰は民友社を創設し平民主義を、三宅雪嶺は政教社を結成し国家主義を唱えた。文学もまたこのような動きと無縁ではなく、文学者たちによって新しい文学の創出が試みられていったのである。

今年度は明治開化期から二十年代にかけての時代状況を俯瞰し、それがいかに文学作品の中に投影されているのかを考えてみたい。戯作から翻訳小説や政治小説の隆盛を経て、坪内逍遙の『小説神髓』、二葉亭四迷の『浮雲』に至る過程を中心に考察していきたいと思う。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携帯してこること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくこと。

成績評価の方法

講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教科書

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名
文学〔外国文学〔アメリカ文学〕〕	たなかたけつ 田中保

講義のねらい

アメリカ文学を概観する授業です。ある程度アメリカ文学史に沿って授業を進めていきますが、今年は各時代の歴史と文化を背景にした主な作品を取り扱って、アメリカという国を歴史的、文化的側面から考察していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は足早にアメリカ文学を概観しながら、主な作品を紹介して行きます。

後期は受講者が各自主な作品の中から関心のある作品を選んで、ひとりで或いはグループ編成をして発表していただく予定です。

履修上の留意点

アメリカ文学作品を実際に読んで、作品を通してアメリカという国を考えてみて下さい。

成績評価の方法

前期・後期のレポート、発表、出席状況等で総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しませんが、参考書等は適宜紹介します。

必要に応じてプリントを配布します。

その他

いささかでもアメリカ文学に触れてみたいと思うひとは受講して下さい。

科目名**担当者名**

歴史学〔日本近代史〕

立川章次

教養教育

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
 幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
 後期 外交の転機となった最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書

尾佐竹猛『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）800円

科目名

担当者名

芸術学（１）〔日本美術〕

きたのよしえ
北野良枝

教養教育

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期 室町から桃山時代の絵画
- (1) ガイダンス
 - (2) 絵画に関する基礎知識
 - (3) ～ (7) 室町時代の水墨画
 - (8) 阿弥派
 - (9) 関東水墨画
 - (10) 土佐派
 - (11) 狩野正信・元信
 - (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
- 後期 江戸時代の絵画
- (14) 江戸時代の狩野派
 - (15) ～ (18) 琳派
 - (19) ～ (20) 浮世絵
 - (21) 南蘋派
 - (22) 文人画
 - (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 - (24) 円山四条派
 - (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名

担当者名

芸術学(2)〔西洋美術〕

矢野陽子

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／物語画
後期 物語画以外の諸ジャンル／様式の問題と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。

参考書等

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円
三浦篤著『まなごしのレッスン①西洋伝統絵画』(東京大学出版会) 2,625円

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名

担当者名

芸術学(3)〔音楽〕

浦本裕子

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものに聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのだろうか。

音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ヨーロッパの音楽
(民族音楽とクラシック音楽)
後期：諸民族の音楽(アジアを中心に)

履修上の留意点

・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』(音楽之友社)

参考書等

藤井知昭他編『民族音楽概論』(東京書籍)

科目名**担当者名**

哲学〔西洋思想の源流〕

なかむらともたろう
中村友太郎

教養教育

講義のねらい

古代ギリシアに起源をもつ西洋思想の展開をその端緒から歴史的に辿ることを通じて、「哲学的に考えること」の基本姿勢を、理解しつつ習得することを目標とします。究極的には、現代世界に生きる者として知的探究することがねらいですが、まずは源流に触れて古典的な思考法を身につける努力から始めましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕古代ギリシアの思想家たちにおける自然観と人間観の形成過程を中心に。中世キリスト教哲学および近代思想の形成期における哲学思索を中心に。なお、講義の内容も展開も参加者の対応次第で変わることがあります。

履修上の留意点

「哲学」（フィロソフィア）の名に値する知的探求は、みずから問いかけ思考しつづけることが基本ですから、受身的なだけの講義参加は無意味です。熱意をもって取りくむ覚悟が必要です。

成績評価の方法

毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や夏休みの課題を含むレポート提出と年度末の定期試験により総合的に成績評価します。それゆえ、継続的な意識をもった授業参加が不可欠です。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円。ほかに資料等のコピーを適宜配布します。

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

その他

小グループ方式等による討議や話し合いの場も大切にしたい。

科目名

担当者名

哲学〔西洋思想の源流〕

かわ 谷
河 谷
たに 谷
あつし 淳

教養教育

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（１）ギリシア哲学：哲学の始まり
ソクラテス以前の哲学
ソクラテスの「無知の自覚」
プラトンのイデア論
アリストテレスの質料形相論

後期：（２）キリスト教哲学：信仰と合理性
神の存在証明
普遍論争（唯名論と実在論）
（３）近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名**担当者名**

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

すずき 木 聡

教養教育

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名

担当者名

論理学[知の技法]

伊古田 理

教養教育

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道德の理由（なぜ道德なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名
論理学[知の技法]	植野公稔

講義のねらい	いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいていってほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。
履修上の留意点	本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人々もいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてってくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。
成績評価の方法	事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題(2000字程度)によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。
教科書	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)

科目名	担当者名
科学史[近代科学の成立と展開]	高橋秀裕

講義のねらい	近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講義では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。
履修上の留意点	いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード(兼出席票)を配布するので、不明な点は質問してほしい。
成績評価の方法	講義内に課すコメントカード(兼出席票)と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書	特に指定しない。
参考書等	講義の際に適宜紹介する。
その他	講義形式、随時プリント配布

科目名

担当者名

倫理学（1）〔人間観〕

ふる た とも あき
古 田 知 章

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―新しい時代の人間観
 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ―ロックを手がかりに―
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（２）（７）〔応用倫理学〕	黒崎剛

講義のねらい	「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の倫理——講義の課題概説 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想 3. 人工妊娠中絶 4. 安楽死と尊厳死 5. 脳死と臓器移植 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点 7. 遺伝子操作論
履修上の留意点	課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。
成績評価の方法	受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。
教科書	教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（３）〔価値観〕	滝沢正之

講義のねらい	<p>ねらいは二つある。</p> <p>第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はずでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。</p> <p>第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。
履修上の留意点	特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	適宜プリントを配布する予定。 また、講義中に適宜指定する。
参考書等	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	麻生 享 志

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で“実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	滝口 清 栄

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐるとの思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
倫理学（6）〔東洋倫理〕	末木恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>

講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。
履修上の留意点	ノートはしっかりと取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
教科書	浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
宗教学（1）〔比較宗教文化〕	池上良正 <small>いけ がみ よし まさ</small>

講義のねらい	宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教科書	特に指定しない。
参考書等	『岩波講座・宗教』（全10巻）岩波書店。『エリアーデ著作集』せりか書房。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』筑摩書房。脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫。加藤隆『新約聖書の誕生』講談社。ラージュ『ユダヤ教とはなにか』青土社。

科目名

宗教学（2）〔聖と俗〕

担当者名

田中かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の恐れ・感謝・願いをテーマにしなが、ら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名

宗教学（3）〔世界観と儀礼〕

担当者名

小川順敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずですよ。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名
宗教学（４）〔日本人の宗教〕	矢野秀武

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。
成績評価の方法	レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。
教科書	なし
参考書等	授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
宗教学（５）〔生活と宗教〕	菅原 壽清

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。 授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教学・宗教人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教
成績評価の方法	試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）
教科書	指定なし
参考書等	『宗教学ハンドブック』（世界書院）
その他	授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・講義中の私語は厳禁とします。
- ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願い致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点+平常点40点=合計100点
- ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
 - ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
東京年表、同潤会（アパート）の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市
選好地図、場所のイメージ（軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み）、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』（紀伊国屋書店）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科 目 名**担 当 者 名**

人文地理学（2）〔風土と文化〕

たか ばし けん たろう
高 橋 健太郎

教養教育

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

教 科 書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参 考 書 等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）
鈴木秀夫『風土の構造』、講談社（講談社学術文庫）
佐々木高明『日本文化の基層を探る』（日本放送出版会）
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』（古今書院）
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』（朝倉書店）
中島峰広『日本の棚田』（古今書院）
溝尾良隆『観光学』（古今書院）
若林幹夫『地図の想像力』、講談社（講談社選書メチエ）

そ の 他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	担当者名
人文地理学（3）（4）〔空間と行動〕	伊藤修一

講義のねらい	日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造 後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。
成績評価の方法	原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。
教科書	教科書は用いない。
参考書等	北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6 ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。
その他	講義ではプリントを随時配布する。

科目名	担当者名
教育の思想	伊藤茂樹

講義のねらい	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	坂本信昭

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	豊田千代子

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」（ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想（子ども観）
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	北村三子 <small>きたむらみつこ</small>

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	萩原建次郎 <small>はぎむらけんじろう</small>

講義のねらい	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ (2) 発達の思想を学ぶ (3) 学習の思想を学ぶ
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。
成績評価の方法	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
教科書	特に使用しない。
参考書等	そのつど紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>
講義のねらい	学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・現代の教育問題 ・教育改革の動向
履修上の留意点	ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	坂 本 信 昭 <small>さか もとのぶ あき</small>
講義のねらい	人間の社会に余暇をもつ少数の人々がうまれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。
講義の内容・授業スケジュール	講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。 ・学校教育のあゆみ ・学校の社会的機能 ・学校教育の現実と課題 ・その他（教師論等）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
参考書等	西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	豊田千代子

講義のねらい	教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・学習体験のふり返し 自分たちが受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。 ・教育と人権 障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	北村三子

講義のねらい	近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。
講義の内容・授業スケジュール	日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	小倉康仁 <small>おぐら やすよし</small>

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義
- ②発達の規定因（遺伝と環境）
- ③発達のメカニズム（成熟と経験）
- ④発達観と教育可能性
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育
- ⑥発達の様子（発達時期・発達段階）
- ⑦学習のメカニズム（学習理論）
- ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲）
- ⑨教授-学習過程
- ⑩個性・個人差と教授法（適性-処遇相互作用）

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。

教科書

未定（配布プリントを中心に授業を進める予定ですが、教科書を併用する場合には、開講時に指示します）。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	三國隆子 <small>みくに りゅうこ</small>

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容について的小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	飯田 都

講義のねらい

発達心理学・学習心理学は、教育現場で子どもを理解する際の基本的な視座を示す学問である。本授業では、そのトピックの中から、発達初期の愛着形成・学齢期の学習・思春期の自我発達の3つに主に焦点を当てて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達初期：子どもの愛着形成
- 2) 学齢期の学習：認知発達と動機付け
- 3) 思春期の自我発達：自我発達の特徴と友人関係の変化など

履修上の留意点

・自身の学校体験やこれまでの成長を振り返って記載してもらう機会があります。
・ディスカッションやディベート、もしくは一つのトピックを定めた調べ学習などのワークを取り入れる可能性があります。

成績評価の方法

定期試験・レポート（授業の際の小レポート）
出席を取ります。講義の半数以上欠席の方は単位取得を認めません。

教科書

資料は必要に応じて配布します。

参考書等

高野清純監修『図で読む心理学「学習」』（福村出版）2,060円
川島一夫『図でよむ心理学「発達」』（福村出版）2,060円
他は授業の中で適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	大 浜 幾 久 子

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

発達と学習の心理学

担当者名すみ の ぜん し
角 野 善 司

教養教育

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因
(6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ
(9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属
(12) 学習目標と遂行目標 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	小倉 康仁

講義のねらい

カリキュラムの基本的な構成原理を把握したうえで、日本の現行教育課程を理解し、児童・生徒の発達と学習のしくみを踏まえながら、教育効果を上げるための適切な教授法や評価法について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？
- ②カリキュラムの構成原理と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラムと学習の転移
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。

教科書

未定（開講時に指示します）。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	三國 隆子

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	すぎやまふたき 杉山二季

講義のねらい	カリキュラムという言葉には、学習指導要領に代表されるような、公的な教育計画の枠組みという意味があります。けれどももっと広義に捉えるときには、学習の経験や履歴という意味も持っています。本授業では、このようなカリキュラムの二重の意味に注目し、子どもたちの学習をデザインする方法と課題について検討していきます。この授業を通して、学校や教師が果たしている複数の機能についての理解を深め、望ましいカリキュラムのありかたについて考えていって欲しいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業で取り上げるテーマは以下のものを予定しています。 ①カリキュラムとは何か ②学習指導要領の変遷 ③教育内容の編成と課題 ④かくれたカリキュラムとは何か ⑤カリキュラムのデザインと評価
成績評価の方法	毎回の授業中に課す小レポートと、学期末の試験成績とで総合的に評価します。小レポートの提出は出席を兼ねるので、必ず提出すること。
教科書	教科書は使用せず、資料プリントを適時配布して使用します。
参考書等	授業中に適時紹介します。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	おおはまきくこ 大浜幾久子

講義のねらい	はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。
成績評価の方法	レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。
参考書等	『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省 その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。
その他	前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名

担当者名

カリキュラムと学習

すみの せんじ
角野善司

教養教育

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カリキュラム（教育課程）とは
- (2) カリキュラムに関する法制
- (3) カリキュラム編成の原則
- (4) 学習指導要領改訂の歴史
- (5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針
- (7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針
- (9) 学習指導要領をめぐるその後の動き
- (10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価
- (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名

担当者名

フレッシュマンセミナー

かた 片
やま 山
はる はる
かた 賢

教養教育

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は剩りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点が合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

科目名

担当者名

フレッシュマンセミナー

ほらよし
萩原義雄

教養教育

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|---|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明 |
| 02の講義内容 | 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い |
| 03の講義内容 | 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際 |
| 04の講義内容 | 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き |
| 05の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き） |
| 06の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き） |
| 07の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合） |
| 08の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語） |
| 09の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語） |
| 10の講義内容 | 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことは） |
| 11の講義内容 | 日本語表現文章と国際政治社会における文章 |
| 12の講義内容 | 文章作成能力開発その1 |
| 13の講義内容 | 文章作成能力開発その2 |
| 14の講義内容 | 文章作成能力開発その3 |
| 15の講義内容 | 期末課題レポートの提出 |

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れていた場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	佐原 作美

講義のねらい	学生生活を送るに当って、学部学科を問わず、特に必要と思われる基礎的な事柄や心得について学び、かつその応用力を高め会得することを主眼とする。
講義の内容・授業スケジュール	学生に求められる基本的なものとして、文章の読解力や表現力あるいは思考力があげられよう。そこで授業では、かかる読み、書き、考える、の力を高めることを目指したい。その手段として、古典などの文学作品を素材として進めていきたい。あわせて日本の伝統文化や思想の面についても理解が得られるよう工夫していきたい。
履修上の留意点	目的意識と集中力をもって臨んでほしい。
成績評価の方法	時々の提出物や試験や授業への出席（重視）等をもって総合的に評価する。
教科書	必要性が生じれば授業時に指示するが、当初はプリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子

講義のねらい	自己表現のためのレッスン。 あなたは、文章を読んだり書いたりするのを苦痛に思うタイプ？ 人から誤解されていると思ってもハナから反論するのを諦めてしまう人？ 感想文を書いたとき、思っていることを「正直」に書いて嫌な思いをしたことはない？ ……そんな自分を少しでも変えたい！と思っていないだろうか。この講座のねらいは、そのような人たちのために、自己表現力を養う手助けをしようというものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期の授業の前半は文章の読み方とレポートの書き方、後半はいろいろな文章を多角的に批判し、各自が問題意識をもって書かれたものを理解する姿勢を養う。なお、教材とする文章は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など広く、また今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。
履修上の留意点	授業ではさまざまな種類の文章を次から次へと読み、内容をまとめ、レポートを書き、報告することが要求されるので、積極的に授業に参加すること。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には全く不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数の方が望ましい。希望者は最初の授業から出席すること。
成績評価の方法	提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	清水良典『自分づくりの文章術』（ちくま新書）、その他プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に指示する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	坂口博規

講義のねらい

本年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

始どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

定期試験時に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	蘭部幹生

講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生活。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。

ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	石割透 <small>いしわり とほろ</small>

講義のねらい	言葉で表現すること、表現されたものを享受し、理解すること、それを学ぶために、この時間では、短篇小说の名作をとりあげて、小説を読むことの面白さを学びたい。これを契機に、短篇小说の多様な面白さを知るとともに、小説を書いてみたいという気持ちを起こしてもらえれば、嬉しく思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業で一つの短篇をとりあげ、そのあらすじ、面白さのポイントを紹介し、表現の巧みさに触れ、表現方法の基本を勉強していく。
履修上の留意点	授業でとりあげる作品は、日本文学とは限らないが、前もって必ず読んできてほしいと思う。読むテキストは、授業時に紹介する。短篇小说は、読み終えるのに多くの時間を必要としないので、準備をしてきてほしい。
成績評価の方法	面白いと思った短篇小说について、その面白さに触れたレポートを幾つか提出する。それに出席状況を考慮して評価したい。
教科書	指定しない。扱う作品によっては、こちらでコピー等を用意する。
参考書等	授業時に、適宜指示する。
その他	短篇小说を読み愉しむのみではなく、創作することに関心をもっていたかくことを期待している。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	小林治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

科目名**担当者名**

フレッシュマンセミナー

まつ だ なお ゆき
松 田 直 行

教養教育

講義のねらい

新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。大学の授業は、ただ与えられるものを受け入れるだけの態度では成立しない。自分の興味関心にしたがって、自分から積極的に働きかけ、自分なりの考えを持つことが必要となる。4年間の学業を始めるにあたって、レポートの書き方や図書館の活用法など実務的な基本を確認するとともに、こうした「学ぶ態度」の基本を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 変わる大学 (3) 教養とは何か (4) 地域と大学 (5) コミュニケーションを考える (6) レポートの書き方 (7) 図書館の活用法 (8) パソコン活用術 (9) メディア・リテラシー

履修上の留意点

大学の授業から最大限のものを引き出して身につけたいと真剣に考えている学生を対象とした授業である。まずは授業に出席しなければ何事も始まらないので、規定にある2/3よりは多い出席を求め、遅刻は認めない。最初の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。また授業時間以外で、世田谷区内の文化施設に行きその報告を求めることを考えている。

成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

その他

本年度から新たに開設する科目なので、受講者数によって授業方法を柔軟に考えながら進めたい。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	湯浅陽子

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及し、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となっています。コンピュータ、そしてネットワークを道具として使いこなすための知識と技術(=情報リテラシ)を身につけることは、「読み・書き・そろばん=計算」技術を身につけることと同様に、現代人にとって必須と言えます。

この授業は、高校までの間にコンピュータに触ったことはあるが、使いこなしているとは言えない初心者を対象とします。

パソコンを使いこなすには、タッチタイピング技能(=手元を見ないで打つ技能)が必須条件となります。これができていない人は短期間に独習しておいてください。そのうえで、情報リテラシを身につけ、パソコンを利用して自己表現したり、問題を解決したりするための知識・技術を身につけることを目標とします。授業は一人1台のパソコンを使っでの実習が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 あなたのできること・できないことの確認 (タッチタイピングできますか?)
- 第2回 簡単な文書作成・ファイルとフォルダの管理
- 第3回 電子メールの基礎知識・電子メールにおけるビジネス文書
- 第4回 実例で学ぶビジネス文書(社内文書/社外文書)・(英文と和文の構成)
- 第5回 ビジネス文書作成実務、添付ファイルで送る(圧縮と解凍)
- 第6回 簡単な表の作成とグラフ
- 第7回 実例で学ぶエクセル(見積書の作成等)
- 第8回 関数を使用する表の作成
- 第9回 エクセルのデータベース機能
- 第10回 レポート・論文の書き方(参考文献の引用のルール)、ヘッダーとフッター、脚注の挿入
- 第11回 プレゼンテーションのテクニック(1)
- 第12回 プレゼンテーションのテクニック(2)
- 第13回 まとめ

履修上の留意点

履修を希望する人は、受講許可を受けてください。

また、入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、IDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使えません。オリエンテーションを受けてIDが発行されると、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。

コンピュータを使いこなせるようになりたければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、自習で補ってください。

成績評価の方法

実習科目につき、出席を重視します。また、タッチタイピングの完成度、10分間の人力スコア結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した提出物の可否、授業時間内の積極性・熱心さ、授業内に行う実技テストなどによって総合評価を行います。

教科書

『情報リテラシーテキスト(改訂版)』(noa出版)を予定していますが、適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことに変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科 目 名	担 当 者 名
日本文化基礎	佐 原 作 美 <small>さ ばら まく み</small>

講義のねらい

日本文化の特色や源流を探ろうとするとき、その主たる対象は古典文学にあると言えよう。そこで、当科目においては、奈良・平安時代に成った古典文学を素材として、日本人の精神文化の有りようなどその一端を探って行きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

古典文学の中から、古代人の心性を顕著に見せる作品を学生と共に読みながら問題点の掘り起しをして行きたい。特に、古代の人々の言語観や靈魂観や自然観などを中心に見て行きたい。

履修上の留意点

目的意識と集中力、更に素朴な感性をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

時々の提出物や試験や授業への出席（重視）等を見て総合的に評価する。

教 科 書

必要性が生じれば授業時に指示するが、当初はプリントの配布をもって行う。

参 考 書 等

必要に応じ授業の中で指示し紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
日本文化基礎	鈴木 裕 子 <small>すず き ひろ こ</small>

講義のねらい

〈家族〉の文学史―描かれた古代の女と男―
おもに平安時代の文学作品を通して、古代の家族の様相を見ていきたい。例えば、良妻とは、悪妻とは、それぞれどんな妻を言うのか、悪母にはどんな母がいたか、慈母とは何か、理想的な父子関係とは、また親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど実際に古典の一節を読みながら考える。

講義の内容・
授業スケジュール

扱う作品は、『源氏物語』をはじめとする物語や、『蜻蛉日記』や『更級日記』などの日記文学、『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。あわせて、古典のおもしろさが味わえるとよいと思っている。

履修上の留意点

授業は主としてテキストやプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行う試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教 科 書

服藤早苗『平安時代の女の生き方』（小学館）
その他プリント教材。

参 考 書 等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	<small>さか</small> 坂 <small>ぐち</small> 口 <small>ひろ</small> 博 <small>き</small> 規

講義のねらい

日本文化の一つとして、昔話・民譚・民話と称される説話伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して、人間と結婚するという伝承であり、特に異類女房譚を考察する。本講義では古代の伝承から現在各地で伝承される伝説の類にまで目を向けて、日本文化の深層に関心を向けてもらうことを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

異類女房譚は、その異類の郷土（異郷）を基礎に大きく三つの系統があり、「空」を郷土とする白鳥処女説話（羽衣伝説）とか「海」を郷土とする浦島伝説や「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説などがある。半期科目なので本年は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説し（1）、次いで白鳥処女説話について解説した後に、日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も白鳥処女説話の系譜に立つ物語であり、「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話は室町時代物語草子の中にも存在するので、その考察もする（7～10）。更に現在日本各地で伝承される羽衣伝説についても言及したい（11～13）。

履修上の留意点

白鳥処女説話は世界各地でも伝承される「世界大物語」であり、古代からの伝承の背景には時代時代の思想や信仰が指摘されておりそうした幅広い関心を喚起し得れば幸いである。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況を加味して評価する。

教科書

プリントを配布し解説する。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	<small>その</small> 薗 <small>べ</small> 部 <small>みき</small> 幹 <small>お</small> 生

講義のねらい

真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承文芸。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めするので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	石割透 <small>いしわり とおる</small>

講義のねらい	日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。
講義の内容・授業スケジュール	「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができるのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。
履修上の留意点	「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも抜け、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。
教科書	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。
参考書等	その都度、授業中に紹介する。
その他	映画などは、ビデオで見せることを考えています。

科目名	担当者名
日本文化基礎	小林治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい	宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに困り込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。
講義の内容・授業スケジュール	上記の賢治作品の実相を、生前発表作品と、『ポラーノの広場』、『グスコブドリの伝記』など、後に「少年小説」と名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に関心を持って作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きい迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』、『同第8巻』(ちくま文庫) その他、適宜プリントも配布する。
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行

講義のねらい

日本の近現代史と文化・風俗を「流行歌」という切り口から概観する。新入生と2年次生を対象とし、ただ授業に出席して話を聞くだけではなく、自分の興味にしたがって自分で感じ、調べ、考え、それをレポートとしてまとめるという大学での学業の基本を身につけていただくこと自体も目的の1つとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 音の科学 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

毎回出席して真剣に学びたいと考えている学生だけを対象としている。遅刻は認めず、与えられた課題を提出できない学生や欠席の多い学生はその段階で受講をお断りすることになる。

成績評価の方法

定期試験期間中にレポートを提出していただく。授業の中で提出を求める課題や出席状況をそれに加味して採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

佐藤良明「J-POP 進化論」平凡社新書008。ほかは授業の中で随時紹介する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者数によって授業形態を柔軟に考えながら進めたい。

科目名

担当者名

日本語文化基礎

かた やま はる かた
片 山 晴 賢

教養教育

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明 |
| 02の講義内容 | 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い |
| 03の講義内容 | 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際 |
| 04の講義内容 | 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど) |
| 05の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本) |
| 06の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本) |
| 07の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本) |
| 08の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本) |
| 09の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本) |
| 10の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本) |
| 11の講義内容 | 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に) |
| 12の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本) |
| 13の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本) |
| 14の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本) |
| 15の講義内容 | 期末課題リポートの提出 |

履修上の留意点

許容の人数制限を実施します。

成績評価の方法

期末にリポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

科目名	担当者名
日本語文化基礎	萩原 義雄

教養教育

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明 |
| 02の講義内容 | 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い |
| 03の講義内容 | 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際 |
| 04の講義内容 | 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど) |
| 05の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本) |
| 06の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本) |
| 07の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本) |
| 08の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本) |
| 09の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本) |
| 10の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本) |
| 11の講義内容 | 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に) |
| 12の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本) |
| 13の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本) |
| 14の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本) |
| 15の講義内容 | 期末課題レポートの提出 |

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠していません。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録 (ネットへの添付資料) にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句 (書名・人名・用語など) の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部 (日本文化部門) & 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP (情報言語学研究室) 上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料は HP (情報言語学研究室) 上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名

担当者名

日本語文化基礎

湯浅陽子

教養教育

講義のねらい

情報通信機器を使いこなす上で必要な表現力（社会人として必要な日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や感じの間違いを減らすことに重点を置きます。

また、社会生活に必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 情報利活用力における表現力の位置づけ

第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）

第3回 語彙を増やす（慣用句）

第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1

第5回 良い文のポイント

第6回 良い文のポイント、練習2

第7回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3、練習4

第8回 さまざまなビジネス文書、練習5

第9回 小論文の構成、原稿用紙の使用法、練習6

第10回 エントリーシート、練習7

第11回 色彩の基礎知識、練習8、練習9

第12回 図解とグラフ、練習10、練習11

第13回 Drill

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、受講許可により人数制限をします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回提出する課題と最終試験により評価します。

教科書

『伝える力がつければ変わる！情報表現力』（noa 出版）

参考書等

適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになりは変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	佐原 作美

講義のねらい	授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を収める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標とした。
講義の内容・授業スケジュール	憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら学生と共に読んでいきたい。
履修上の留意点	授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向うようにしてほしい。
成績評価の方法	出席状況や質疑、およびレポートなどの提出物などを見て総合的に評価する。
教科書	土橋 寛編『作者別万葉集』(おうふう) 2,000円
参考書等	授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	坂口 博規

講義のねらい	鎌倉時代初期に成立した私家集 (=個人歌集)『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子(安徳天皇母)の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文 (=詞書)と韻文 (=和歌)が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	開講時(1・2)は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介(3)、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する(4~13)。後期は似絵(肖像画)の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め(14~25)、和歌文学の魅力を考える(26)。作品研究という形で本文を読みたい。
履修上の留意点	和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。
成績評価の方法	学年末の定期試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。
教科書	久富高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう) 1,890円

科目名

日本文化研究 I A

担当者名

鈴 木 裕 子

講義のねらい

『源氏物語』『賢木』巻を読む
『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔から多くの人に読み継がれて来た日本文学の傑作である。この物語のどこにそのような価値があるのだろうか。受講者各自に答を見つけてもらいたい。現代に生きる私たちが『源氏物語』の世界を理解することは容易ではないが、実際に古典の言葉に触れることで作品の世界を感じ、現代に通じる人間の心や苦悩を味わうことができるとよいと考えている。作品を支える文化を理解し、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになることが理想である。

講義の内容・授業スケジュール

『賢木』巻は、野宮での光源氏と六条御息所の別離、光源氏の庇護者であった父桐壺院の崩御、秘密の恋の相手藤壺の出家、光源氏と朧月夜の密会露見など、光源氏の人生を大きく変転させるさまざまな出来事が描かれる巻である。この巻を読むことで、『源氏物語』の表現の特色や作品の構造、主題への理解が深まるようにしたい。はじめに『源氏物語』を概説し、この物語の根幹である光源氏と藤壺の恋の経緯を解説した上で『賢木』巻の作品世界に分け入ることにする。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行う試験(論題等は授業時に提示)・出席状況(遅刻・早退をしないことは大前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

阿部秋生ほか校注訳 古典セレクション『源氏物語3』(小学館)

科目名

日本文化研究 I A

担当者名

園 部 幹 生

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)

参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	担当者名
日本文化研究 I B	いしわり 石割 透

講義のねらい	近代の小説、この時間は特にわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的傾向、文化的な諸問題を検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげる作家、小説は大体次の通りです。志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」「十一月三日午後の事」「焚火」「小僧の神様」、谷崎潤一郎「刺青」「痴人の愛」「小さな王国」「春琴抄」、芥川龍之介「鼻」「芋粥」「秋」「奉教人の死」、江戸川乱歩「二銭銅貨」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」など。
履修上の留意点	授業でとりあげる作品は、短編小説が中心である。前もって必ず緻密に読んでおいて下さい。
成績評価の方法	年度に2、3回、作品について論じたレポートを提出。原稿用紙7枚以上のレポートとともに、出席状況、授業時の態度によって評価する。
教科書	プリントを随時配布。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）を常に備えておくこと。とりあげる作品の多くは、文庫本で読めます。
参考書等	授業時に指示する。
その他	講義形式で授業を進める予定。

科目名	担当者名
日本文化研究 I B	こばやし 小林 治

講義のねらい	現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。
教科書	安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円 その他、適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

科目名**担当者名**

日本文化研究 I B

まつ だ なお ゆき
松 田 直 行

教養教育

講義のねらい

現代日本における芸能と演劇の諸相を広い視野から概観する。現代の日本においては、近代になって西洋から移入した「演劇」とともに、歌舞伎や能・狂言などの伝統芸能も併存し、互いに影響を与えあって新たな文化を創造しつつある。映像メディアや様々な芸能との関連も視野に入れ、その歴史的文化的な背景にも触れながら、多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 芸能とは何か (3) 現代日本の芸能と演劇の実情 (4) 近代演劇の移入と新劇 (5) 伝統芸能の世界 (6) 宝塚とミュージカル (7) 漫才と喜劇 (8) 大道芸と見世物 (9) 現代演劇の諸相 (10) 鴻上尚史の演劇 (11) 演劇ワークショップ

履修上の留意点

授業ではなるべく映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、それを随時レポートとして報告していただく。また講義を受動的に聞くだけでなく、興味のある事項について自分で調べ、簡単な発表をしていただく予定である。授業の中で作品を見る場合も多いので、基本的に毎回出席することを当然と考えている学生以外は、単位の取得は難しいと考えていただきたい。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験期間中にそれぞれ試験またはそれに代わるレポート提出を求める。前期・後期それぞれについて、規定にある通り 1/3 以上の欠席がある場合は受験の資格がない。さらに出席状況や、そのほか授業で随時課すレポートの提出状況により総合的に判定する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業で随時紹介する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者数により、授業の進め方は柔軟に対応することになる。また来年度は、この授業で扱った内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い「日本文化研究 IIB」の開設が予定されており、今年度のこの授業を履修した学生のみがその対象となる予定である。

科目名

担当者名

日本語文化研究Ⅰ

かた やま ほる かた
片 山 晴 賢

教養教育

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
なお、概要は次の通りです。

- ・ 音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・ 文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
- ・ 語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名

担当者名

日本語文化研究Ⅰ

萩原 義雄

教養教育

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
『古事記』(国宝真福寺本)
- 02の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の卷第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 03の講義内容 『万葉集』(「萬葉」と「万葉」の表記、現存『万葉集』最善本の内容、文字表記「万葉仮名」)
- 04の講義内容 『竹取物語』(成立と現存書写資料)
- 05の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井勇作竹下夢二絵『新譯繪入伊勢物語』)
- 06の講義内容 『土左日記』(爲家本と定家本との異なり)
- 07の講義内容 『源氏物語』(人物系図、京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』による漢字の頻度計量国語学的考察)
- 08の講義内容 『大鏡』歴史物語
- 09の講義内容 『方丈記』鴨長明・自筆本の表記形式及び内容
- 10の講義内容 『平家物語』清盛の日宋貿易と『太平御覧』、天草版、真名本
- 11の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』(源頼朝・頼家・実朝、北条政子とその一族)
- 12の講義内容 夏季課題の取扱い手続き方法について説明
- 13の講義内容 夏季課題の提出
- 14の講義内容 『小倉百人一首』「小椋」と「小倉」
後期講義に向けてその方向性と準備を説明
- 15の講義内容 講義文献資料とその催し展の動向と現地見学
- 16の講義内容 『正法眼蔵』 山是山水是水〔山水經〕
- 17の講義内容 『蒙古襲来絵詞』図絵と文
- 18の講義内容 『徒然草』吉田兼好、随筆と謎
- 19の講義内容 『義経記』判官びいき 義経、女人静、奥州平泉文化
- 20の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎(浦島伝説・浦島太郎伝説の謎)・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 21の講義内容 『好色一代男』江戸上方・井原西鶴・元禄の英雄
- 22の講義内容 『奥の細道』松尾芭蕉・風雅のこゝろ
- 23の講義内容 『浮世風呂』庶民のサロン
- 24の講義内容 『南総里見八犬伝』滝沢馬琴・勤善懲悪物
- 25の講義内容 『航米日録』近代への架け橋、『欧米巡航記』
- 26の講義内容 冬季課題の提出

履修上の留意点

- ※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。
- ※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD (ネットへの添付資料) にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句 (書名・人名・用語など) の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
また、総合教育研究学部 (日本文化部門) & 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理

運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎『日本の書物』（新潮社（品切れ）・新潮文庫・著作集・筑摩文庫）時価
インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】（笠間書院）3,800円（税別）
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科 目 名

日本語文化研究 I

担 当 者 名

湯 浅 陽 子
ゆ あさ よう こ

講義のねらい

新社会人のビジネス現場でのコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。ビジネスシーンで必要とされるコミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。

本講義では、職場で円滑な人間関係を築けるように、挨拶や言葉遣いといった基本から、他人との意思疎通の回り方や協調性のとり方といった、応用までを解説します。厚生労働省が創設した事業である YES-プログラム（若年者就職基礎能力支援事業：Youth Employability Support Program）に対応しています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 コミュニケーションの目的と重要性
- 第2回 コミュニケーションの基本要素、交流分析の話
- 第3回 状況別のコミュニケーション【話す】
- 第4回 状況別のコミュニケーション【電話】
- 第5回 対社内のケーススタディ【1】（連絡ミスによるトラブル、忙しい時に限って至急の仕事、人に仕事を頼むとき）
- 第6回 状況別のコミュニケーション【会議】
- 第7回 対社内のケーススタディ【2】（会議をする、上司に企画を説明する、頼まれた仕事が期日どおりできない）
- 第8回 状況別のコミュニケーション【ビジネス文書】
- 第9回 ビジネス文書検定試験の実問題対策【1】
- 第10回 ビジネス文書検定試験の実問題対策【2】
- 第11回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【意思疎通】
- 第12回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【協調性】
- 第13回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【自己表現能力】
- 第14回 対得意先のケーススタディ（重要なお客様のご案内を任された、得意先の人に穏便に苦情を言う）
- 第15回 対ライヤー（納入業者）のケーススタディ（請求書を回すのが遅れたため支払が遅れる等）
- 第16回 対一般大衆／地域社会のケーススタディ（営業車で事故を起こした、会社に対するクレームの電話）
- 第17回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成1】
- 第18回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成2】
- 第19回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成3】
- 第20回 プレゼンテーションの実行（【数の人に話すときの基本ルール】）
- 第21回 プレゼンテーションの進め方【発表の技術】
- 第22回～24回 プレゼンテーションの実践【発表会】

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、受講制限により人数制限をします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回提出する課題と最終試験により評価します。

教 科 書

箱田忠昭著 『即戦力になる！！ビジネスコミュニケーション』（日経 BP ソフトプレス）

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習しておいてください。

科目名

担当者名

社会学〔現代社会を考える〕

お 呉 びよん さん 三

教養教育

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本の行為論

II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の種類、(5) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、統計的基礎知識の習得に努め、現実の統計データ及び架空の数値などで実際に統計的計算を実行する場面も多くつくる。その場合大量のデータを扱う時には、パソコン（実際にはエクセルが主流）を使って計算作業を実行する。

【前期】

1. 代表値（平均値、中央値、最頻値等）
2. データの散布度（分散、標準偏差、変動係数等）
4. 度数分布
5. 相関分析
6. 回帰分析

【後期】

1. 確率
2. 確率変数
3. 確率分布
4. 標本と標本分布
5. 統計的推定
6. 統計的仮説検定

履修上の留意点

通常の講義では電卓（関数電卓が望ましい）を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍增する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法

前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』（共立出版）2004年
 室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）2004年
 鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）2003年
 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』（東京大学出版会）1997年
 岸野洋久『社会現象の統計学』（朝倉書店）1992年
 森田優三『統計概論』（日本評論社）1966年

そ の 他

授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を取め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名

担当者名

文化人類学〔社会変化と価値観〕

うちやまあきこ
内山明子

教養教育

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだった。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基本的な考え方（文明と未開、人類の分類と序列、フィールドワークと民族誌） II 親族、家族、ジェンダー III 生態、環境、開発と保護 IV 個人、救済、儀礼、宗教 V 多様性と普遍性、国民国家、少数民族問題

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。また、授業に関する質問や授業中に紹介する本などを自主的に読みレポートを随時提出するなど積極的な態度に対しては高く評価します。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

その他

プリント配布も行いますが、板書が中心となります。各自工夫してノートを作ってください。

講義のねらい

現代社会においてわれわれの営みは、いつの間にか複雑化した法制度と関係をもちながら生活をしているがその基軸をなしているのが憲法である。憲法は人間のための法であるということから人権を中心に憲法の理念と実態を考えようと思います。

講義の内容・授業スケジュール

I 憲法の系譜

- 一 憲法の概念—憲法の法としての特質—
- 二 憲法の歴史
- 三 明治憲法から日本国憲法へ
- 四 日本国憲法の特徴

II 憲法の構造

- 五 人権と憲法
- 六 人権の種類 (1) 自由権・受益権・参政権
- 七 人権の種類 (2) 法の下での平等
- 八 人権規定の効力 (1) 人権規定の私人間への適用
- 九 人権規定の効力 (2) 社会権のプログラムの性格
- 十 人権と政治機構 (1) 国民主権と象徴天皇制
- 十一 人権と政治機構 (2) 国民代表としての議会
- 十二 人権と政治機構 (3) 代表制と直接民主制
- 十三 人権と政治機構 (4) 議院内閣制
- 十四 人権と政治機構 (5) 財政の民主化
- 十五 人権と政治機構 (6) 地方政治の確立
- 十六 人権と政治機構 (7) 国際政治と国際法
- 十七 人権と政治機構 (8) 国際政治と人権
- 十八 人権と裁判 (1) 適法手続
- 十九 人権と裁判 (2) 裁判制度
- 二十 人権と裁判 (3) 司法権の独立
- 二一 人権と裁判 (4) 違憲審査制
- 二二 人権と裁判 (5) 違憲審査の限界

III 憲法の実態

- 二三 思想と人権 (1)
- 二四 思想と人権 (2)
- 二五 思想と人権 (3)
- 二六 思想と人権 (4)
- 二七 宗教と人権
- 二八 刑事手続と人権 (1) 捜査過程における人権の尊重
- 二九 刑事手続と人権 (2) 自白の証拠能力
- 三〇 刑事手続と人権 (3) 刑事手続と行政手続
- 三一 生存と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

池田実

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名

担当者名

政治学〔社会生活とデモクラシー〕

横田匡紀

講義のねらい

現代社会は様々な課題に直面しており、問題解決のために政治の果たす役割が着目されています。同時に政治は我々の社会生活と密接にかかわってきます。こうした状況を踏まえて、本講義では政治が我々の社会生活とどのように関わっているのか、政治学は問題解決のためにどのように道筋をつけることができるのかを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は権力、デモクラシーなどの政治学の基本概念、ソーシャルキャピタル、ガバナンスなどの現代政治理論の争点を具体的事例に基づいて考えていきます。
 後期はグローバルな政治に着目します。具体的には貧困、環境、人間の安全保障などのグローバルな課題、NGO、企業などの非国家アクターの役割をとりあげ、グローバル・ガバナンスの可能性を考えます。

履修上の留意点

出席点はない。
 講義ではドキュメンタリービデオを随時用いて、抽象的な概念を身近な事例で理解できるように心がける。

成績評価の方法

原則として定期試験により評価する。

教科書

後期の内容に関しては、宮脇・庄司編『グローバル公共政策入門（仮題）』（晃洋書房）近刊の使用を考えている。

科目名

担当者名

社会科学論〔社会認識の思想〕

おお いし ゆう じ
大 石 雄 爾

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名

担当者名

教育学〔デス・エデュケーション〕

柳 堀 素雅子
やなぎ ぼり すがこ

教養教育

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと行ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりがない。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあげておく。
D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）
ピーチャム、チルドレス『生命医学倫理』（成文堂）
Ch. プロス/G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないますが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1 思春期とは何か

トピックス：身体の変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり

2 思春期の心の変化と行動の変化

トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

3 思春期の課題としての進路選択

トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題

4 思春期と向き合う人々と諸機関

トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武剋監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004年

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004年

小田切紀子著『離婚を乗り越えるー離婚家庭への支援を目指して』(プレーン出版)2004年

その他

テキストを用いての講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名
生物学〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝

講義のねらい	この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ という営々を繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。 後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 生物の生活 (1-5) 地球の歴史と生命の期限 (6-13) 生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染 (22-23) 水銀汚染と水俣病 (24-25) 人工放射性物質汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書	赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
参考書等	授業時間内に随時紹介します。
その他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	いちかわまよし 市 川 清 士

講義のねらい	地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。 後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思えます。
履修上の留意点	高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。
成績評価の方法	授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
教科書	『地球学入門 —惑星地球と大気・海洋のシステム—』（東海大学出版会）2,940円
参考書等	参考書はその都度紹介します。
その他	一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持ってのような講義を行おうと考えています。 また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名**担当者名**

自然環境論〔生命と環境〕

さかのい かず
坂野井 和 代

教養教育

講義のねらい

人間が普段活動している地球環境（陸地、大気、海洋）の基礎的な構造や原理を学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境（地球磁気圏、太陽系の惑星など）についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。

講義の内容・授業スケジュール

主に地球の大気環境（気候、気象、超高層大気）と地球近傍の宇宙環境について触れる。

1. 地球環境システムの構造と原理（個体地球、大気・海洋、地球磁気圏）
2. 地球と太陽系惑星との比較（地球磁気圏、太陽、太陽系）
3. 地球の気候と気象
4. 地球環境問題（地球温暖化、オゾン層破壊）
5. 地球近傍の宇宙環境（宇宙天気予報、人工衛星観測、太陽系惑星探査）
6. その他、トピックス

履修上の留意点

なるべく一つ、一つ説明はしますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力は必要です。講義の進捗や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて、適宜調節します。人数によってはレポート発表形式の講義も検討しますので、やる気のある学生を求めます。

成績評価の方法

評価は授業時間中および期末に出題する課題および試験によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名

担当者名

自然環境論〔生命と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝

教養教育

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
- (1-6) 自然のしくみ
- (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
- (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
- (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
- (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育んできた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
数学 (1)〔微積分学入門〕	お 小 沢 誠

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教 科 書	石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参 考 書 等	適宜紹介する。
そ の 他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科 目 名	担 当 者 名
数学 (2)〔線型代数学入門〕	お 小 沢 誠

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教 科 書	石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込)
参 考 書 等	適宜紹介する。
そ の 他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科 目 名	担 当 者 名
数学（3）〔現代数学入門〕	福 田 賢 一 <small>ふく だ けん いち</small>

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。 本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理論分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、 後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎、
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要がある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。 学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。
参考書等	必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。
その他	教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科 目 名	担 当 者 名
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和 代 <small>さかのい かずよ</small>

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名

担当者名

物理学〔光と物質〕

しの ほん まさ お
篠 原 正 雄

教養教育

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 曇気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名
化学〔衣食住の化学〕	持丸真里

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

図書館書誌検索画面へ
講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原まさお

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	しの だ けん いち 篠 田 謙 一

講義のねらい	人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。 「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」
履修上の留意点	出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。
成績評価の方法	毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。
教科書	中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN 4-06-258318-6
参考書等	特に指定しませんが講義の中で紹介します。
その他	本講義では、単に講師の話を聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	なか と え み 仲 渡 江 美

講義のねらい	「人とは、何か」についての答えを探るのが、心理学という学問である。日常、私たちは、特に意識せず「見る」、「聴く」、「思い出す」、「考える」といった様々な行動を行なっているが、その背景には複雑な仕組みがある。例えば、「横顔や後ろ姿からでも親友をすぐに見つけることができるのは、なぜ。」、「自分の名前を呼ばれるとすぐに気づくのは、なぜ。」、「語呂合わせをして覚えた電話番号をいつまでも覚えているのは、なぜ。」など、人がどのような行動を行なうのか、なぜそのような行動を取るのかについての仕組みを心理学の様々な領域から捉え、日常生活での私たちの見方、考え方に新しい視点を与えて、自己や他者を理解していくことが本講義の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で、人が起こす行動とその仕組みについて、知覚、学習、記憶、人格、発達、臨床といった心理学の各領域から毎回トピックスを決めて探っていく。具体的なスケジュールについては、第1回目の講義で提示する予定である。
履修上の留意点	「理解する」ためには、講義の内容を自分の視点で改めて捉え直すことが必要である。そのために、授業中、講義の内容に関して自分なりの意見や感想などを書いてもらう予定である。
成績評価の方法	講義の出席状況と年度末の筆記試験の結果から、総合的に評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	講義時にいくつか紹介する。

科目名	担当者名
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤博己 <small>かとうひろき</small>

講義のねらい

この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し120有余年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、歴史と研究法を概観し、基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、記憶、学習・思考、パーソナリティ、動機づけ、情動。
後期：発達、感覚・知覚・認知、社会、臨床、心理学論（心理学の語源、定義、歴史、心理学の分野、心理学の研究法、定期試験）。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。初回のオリエンテーションを欠席した場合は履修を認めない。

成績評価の方法

定期試験期間内に、筆記試験を行う予定である。また、前期試験を行う可能性がある。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫『心理学第2版』2004年（東京大学出版会）2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

参考書等

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他

授業の方法－講義、ゼミ、討論；主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや授業内容についての意見が毎回求められ、心理検査や実験への積極的な参加が望まれる。従って、単に授業に出席しているだけでは、単位取得は困難となるかも知れない。

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	深堀友覚 <small>ふかほりともなり</small>

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名

担当者名

総合 I (1) [仏教と自然]

よつや こうどう
四津谷 孝道

教養教育

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- バリー仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来藏・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名
総合 I (2) [仏教と社会]	くまもと えい にん 熊本英人

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
総合 I (3) [仏教と芸術]	むらまつ てつ ぶみ 村松哲文

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界 (1～2)
 インドの仏教美術 (3～5)
 西域の仏教美術 (6～8)
 初期の敦煌石窟 (9～11)
 後期の敦煌石窟 (12～15)

〔後期〕
 炳靈寺石窟 (16～17)
 麦積山石窟 (18～20)
 雲岡石窟 (21～23)
 龍門石窟 (24～27)
 朝鮮三国の仏教美術 (28～30)

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠 (仏像の胸飾・宝冠・袈裟など) についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名
総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎 <small>おかざきとしちろう</small>

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名
総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕	野島 利彰 <small>のしまとしあき</small>

講義のねらい

私たちはドイツ語のWald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作って下さい。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光品訳「森が語るドイツの歴史」（築地書館）4,223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明 人

講義の内容・授業スケジュール	現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion,affirmative action,euthanasia,Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。
成績評価の方法	前・後期のレポート、出席の総合評価。
教科書	プリントを配布します。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にし むら ゆうこ 西 村 祐 子

講義のねらい	アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。</p> <p>前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い コミュニティ・ビルディングとNPO シアトルのまちづくり シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO アメリカにおける移民とNPO 自治体とNPOの協働について：日本との比較 神戸市の事例</p> <p>後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較 日本のまちづくり政策とNPO 世田谷区のまちづくりとNPO まちづくり協議会とNPO 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO,MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究</p>
履修上の留意点	インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。
成績評価の方法	平常点（出席率、レポート内容）重視。
教科書	『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房
参考書等	教場で指定（インターネットサイトなど）
その他	ゲストレクチャラーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMIC かながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（３）〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生活における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシュールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

科目名	担当者名
総合Ⅴ（１）〔イギリスの歴史と文化〕	石原孝哉 <small>いしはらこうさい</small>

講義のねらい	今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。 本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。
履修上の留意点	イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているので、それに対応できる学生が望ましい。
成績評価の方法	主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。
教科書	プリント配布
参考書等	そのつど教場にて指示する。

科目名	担当者名
総合Ⅵ（１）〔民族とは何か〕	大野祐二 <small>おおのゆうじ</small>

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。
教科書	詳細については授業中にプリントで伝える予定です。
参考書等	原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名
総合Ⅵ（２）〔イスラム〕	あおやぎ 青柳 かおる

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期

- イスラムに関する文献紹介
- イスラム以前のジャーヒリーヤ時代
- 預言者ムハンマドの生涯
- イスラムの教義（六信五行とイスラム神学）
- コーランとアラビア語
- メッカ大巡礼
- イスラム法
- イスラム世界のギリシア文明（イスラム哲学）

後期

- スーフィズム（イスラム神秘主義）
- シーア派とイランの歴史
- イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ
- 中東の民族と宗教
- 聖地エルサレム
- パレスチナ問題
- イスラム原理主義運動

履修上の留意点

私語厳禁です。

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験（またはレポート）ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

中村廣治郎『イスラム教入門』（岩波書店 岩波新書538）1998年
 中村廣治郎『イスラムと近代』（岩波書店 叢書現代の宗教13）1997年
 青柳かおる『イスラムの世界観：ガザリーとラーズイー』（明石書店）2005年など。
 詳しくは、第一回目の講義で文献リストを配布します。

その他

講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気を除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名

担当者名

総合Ⅶ（１）〔トラブルと法的解決〕

たかはし 高橋	ひろき 洋城	かわぐち 川口	ゆきみ 幸美
たけなか 竹中	ちか 智香	はらたけい 原田啓一	いちろう 一郎
ひかさ 日笠	かんじ 完治	まつむら 松村	いさる 格

教養教育

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。
担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき
- 2 松村 格 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 川口 幸美 現代社会と商法
- 5 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。
追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名

担当者名

総合Ⅶ(2)〔都市論〕

うちうみ まり うえの じゅんこ
 内海 麻利・上野 淳子
 うらた さなえ きかい あや
 浦田 早苗・坂井 文
 はやがわ よしき
 早川 純貴

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：4月・5月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にとともに、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」（6回：6月・7月）

本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを（1）欲望や競争をあおる言説、（2）グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、（3）官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：11月・12月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

外
国
語

3. 外国語科目

[英 語]

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	林明人	115
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	三芳康義	115
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	川崎浩太郎	116
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	三輪久恵	116
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	水崎野里子	117
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	田中保	117
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	ピアス, D. M.	118
英語ⅠA	経営A1年	通年	2	川崎笑佳	119
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	経営A1年	通年	2	牧野輝良	119
英語ⅠB	経営A1年	通年	2	木村正俊	120
英語ⅠB	経営A1年	通年	2	田中保	120
英語ⅠB	経営A1年	通年	2	亀田三重子	121
英語ⅠB	経営A1年	通年	2	矢島直子	121
英語ⅠB	経営A1年	通年	2	江田幸子	122
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	経営A1年	通年	2	田中保	122
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ササキ, M.	123
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ソルタ, P. N. F.	124
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	チャンドラー, J. E.	125
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ミックエリゴット, J. P.	125
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ラッセル, S. J.	126
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	レイン, R. V.	126
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ロンゴ, T.	127
英語ⅠC (会話)	経営A1年	通年	2	ロビン, G. F.	127
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	江田幸子	128
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	岡崎寿一郎	128
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	高柳文江	129
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	前田脩	129
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	西原克政	129
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	手島敬子	130
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	三幣友行	130
英語ⅡA	経営A2年	通年	2	萩原輝	130
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	ソルタ, P. N. F.	131
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	チャンドラー, J. E.	132
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	セイジ, K.	132
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	ハバード, W. D.	132
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	ミックエリゴット, J. P.	133
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	ラッセル, S. J.	134
英語ⅡC (会話)	経営A2年	通年	2	ロンゴ, T.	134
英語ⅢA	経営A3年	通年	2	小布施圭佐三	135
英語ⅢA	経営A3年	通年	2	佐藤孝一	135
英語ⅢA	経営A3年	通年	2	甲斐捷子	136
英語ⅢA	経営A3年	通年	2	広川治	136

英語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	山口晃	137
英語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	伊藤美代子	137
英語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	井伊順彦	137
英語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	落合和昭	138
英語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	伊藤幸一	138

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	杉本正俊	139
ドイツ語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	藪下紘一	139
ドイツ語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	本橋右京	139
ドイツ語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	井村行子	140
ドイツ語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	岡本時子	140
ドイツ語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	野島利彰	141
ドイツ語Ⅰ C (会話)	経営 A 1 年	通年	2	清水修	141
ドイツ語Ⅱ A	経営 A 2 年	通年	2	柴野博子	142
ドイツ語Ⅱ A	経営 A 2 年	通年	2	飯塚公夫	142
ドイツ語Ⅱ C (会話)	経営 A 2 年	通年	2	堀内美江	143
ドイツ語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	堀内美江	143

〔フランス語〕

フランス語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	小玉齊夫	144
フランス語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	遠山博雄	144
フランス語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	出口雅敏	145
フランス語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	桑田禮彰	145
フランス語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	浜崎設夫	145
フランス語Ⅰ B	経営 A 1 年	通年	2	遠山博雄	146
フランス語Ⅰ C (会話)	経営 A 1 年	通年	2	佐藤久美子	146
フランス語Ⅱ A	経営 A 2 年	通年	2	遠山博雄	147
フランス語Ⅱ A	経営 A 2 年	通年	2	前田祝一	147
フランス語Ⅱ C (会話)	経営 A 2 年	通年	2	大野英士	147
フランス語Ⅲ A	経営 A 3 年	通年	2	大野英士	148

〔中国語〕

中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	布施直子	150
中国語Ⅰ B			2	徳間佳信	
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	小栗山恵	151
中国語Ⅰ B			2	大久保明男	
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	工藤早恵	151
中国語Ⅰ B			2	布施直子	
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	吉田建一郎	151
中国語Ⅰ B			2	佐藤普美子	
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	塩旗伸一郎	152
中国語Ⅰ B			2		
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	佐藤普美子	152
中国語Ⅰ B			2	下出宣子	
中国語Ⅰ A	経営 A 1 年	通年	2	本間由香利	153
中国語Ⅰ B			2	曹泰和	

中国語ⅠC(会話)	経営A1年	通年	2	上原かおり	153
中国語ⅠC(会話)	経営A1年	通年	2	本間由香利	154
中国語ⅡA	経営A2年	通年	2	橋本幸枝	154
中国語ⅡA	経営A2年	通年	2	福地桂子	154
中国語ⅡA	経営A2年	通年	2	李雲	155
中国語ⅡA	経営A2年	通年	2	弘兼加奈子	155
中国語ⅡC(会話)	経営A2年	通年	2	上原かおり	155
中国語ⅡC(会話)	経営A2年	通年	2	宮本厚子	156
中国語ⅢA	経営A3年	通年	2	王聡	156
中国語ⅢA	経営A3年	通年	2	上原かおり	156

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	経営A1年	通年	2	佐藤佐知	157
スペイン語ⅠA	経営A1年	通年	2	ルイズティノコ,C.	157
スペイン語ⅠA	経営A1年	通年	2	亀山晃一	158
スペイン語ⅠA	経営A1年	通年	2	ナバロ,ホワンJ.	158
スペイン語ⅠB	経営A1年	通年	2	佐藤麻里乃	158
スペイン語ⅠB	経営A1年	通年	2	米田博美	159
スペイン語ⅠB	経営A1年	通年	2	栗林ゆき絵	159
スペイン語ⅠB	経営A1年	通年	2	萩野雅司	160
スペイン語ⅠC(会話)	経営A1年	通年	2	ルイズティノコ,C.	160
スペイン語ⅡA	経営A2年	通年	2	真下祐一	160
スペイン語ⅡA	経営A2年	通年	2	上野勝広	161
スペイン語ⅡC(会話)	経営A2年	通年	2	真下祐一	161
スペイン語ⅢA	経営A3年	通年	2	真下祐一	161

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	経営A1年	通年	2	杉山秀子	163
ロシア語ⅠB	経営A1年	通年	2	廣田英靖	163
ロシア語ⅠC(会話)	経営A1年	通年	2	佐野朝子	164
ロシア語ⅡA	経営A2年	通年	2	木村英明	164
ロシア語ⅡC(会話)	経営A2年	通年	2	クロチコフ, Y.	164
ロシア語ⅢA	経営A3年	通年	2	クロチコフ, Y.	165

《再履修クラス》

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	頁数
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	松堂啓子	166
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	岩井洋美	166
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	牧野輝良	166
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	萩原輝	167
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	塙美智子	167
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	167
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	太田由紀子	168
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	桧山晋	168
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	岩原康夫	168
英語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	169

外国語

英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	高見陽子	169
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	澤田真弓	170
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	江田幸子	170
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	相馬美明	170
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	高柳文江	171
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	大淵利春	171
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	西村祐子	172
英語ⅠB〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	飯沼好永	172
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ササキ, M.	123
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ソルタ, P. N. F.	124
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	チャンドラー, J. E.	125
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ミックエリゴット, J. P.	125
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ラッセル, S. J.	126
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	レイン, R. V.	126
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ロンゴ, T.	127
英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ロビン, G. F.	127
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	菅原典子	173
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	太田美智子	173
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	佐藤江里子	173
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	174
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	吉江正雄	174
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	澤田真弓	174
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	矢島直子	175
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	外池一子	175
英語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	山岸二郎	175
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	ソルタ, P. N. F.	131
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	チャンドラー, J. E.	132
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	セイジ, K.	132
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	ハバード, W. D.	132
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	ミックエリゴット, J. P.	133
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	ラッセル, S. J.	134
英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	ロンゴ, T.	134
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	小布施圭佐三	135
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	佐藤孝一	135
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	甲斐捷子	136
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	広川治	136
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	山口晃	137
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	伊藤美代子	137
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	井伊順彦	137
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	落合和昭	138
英語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	伊藤幸一	138

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	本橋右京	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	志真斗美恵	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	井村行子	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	薮下紘一	177

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	南はるつ	177
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	飯塚公夫	177
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	杉本正俊	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	本橋右京	178
ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	清水修	178
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	森公成	179
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	本橋右京	179
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	井村行子	179
ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	堀内美江	143
ドイツ語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	堀内美江	143

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	前田祝一	180
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	芦原睿	180
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	小玉齊夫	181
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	菅原猛	181
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	谷川かおる	182
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	菅谷暁	182
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	今関アン	182
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	伊藤なお	183
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	谷川かおる	183
フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	佐藤久美子	146
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	小玉齊夫	184
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	沼倉広子	184
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	前田祝一	184
フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	大野英士	147
フランス語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	大野英士	148

〔中国語〕

中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	江林英基	185
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	秋元翼	185
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	東英全	185
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	根岸政子	186
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	戸張嘉勝	186
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	本間由香利	187
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	張渭涛	187
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	弘兼加奈子	188
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	蘭明	188
中国語ⅠB〔再クラス〕					

外国語

中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	上原かおり	153
中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営2・3・4年	通年	2	本間由香利	154
中国語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	梅田雅子	188
中国語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	岩崎皇	189
中国語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	大久保明男	189
中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	上原かおり	155
中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	宮本厚子	156
中国語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	王聡	156
中国語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	上原かおり	156

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	大岩功	190
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	190
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	亀山晃一	191
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	大岩功	191
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	荻野恵	191
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	佐藤麻里乃	192
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠC〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	ルイズティノコ, C.	160
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	上野勝広	192
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	大岩功	193
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	亀山晃一	193
スペイン語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	真下祐一	161
スペイン語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	真下祐一	161

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	杉山秀子	194
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	佐野朝子	194
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	木村英明	195
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	安德ニーナ	195
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	佐野朝子	164
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	196
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	大須賀史和	196
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	安德ニーナ	196
ロシア語ⅡC(会話)〔再クラス〕	経営A3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	164
ロシア語ⅢA〔再クラス〕	経営A4年	通年	2	クロチコフ, Y.	165

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	経営A1・2・3・4選	通年	4	林明人	197
英文講読	経営A1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	197
英文講読	経営A1・2・3・4選	通年	4	牧野輝良	197
時事英語研究	経営A1・2・3・4選	通年	4	竹村恵都子	198
時事英語研究	経営A1・2・3・4選	通年	4	林明人	198
時事英語研究	経営A1・2・3・4選	通年	4	岸本茂和	198
時事英語研究	経営A1・2・3・4選	通年	4	田中保	199
時事英語研究	経営A1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	199
マルチ・メディア	経営A1・2・3・4選	通年	2	落合和昭	200
マルチ・メディア	経営A1・2・3・4選	通年	2	大庭直樹	201
マルチ・メディア	経営A1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	201
マルチ・メディア	経営A1・2・3・4選	通年	2	大庭直樹	202
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	203
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	204
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	205
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	206
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	207
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	207
英会話Ⅰ	経営A1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	208
英会話Ⅱ	経営A2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	209
英会話Ⅱ	経営A2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	210
英会話Ⅱ	経営A2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	210
英会話Ⅲ	経営A2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	211
英会話Ⅲ	経営A2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	212
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	太田雅子	213
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	213
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	加藤佐和子	214
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	214
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	214
英語LLⅠ	経営A1・2・3・4選	通年	2	塙美智子	215
英語LLⅡ	経営A2・3・4選	通年	2	太田雅子	216
英語LLⅡ	経営A2・3・4選	通年	2	外池一子	216
英語LLⅡ	経営A2・3・4選	通年	2	西村祐子	217
英語LLⅢ	経営A2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	218
英語LLⅢ	経営A2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	219
英語LLⅢ	経営A2・3・4選	通年	2	西村祐子	219
時事ドイツ語	経営A3・4選	通年	4	堀内美江	220
上級ドイツ語	経営A3・4選	通年	2	柴野博子	220
ドイツ語コミュニケーションⅠ	経営A2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	221
ドイツ語コミュニケーションⅡ	経営A2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	221
ドイツ語ⅠA (選)	経営A1・2・3・4選	通年	2	藪下紘一	221
ドイツ語ⅠB (選)	経営A1・2・3・4選	通年	2	野島利彰	222
ドイツ語Ⅱ (選)	経営A2・3・4選	通年	2	井村行子	222
時事フランス語	経営A3・4選	通年	4	桑田禮彰	223

外国語

上級フランス語	経営A 3・4選	通年	2	小玉齊夫	223
フランス語コミュニケーションⅠ	経営A 2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M.	224
フランス語コミュニケーションⅡ	経営A 2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M.	224
フランス語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	出口雅敏	224
フランス語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	前田祝一	225
フランス語ⅠB (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	菅原猛	225
フランス語Ⅱ (選)	経営A 2・3・4選	通年	2	桑田禮彰	225
時事中国語	経営A 3・4選	通年	4	塩旗伸一郎	226
上級中国語	経営A 3・4選	通年	2	本間由香利	226
中国語コミュニケーションⅠ	経営A 2・3・4選	通年	2	岩崎皇	227
中国語コミュニケーションⅡ	経営A 2・3・4選	通年	2	曹泰和	227
中国語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	吉田建一郎	227
中国語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	宮本厚子	228
中国語ⅠB (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	蘭明	228
中国語Ⅱ (選)	経営A 2・3・4選	通年	2	三田村圭子	228
時事スペイン語	経営A 3・4選	通年	4	真下祐一	229
上級スペイン語	経営A 3・4選	通年	2	上野勝広	229
スペイン語コミュニケーションⅠ	経営A 2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	229
スペイン語コミュニケーションⅡ	経営A 2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	230
スペイン語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	亀山晃一	230
スペイン語ⅠB (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	230
スペイン語Ⅱ (選)	経営A 2・3・4選	通年	2	萩野雅司	231
時事ロシア語	経営A 3・4選	通年	4	木村英明	231
上級ロシア語	経営A 3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	231
ロシア語コミュニケーションⅠ	経営A 2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	232
ロシア語コミュニケーションⅡ	経営A 2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	232
ロシア語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	233
ロシア語ⅠB (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	木村英明	233
ロシア語Ⅱ (選)	経営A 2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	234
朝鮮語ⅠA (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	234
朝鮮語ⅠB (選)	経営A 1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	235
朝鮮語Ⅱ (選)	経営A 2・3・4選	通年	2	宋美玲	235

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I A	はやし 林 あき 明 と 人

講義のねらい

会話表現を扱ったテキストを使用し、会話のパターンを学びます。最終的に少しでも英語で自己表現できるようになることを目標とします。発表を重視しますので予習を怠らないで下さい。

成績評価の方法

発表、前・後期の定期試験、出席の総合評価。

教科書

4月に教場で指示します。

科目名	担当者名
英語 I A	み よし やす よし 三 芳 康 義

講義のねらい

TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、American Accentの練習を適宜行います。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

編著者金森強、他『Global Ways Introductory』(桐原書店) ISBN4-342-54701-5

科目名	担当者名
英語 I A	川崎 浩太郎

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	E-mail や日常会話などで使われる比較的口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていきます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それによってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEIC のリスニングなども行う予定です。
履修上の留意点	毎時間辞書を必ず持ってくること。
成績評価の方法	出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
教科書	黒川裕一著『 <i>Subject: E-Mail</i> - 大学生のEメール英作文』（南雲堂）1,900円（税別）ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名
英語 I A	三輪 久恵

講義のねらい	海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	旅行中に出あう様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。Dialogue の Listening を中心に、練習問題形式で語彙・英語表現の習得を主眼とし、合わせて文化的・民族的背景等をも学習する。
履修上の留意点	予習をして授業に臨んで下さい。辞書は、中辞典程度のもの必携。
成績評価の方法	単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
教科書	Joseph S.Cravotta 他著『 <i>Trouble-Free Travel</i> 』（郁文堂）1,800円+税

科目名	担当者名
英語ⅠA	水崎野里子

講義のねらい

日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

一授業にテキスト一課を予定としている。具体的には、英語でEメール文が書けるようになって欲しい。また、通年用のテキストであるが、場合に応じては副教材も用いる。

履修上の留意点

授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点(出席)をも加味する。

成績評価の方法

前期と後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。

教科書

『はじめてのEメール英作文』(南雲堂) 1,700円
ISBN4-523-17504-7 C0082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅠA	田中保

講義のねらい

英語圏世界で、日常生活を送る場合に最低限必要と思われる英会話運用能力を培う。日常英会話表現やトラベル英会話も取り入れて、英語運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行なう。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・小テスト・出席状況・プレゼンテーション・レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

最初の授業のときに教室で指示します。

講義のねらい

Concentration will be upon everyday English conversation and upon writing; in contrast to other English 1 courses, more emphasis will be placed on composition.

講義の内容・授業スケジュール

Conversation will be practiced through a broad variety of topics, in practice dialogues that you will perform in dialogue or group. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation: this will be taught for active mastery, so that you may spontaneously produce your own conversations. 2) Passive conversation mastery on a semi-abstract level, by which you will learn to follow more intelligent conversation through exposure to a mixture of lecture and inference practice. 3) Academic conversation using familiar topics such as human rights, sexism, human rights, income distribution, etc. The second and third levels of conversation practice will introduce new levels of vocabulary and speech pattern, to be learned passively.

Every class will involve composition practice: at the end of the class the same practice material will be presented as a quiz, and the instructor will return the corrected papers on the following class meeting. Grammar practice will be practiced orally, not in written form; reading practice of passages relating the topic of the week will be practiced in class. Reading practice will also involve oral practice.

履修上の留意点

Four absences constitute automatic failure; marriages, funerals, football matches, car accidents, sickness, etc. do not make an exception. Three absences per semester permitted.

Coming late to class is ignored, publicly, but a record of each late-coming, by how many minutes, is recorded. Coming late has no explicit effect on final grade, but it is taken into consideration when I consider your class participation and attitude.

成績評価の方法

All tests are didactic; they are not for the purpose of monitoring your participation, or to impose discipline, or to calculate final grades. A good test is an excellent way to learn, to fix essential elements in the memory. A good test should give you a happy recognition of how much progress you have made.

教科書

We use the textbook in class, in every class, and in every minute of every class. The practice in speaking and writing is impossible without the textbook. If you come to class without the textbook, it is an automatic absence for that class period. The textbook will be:

COGITO, publisher Themis Research Group, author Adam Pelagius.

Don't buy the textbook until after the first period; I will give a diagnostic text of your English ability in the first period. Following the diagnosis, I will confirm the assignment of this textbook.

その他

Do not think that your grade depends on your test results. Most of the final grade depends on what you do in each and every separate class. Do not assume that you can ignore the weekly class practice but get a good grade because you have a good score in a test. Conversation and writing are matters of constant practice; you must actively, sincerely try to expand your speaking and composition abilities in every ordinary class period.

You do not have to be good at English to get an A. It would be unfair to grade students relative to the other students of the class, because some students have better background than others for a course like this. Grading is relative to your initial abilities in the class; if you make good progress over the year, relative to yourself, you will get an A; I keep a careful record of your performance in every single class. Ultimately your grade depends on your attitude and participation in each class.

科目名	担当者名
英語 I A	川崎笑佳

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFL なども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

『Writing Plus!』（金星堂）1,950円 ISBN4-7647-3803-1

外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	牧野輝良

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間テキストを1課ずつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書持参し、辞書活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I B	木村正俊
講義のねらい	英文の聴解力を高め、あわせて実際に応用できる発話能力を養います。
講義の内容・授業スケジュール	経済、環境、健康、観光などのトピックを扱った全体で18章から成るテキストを用い、毎回1章ずつ進む予定です。付属のCDを活用し、リスニングやスピーキング、さらにライティングのドリルを行います。
履修上の留意点	実際の訓練を多く行いますので授業には毎回出席すること。復習する努力が大切です。
成績評価の方法	しばしば行うテストの成績と出席の状況などを総合して評価します。
教科書	『Reading Cool』(三修社) 1,800円 ISBN4-384-33351-X

科目名	担当者名
英語 I B	田中保
講義のねらい	入学時の英語力を利用して、より高度な英文の構文を理解し、また、文章の段落・大意を把握する力を培う。さらには、総合的な英語運用能力を身につけるのがこの授業の目的です。また、英語の音声に慣れることも大切ですので、副教材を使用してリスニングの時間も取り入れます。
講義の内容・授業スケジュール	授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式(口頭と板書)によって行います。テキストの進度は毎授業1課進みます。副教材も毎回1~2課進みます。前期・後期ともプレゼンテーションを行います。
履修上の留意点	必ず予習をして授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業時の発表・前期後期の試験・出席・プレゼンテーション・レポート等を総合的に検討して評価します。
教科書	『The World at a Glance (世界事情拝見)』(南雲堂) 1,500円 ISBN4-523-17525-X C0082 『10 Minute Basic Listening (10分間ベーシック・リスニング)』(桐原書店) 922円 ISBN4-342-74760-X C9082

科目名	担当者名
英語 I B	かめ だ み え こ 亀 田 三重子

講義のねらい

英文を読んだり聞く事によって、英語の総合的な力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み、練習問題を行なう。最新のニュースや面白い内容の記事を新聞、雑誌から拾い読みをする。会話や作文も同時に行う。

履修上の留意点

授業に辞書は必ず持って来る事。予習をしてくる事。

成績評価の方法

授業への出席状況、授業への意欲、態度、小テストや期末試験、以上を総合的に判断する。

教科書

初回の授業で発表する。

外国語

科目名	担当者名
英語 I B	や じ ま なお こ 矢 島 直子

講義のねらい

英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・
授業スケジュール

記事の意味を読み取って、問題に解答してもらいます。できれば1年間で1冊読み終える予定です。

履修上の留意点

どんどん当てますから、内容を読み取って、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と前期末・後期末試験の成績で、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

『イングリッシュ・ゾーン』（成美堂）2,000円
ISBN4-7919-0549-0

科目名	担当者名
英語 I B	江田 幸子

外国語

講義のねらい	英語文を読みその情報内容・思想内容を理解していくうえで必要な英語の約束事—構文や文型など文法的事項及び音声—を再度理解して、英文読解力の向上をめざす授業です。
講義の内容・授業スケジュール	高校卒業時迄に学習してきたことを再度確認して、確固とした基礎力を養うために、文法+読解+簡単な英語作文を、テキストに添って進めていきます。また、聞き取りや口頭による発信を適宜、行います。
履修上の留意点	予習は必ずしてきて下さい。テキスト、ノートに筆記用具、辞書は毎回必ず持参して下さい。
成績評価の方法	平常点=授業中の発表や努力して学習しているかどうか、毎授業の学習の態度、姿勢を最も重視します。従って出席回数が大事になります。授業に出席することは学生として当然のことなので出席点というものはありません。前期・後期の試験と、平常授業で適宜行う小テスト、大小含めて60点平均を合格点とします。 試験で点数がとれないと思う人は平常点で努力して下さい。点数評価のみに依る成績評価はしません。 平常の評価に難点のある人—出席日数が足りない等—は英語の実力を示して下さい。本当の実力のある人はたとえ欠席がちでも試験を受けて実力を認めれば合格点を出します。が、レポートなどの特別な措置はしません。
教科書	『 <i>First Voyage : From Grammar to Reading NAN'UN - DO</i> 』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17476-8

科目名	担当者名
英語 I B (基礎英語特別クラス)	田中 保

講義のねらい	入学時の文法力を利用して、基礎から徐々に高度な構文の理解と文章の段落・大意を把握する力を培う。
講義の内容・授業スケジュール	授業はテキストにそって進めますが、補助教材(プリント)も利用します。発表形式によって行います。
履修上の留意点	必ずテキスト・辞書(英和辞典)を持参して授業に臨むこと。
成績評価の方法	出席・発表を重視し、前期後期の試験・レポート等を総合的に検討して評価します。
教科書	『 <i>The World at a Glance</i> (世界事情拝見)』(南雲堂) 1,500円 ISBN4-523-17525-X C0082

英語 I C (会話)

〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。

外国語

科目名	担当者名
英語 I C (会話)	ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. An emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

『Viva! San Francisco』(Macmillan Language house)
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communication in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... , Want ... , Would like ... , / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit 10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit 12 : Present Simple / Occupations
- Unit 13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14 : Transportation / Work & School
- Unit 15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul 『*Communicate : book 1 a*』 (Macmillan Language House) 1,230円
ISBN0-435-26119-3

科目名

担当者名

英語 I C (会話)

チャンドラー, J. E.

講義のねらい

This class is designed to give students. The basic skills needed for conversation. Students are given practice in everyday situational routines as well as some topic based material. Class practice is done in pairwork as well as some small group practice. In addition to the text students are required to have an English dictionary.

成績評価の方法

Students are evaluated on their weekly class performance short tests, and mid-term and final exams.

教科書

『*Fifty fifty*』 (Macmilian Press)

外国語

科目名

担当者名

英語 I C (会話)

ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

前期授業

1. Orientation
2. You're an Interesting Person
3. You're an Interesting Person
4. What an Unusual Family
5. What an Unusual Family
6. TGIF (Thank God It's Friday)
7. Wow! Everything's on Sale !
8. Listen to That Engine
9. Got Any Travel Plans ?
10. Got Any Travel Plans ?
11. That's Not Pizza !
12. Welcome to Las Vegas
13. Hey, Look at Her !
14. Meet Your Lucky Date !
15. Student Reports

後期授業

1. Summer Vacation Reports
2. Traveling Around Japan
3. Highlights in Sports
4. Shake, Rattle and Roll
5. I need a job
6. I need a job
7. I've Got a Question for You!
8. What's on Your Mind?
9. What's on Your Mind?
10. Home Is Where The Heart Is
11. Home Is Where The Heart Is
12. Holdays to Remember
13. Holdays to Remember
14. Guess What Happened to me!
15. Final Exams/Presentation

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

成績評価の方法

GPA 方式 平常点など

教科書

Dale Fuller & Clyde Grimm 『*New Airwaves Developing Better Listening Skills*』 (Macmillan Language House) 2, 100円

参考書等

Bilingual dictionary

その他

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

科目名	担当者名
英語 I C (会話)	ラッセル, S. J.

講義のねらい	English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.
講義の内容・授業スケジュール	This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.
履修上の留意点	Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.
成績評価の方法	Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.
教科書	『 <i>Fifty - Fifty Book 1</i> 』 (Published by Longman) ISBN0 - 13 - 920000 - 2

科目名	担当者名
英語 I C (会話)	レイン, R. V.

講義のねらい	This course will help students to : 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation - giving skills.
講義の内容・授業スケジュール	The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one - minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書	Steven Molinsky and Bill Bliss 『 <i>Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4</i> 』 (Longman) 2003年 ISBN0 - 13 - 183937 - 3or ISBN0 - 13 - 026888 - 7
参考書等	Approx. 35copies of textbook are needed for this class.
その他	I will need both TV and VCR for this class.

科目名	担当者名
英語 I C (会話)	ロンゴ, T.

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

外国語

科目名	担当者名
英語 I C (会話)	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

(1) Warren Wilson, Roger Bernaro 『*FIFTY - FIFTY: Student book 1*』 (Longmans)
ISBN0 - 13 - 920000 - 2

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 II A	江田幸子

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書

Polish Up Your English (SEIBIDO) 1,800円

科目名	担当者名
英語 II A	岡崎寿一郎

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価。

教科書

武谷紀久雄編注『旧約聖書物語』(金星堂) 1,200円 (税別)

科目名	担当者名
英語ⅡA	高柳文江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>

講義のねらい	自分の思っている事を英語でいかに適切に表すのか、Writing、及び、Speakingの両面から表現できる事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の中の演習問題、会話を中心に皆さんが度々出くわす様々な状況でどのように英語で表現していくかを学びます。Writing能力だけでなくSpeaking能力も重視され、毎時間Speakingによる発表が課されます。
履修上の留意点	授業の内容上、予習は必ず必要です。2/3以上の出席が課されます。座席指定。
成績評価の方法	試験（前期試験・後期試験）50%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）50%。
教科書	『Lively Writing: English Composition Through Dialogues』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17388-5 C0082
参考書等	テープ、ビデオ教材使用。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	前田脩 <small>まえだ おしむ</small>

講義のねらい	英文になれ、やさしい語による表現を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	授業のはじめに15分程度のリスニングをおこないます。会話を主とした英文を読み、その英文に沿った英語表現を実践します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。求められた英語表現レポートは必ず提出すること。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。
教科書	『英語総合教本』（朝日出版）1,300円 ISBN4-255-15284-5 C1082 『トピック別 TOEIC テストリスニング 基礎編』（成美堂）900円 ISBN4-7919-4571-9 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡA	西原克政 <small>にし はら かつ まさ</small>

講義のねらい	英会話の状況に応じた表現と語彙を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	テキストのモデル・センテンスを把握した上で、その話題を展開しながら、会話と議論へと広げていく。
履修上の留意点	予習に最も力を入れて準備すること。
成績評価の方法	授業回数の3分の2以上出席のこと。平常の授業がすべてなので、平常のプレゼンテーションをその都度評価し、平均点を成績とする。
教科書	ウィリアム・L・クラーク『アメリカ口語教本』（中級用）〈改訂版〉（研究社）1,365円

科目名	担当者名
英語ⅡA	てじまけいこ 手島敬子

講義のねらい

本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。

履修上の留意点

随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
和英辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名
英語ⅡA	みめさともゆき 三幣友行

講義のねらい

英語ⅠAで学んだ英語を基礎として、英語による意志伝達能力のさらなる向上を目指す。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

教科書

未定。

その他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名
英語ⅡA	はぎわらてる 萩原輝

講義のねらい

英語で自分の意見が、自由に表現出来る能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、その日に読んだテキストの本文に対する意見を、英語で表現する。

履修上の留意点

大学生としてふさわしい辞書を持つてくること。

成績評価の方法

授業態度、出席、提出物、前期・後期の試験等の総合評価

教科書

Brenda hayashi/岡田圭子・他著 *Front-runners in the 21st Century : 12 Outstanding Companies* 『挑戦する企業』(松柏社)
ISBN4-88198-576-0

英語ⅡC（会話）

〈英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡCのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。
達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア500点、TOEIC®のスコア700点程度。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡC（会話）	ソルタ，P. N. F.

講義のねらい

English Conversation II C was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・ 授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3 : Romantic relationships / Dating

Unit 4 : Shopping

Unit 5 : Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6 : Jobs / Job interviews

Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions

Unit 8 : Music / Pop groups

Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11 : Responses in various situations / Stories

Unit 12 : Plans for the future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class where all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for passing grade in English Conversation II C.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『*Face To Face : English for today's Generation*』 Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	担当者名
英語ⅡC(会話)	チャンドラー, J. E.

講義のねらい

The emphasis is placed on more topic based English to help give student a more real world experience of English. Students will also participate in small group talks. Various strategies will be used to help build student vocabulary.

成績評価の方法

Evaluation will be based on weekly class performance, short tests, a mid-term and a final exam.

教科書

Jack C.Richards,David Bycina,Ingrid Wisniewska 『*Person to Person*』 (Oxford Press)
ISBN0-19-430212-1

科目名	担当者名
英語ⅡC(会話)	セイジ, K.

講義のねらい

初回の授業で説明します。

成績評価の方法

出席率はもちろん(3分の1以上の欠席は不可とする)、授業時間内における受講者の積極的な参加がのぞまれる。
詳細については初回の授業で説明します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語ⅡC(会話)	ハバード, W. D.

講義のねらい

Students are expected to increase their English listening ability through interaction with the teacher and to improve their conversation skills to express topics of their own interest.

講義の内容・
授業スケジュール

- ・ Personalized tasks to help students develop real-life communicative skills
- ・ built-in task-planning time to improve fluency and accuracy
- ・ exercises that consistently highlight and recycle lexis to help students build a bigger active vocabulary
- ・ imaginative activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- ・ a discovery approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use

履修上の留意点

Students taking this course are expected to have passed conversation I in the previous year

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results

教科書

Peter Maggs, Sue Kay, Vaughn Jones and Philip Kerr 『*Inside English* Intermediate.』 (Macmillan Language House)

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

前期授業

1. Orientation
2. All About the "Real" Me
3. All About the "Real" Me
4. Friends Forever
5. Friends Forever
6. Student Reports
7. Shopping for Bargains
8. Shopping for Bargains
9. Dreaming About Summer
10. Dreaming About Summer
11. I'd Better Get a Job
12. I'd Better Get a Job
13. What do You Think ?
14. What do You Think ?
15. Final Student Reports

後期授業

1. Summer Vacation Reports
2. Rap, Rock, Reggae
3. Rap, Rock, Reggae
4. What a character
5. What a character
6. Student Reports
7. Money Matters
8. Money Matters
9. Part - Time Jobs
10. Part - Time Jobs
11. Situations in Life
12. Situations in Life
13. Facing the Future
14. Facing the Future
15. Final Student Reports

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a bilingual dictionary and folder.

成績評価の方法

GPA 方式 平常点等

教科書

Dale Fuller/Corey Fuller 『*Face to Face*』 (Macmillan Language House) 1,890円
ISBN4 - 89585 - 223 - 7

参考書等

Bilingual dictionary

その他

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be a dictation practice with handouts.

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡC(会話)	ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

『*Within Your Reach : Keys to Conversation*』(NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡC(会話)	ロンゴ, T.

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教 科 書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

英 語 Ⅲ A

〈英語ⅢAの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡAを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

科目名	担当者名
英語ⅢA	小布施 圭佐三 <small>おぶせ けいさぞう</small>

講義のねらい

英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール

総合教材を使用し、読み物としてのおもしろさを十二分に生かしながら、効率的な読解のスキルを訓練します。

〈前期〉 Chapter 1～Chapter11

〈後期〉 Chapter12～Chapter22

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。予習してきてください。

成績評価の方法

出席点／授業の貢献度／レポート／小テスト／定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

土屋武久／花光理香／B. Benfield 『*Read Up-22 Steps to Strategic Reading*』（成美堂）
1,700円 ISBN4-7919-4062-8 C1082

科目名	担当者名
英語ⅢA	佐藤 孝一 <small>さとう こういち</small>

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計り TOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

授業で指示。

科目名

英語Ⅲ A

担当者名

甲斐捷子

講義のねらい

テキストはアメリカ国内向けニュース番組”World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることが授業の目的です。一单元わずか3分で報道されるニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、かつ内容について話せるように学びます。授業の最初の15分間、リスニングの基本となる発音とイントネーションの練習をアメリカのCDを使って行いたいと思っています。その場合、資料はハンドアウトとして配布します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はまず、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握します。この後、語句の解説を英語で行いながら、報道内容を読みます。内容がしっかり把握できた段階で、語句から文章へと、徐々に内容を英語で話す練習をします。この後、テキストについている簡単な復習問題を行い、小テストを持って、一つの単元を終了します。前期、後期とも授業の進め方は同じですが、後期は力がついてきますので、クラスの弱点が補強できるよう、多少の変更を行うかもしれません。

履修上の留意点

CD、ビデオのダビングは著作権法上できません。授業中の練習がすべてですから、授業を遅刻したり、休んだりしないようにしてください。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Shigeru Yamane/Kathleen Yamane 著『ABC World News 8』（金星堂）¥2,000

科目名

英語Ⅲ A

担当者名

ひろ川 治

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、リスニング・読解を交え、文法・会話表現等を修得することを目的とする。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前・後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定（必要に応じて購入を指示）

科目名	担当者名
英語ⅢA	山 口 晃 <small>やま ぐち あきら</small>

講義のねらい	英語の学習を通して、今年度は環境の問題を考え、表現する方法を身に付ける。ⅢAである事を考え、とりわけこうした問題での表現方法に重点をおきたい。
講義の内容・授業スケジュール	毎回英文のプリントを配布する。それを使って具体的な表現を徹底してマスターする。
履修上の留意点	辞書は毎回必ず持ってくる事。 遅刻は、他の学生の学習を妨げるので、遅れないように注意する事。
成績評価の方法	前期、後期それぞれにレポート提出とテスト。それに平常点を加えて評価する。
教科書	プリント。資料も随時配布。
参考書等	授業の中で、随時紹介する。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅢA	伊 藤 美代子 <small>い とう みよこ</small>

講義のねらい	I A、II A からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。実際の経済ニュース記事を読むことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての及びリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点と提出物により計算する。
教科書	Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂)1,600円(国内編)、1,500円(国際編)

科目名	担当者名
英語ⅢA	井 伊 順 彦 <small>い い のぶ ひこ</small>

講義のねらい	ややレベルの高い文化論を読んで読解力を高めるとともに、「書く」、「聴く」の技能についても考慮する。
講義の内容・授業スケジュール	テープを活用して英語の音声の特徴をつかんでもらうことにする。英作文も工夫したかたちでおこないたい。また、必要に応じてビデオ教材も使うだろう。
履修上の留意点	毎回かなりの数の学生諸君が指名され、質問に答えることになる。積極的な参加を期待する。
成績評価の方法	数回の小テスト、質疑応答の内容、出席数を柱とするが、詳細は教室で。
教科書	『文化が衝突するとき <i>When Cultures Collide</i> 』(南雲堂)1,800円+税

科目名

担当者名

英語ⅢA

おちあいかずあき
落合和昭

外国語

講義のねらい

このクラスは様々なオフィスで話される典型的な会話を、ヒアリングを通して学び、さらに、経済・貿易・商業に関する読み物を読む。オフィス英語やビジネス英語は読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、オフィスやビジネスに関する会話表現と経済・貿易・商業に関するリーディングからなる。講義は、通常、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、リーディングによって、正確な意味をとる。第三段階は、リーディングの内容に関する練習問題等をする。第四段階は、発音練習である（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当たるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『やさしいオフィス英語』（成美堂）1,800円 ISBN4-7919-4711-8 C2082
『初めてのビジネス英語—大学からビジネス・ワールドへ—』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3655-1 C1082
プリント

科目名

担当者名

英語ⅢA

いとうこういち
伊藤幸一

講義のねらい

今、日本で成功している12の企業のヒケツを平明な英語で学ぶ。
毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また復習の為に、5月末、夏休み、大学祭後に、計3回、宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の予習、復習、「まとめ」の成績によるが、詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『*Front-runners in the 21st Century: 12 Outstanding Companies*』（松柏社）

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	すぎもと まさとし 杉本 正俊

講義のねらい

「ドイツ語入門」が授業の真のテーマですが、特にこの授業では、「文法」にスポットをあてて、初めて学ぶ外国語であるドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意しますが、その他の学習項目はすべて教科書の記述順に授業を進めて行きます。教科書を一冊すべてやり終える事が、一応、一年間の授業の目標となります。

履修上の留意点

授業中は勉強に注意を集中する事。又課題は全てきちんとこなす事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進みぐあいを見てから決める。が、後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは成績に影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは総合的に判断する。

教科書

西本美彦 西本アンゲリカ『エクセ12-ドイツ文法』（朝日出版社）2,200円

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	やぶした こういち 藪下 紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリー又ユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようにしていくのです。ドイツ語 I A（文法）で苦勞しておくと、あとが楽になります（2年生で）。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。（50点満点の試験を2回）

教科書

本郷健次他『ドイツ語 ルネサンス』（三修社）2,500円+税

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	もと はし こう 本 橋 右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。後期には辞書を片手になんとかやさしい文章が読めるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

アルファベット、発音と、文法を初めから学んでゆきます。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認して行きます。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

酒井明子・他 『新ドイツ語の泉』（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	井村行子

講義のねらい	ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って進めます。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	近藤／小林／新倉／松尾『Dialog—ベーシック版』（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	岡本時子

講義のねらい	初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。
履修上の留意点	受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。
成績評価の方法	期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。
教科書	荻野蔵平『ユネスコ遺産で学ぶドイツ語』（朝日出版）
参考書等	参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらには EU を知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD 付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3 課ごとに 1 回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験（筆記試験）の成績が評価の基準になります。

教科書

清野・ラインデル著「ドイツ語の時間」朝日出版 2,400円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I C (会話)	清水修 <small>しみずおとむ</small>

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べることができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は DVD 付きの教科書を用いて行います。(DVD の再生装置は必須ではありません。) 映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！ [DVD 付き改訂版]』（朝日出版社）
2,600円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	柴野博子

講義のねらい	中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。
履修上の留意点	ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。
成績評価の方法	年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。
教科書	大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫

講義のねらい	一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。
講義の内容・授業スケジュール	<p>おおよそのスケジュール</p> <p>前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）</p> <p>前期後半：練習問題と平行して、映画をみながらテキストである映画のシナリオの読解。</p> <p>後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画の内容：元刑事のタクシー運転手とトルコから連れてこられて犯罪の手先に使われるクルド人少年の心の交流を温かくかつクールに描いたもの）</p>
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
成績評価の方法	前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）
教科書	<i>Uwe Timm: Eine Hand von Gras</i> (ISBN:3-462-02916-9)。本が欲しい人は自分で洋書店で注文してください。そうでない人にはコピーを用意します。

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅡC(会話)

堀内美江

外国語

講義のねらい

ドイツでは今日本文化が、日本食からアニメや盆栽などに至るまで注目をあびています。日本人と話をしたいと思っているドイツの人達も少なくありません。皆さんがドイツ人と知り合って、そしておしゃべりすることができたら、皆さんの世界は一気に広がることでしょう。この授業では、自分のことを伝えたり、相手のことを聞き取ったりといった練習を具体的場面を想定して繰り返しおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：空港で、ホテルで、駅で、レストランで——さまざまな場面を想定しつつ、旅行で使えるような初歩的な日常会話を学びます。
後期：日帰り旅行をしたい、何かの行事に参加してみたい、短期に滞在してみると——ドイツに住む時に役立つレベルの会話表現に触れていきます。

履修上の留意点

会話の授業ですが、文法的な知識も確認しながら進めていきますので安心して毎回授業に参加して下さい。できるだけたくさんドイツ語を口にしてみましょう。

成績評価の方法

出席と数回の会話チェックなどを含めた総合評価をおこないます。

教科書

プリント配布（予定）

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅢA

堀内美江

講義のねらい

ドイツの本を読んでみたい、ドイツ語のHPを読みみたい、今までの総復習としてドイツ語の知識を深めたいと思う方に向けられた授業となります。ドイツの文化を紹介しながらこの授業では、場面毎の決まった言い回し、書き方、習慣的な表現のバリエーションなどのよりは幅広いドイツ語知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：忘れがちな文法を、会話、ヒアリング、作文や読解などに取り組みながら確認していきます。
後期：いくつかの要注意項目を文法的に復習しながら、より長い会話やテキストを用いてドイツ語の力をつけていきましょう。

履修上の留意点

皆さんの様子を見ながら授業を進めていきます。1年後に「ドイツ語がけっこうわかってきた」と言えるように一緒にがんばっていきましょう。

成績評価の方法

出席、確認テスト及び確認プリントなどの総合評価をおこないます。

教科書

授業初回時に指示します。

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A	小玉 齊 夫

外国語

講義のねらい	「話すための」フランス語学習に直結するような、文法の勉強をしていこうと思っ ています。授業で新しく得た知識をすぐに使えるような、フランス語をいちいち日本語と突 き合わせて覚えるのではなく、フランス語の音として身につけてしまうような、そ ういう在り方が理想的なので、そのための練習を、可能な限り豊富に、数多く、試 みてみようと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の文法的な内容は結構多いので、授業の展開はすこし早めになるかも しれません。覚えることがらも少なくはありません。要するに、フランス語 漬けになるくらいのつもりで、授業に出て下さい。
履修上の留意点	上のような内容になるからには、それなりの覚悟が必要かもしれません。特 別な理由のない限り欠席しないこと。毎回の授業で覚えたことがらを積み重 ねていくこと。
成績評価の方法	日常の授業への参加の度合いを見つつ、前期・後期（後期の方を重視し ます）の試験結果によって判断します。出席はするのが当たり前。よって 「出席点」などはありません。
教科書	伝田 他著『コミュニケーションのためのマニュアル フランス文法』 （第三書房）2,500円 ISBN4-8086-2021-9 C1085
参考書等	辞書等については開講時にお話しします。

科目名	担当者名
フランス語 I A	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄

講義のねらい	基礎的な文法事項をきちんと身につけること。
講義の内容・ 授業スケジュール	はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から 複雑な事項に順を追って進んでいきます。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻 をして説明を聞きもらさないこと。
成績評価の方法	2～3回の筆記試験を行ないます。
教科書	安倍住雄他著『フランス文法 ABC』（白水社）1,785円 ISBN 4-560-06045-2
参考書等	最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語 I A	出口 雅敏

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

吉野仁子著『プティタプティ』（第三書房）2,000円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I B	桑田 禮彰

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
フランス語 I B	浜崎 設夫

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	担当者名
フランス語 I B	とむ やま ひろ お 遠 山 博 雄

講義のねらい	ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。
成績評価の方法	筆記試験を2回行ないます。その中にリスニングも含まれます。
教科書	藤田裕二他著『新・東京ーパリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円 ISBN4-411-01097-6
参考書等	最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語 I C (会話)	とむ とう くみ こ 佐 藤 久美子

講義のねらい	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。
履修上の留意点	出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。
成績評価の方法	前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。
教科書	Muramatsu、土屋著『ピコティ・ピコタ』（駿河台出版社）定価2,500円
参考書等	文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。
その他	CDつきのテキストなので、音声教材は、授業時以外にも積極的に聞くように心がけてほしい。

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	遠山博雄 <small>と お や ま ひろ お</small>

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	前田祝一 <small>ま え だ の けい かず</small>

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

柳沢・小田切編『ギリシャ神話2——エロスとオルベウス——』（第三書房）1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡC(会話)	大野英士 <small>お の ひで し</small>

講義のねらい

少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の各章はDialogues(会話)、文法事項の解説、応用練習、応用会話練習で構成されています。一応、教科書に沿って進みながら、演習や会話練習を行います。

履修上の留意点

語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法

出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。

教科書

沼田五十六、松村博史他著『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

参考書等

授業開始時に教室で指示します。

科目名

担当者名

フランス語Ⅲ A

おおのひでし
大野英士

外国語

講義のねらい

ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。

講義の内容・
授業スケジュール

一応、復習も兼ねて、下記の教科書を指定しておきます。当面教科書に沿って、会話演習、文法解説、テキストの講読等を行います。出席者のレベルや、関心をみながら、教科書が早く終わるようであれば、新聞や雑誌の記事、フィクション・シャンソンなど、ジャンルにとらわれず広くさまざまなスタイルの文章を読みたいと思います。

履修上の留意点

なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。教科書にはCDもついていますので活用してください。

成績評価の方法

出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。

教科書

北山研二著『レサマン』（朝日出版社）1,500円

参考書等

初回到教室で紹介します。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅠC（会話）

「聴く、話す」といった会話中心に構成される。ⅠA-ⅠBで学ぶ基礎的な文法と語彙を、口と耳の反復練習を通じて音声的に定着させ、3年次まで必修となる1カ国語集集中学習の基礎を築くことを目標とする。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡC

音声による言語運用能力の更なるブラッシュアップを目指す。基礎会話から応用会話へという方向性は言うまでもないが、新たな文法上の知識は特に必要とせず、むしろ1年次に習った語彙や文法に基づいて自分の言いたいことを形にしていくための反復練習が教室での作業の主要部分となる。

中国語ⅢA

これまでの学習の蓄積の上に、主として中国語の読み書き能力の向上を図る。授業数は週1回に減るので、教材は音声よりも長文読解や作文が中心となる。時には読み方が判らぬ字があっても停まらずに読み進めて大意をつかんだり、少しまとまった思考内容や状況説明を口頭でなく文章で相手に伝えたりするシミュレーションを通じて、中国語の処理における一定のスピードを体感し、部分的に中国語を介した情報収集や商務に可能性を拓くことを目指す。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまふなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も薦めできる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年岩波書店）5,000円

科目名	担当者名
中国語 I A	ふせ なおこ とく まよしのぶ
中国語 I B	徳間 佳信

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業をすすめる。基礎となる発音をしっかりとマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、発音練習や作文練習に取り組むことが大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の積極性、小テスト、中間テスト、期末テストによって、総合的に評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	小栗山 <small>おぐりやま</small> 恵 <small>けい</small>
中国語ⅠB	大久保 <small>おおくぼ</small> 明 <small>あき</small> 男 <small>お</small>

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	工 <small>く</small> 藤 <small>どう</small> 早 <small>さ</small> 恵 <small>え</small>
中国語ⅠB	布 <small>ふ</small> 施 <small>せ</small> 直 <small>なお</small> 子 <small>こ</small>

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	吉 <small>よし</small> 田 <small>だ</small> 建一郎 <small>たていちろう</small>
中国語ⅠB	佐 <small>さ</small> 藤 <small>とう</small> 普美子 <small>ふみこ</small>

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

とにかく出席し、大きな声で発音しましょう。

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A	しお はた しんいちろう 塩 旗 伸一郎
中国語 I B	

外国語

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IA と IB が連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。IA と IB は連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績を IA に、後期の成績を IB に反映させる。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

前期、火曜と土曜を合わせて欠席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A	さとう ふみこ 佐藤 普美子
中国語 I B	しも のぶこ 下出 のぶ子

講義のねらい

入門段階で最もたいせつな発音指導、発音記号（ピンイン）の習得、基本文法の概略の学習を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教師が一冊のテキストを用いて授業を行う。下出が文法説明を、佐藤がワードバンクと総合練習を分担する。発音練習、各課本文は二人で反復する。

履修上の留意点

大きい声を出して積極的に学ぶこと。出席は原則として皆出席のこと。

成績評価の方法

小テスト、平常点、出席状況、前・後期期末テストにより総合的に評価する。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,600円 CD付。

参考書等

開講後紹介。

科目名	担当者名
中国語 I A	ほんまゆかり 本間 由香利
中国語 I B	そうたいわ 曹 泰和

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を IA で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を IB で行う。
履修上の留意点	予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語 I C (会話)	うえほらかおり 上原 かおり

講義のねらい	中国語学習の基礎である音節の聞き取りと発音に力を入れ、基本的な表現方法を学んで、中国語会話能力の土台作りをします。
講義の内容・授業スケジュール	前期のはじめに中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の練習から始め、その後、教科書にしたがって基本的な語彙と文法事項を含んだ例文や会話文を口頭で繰り返し練習していきます。
履修上の留意点	欠席せず、予習、復習を行ない、授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に参加してください。
成績評価の方法	出席状況、小テスト（聞き取り、暗唱等）、定期試験によって総合評価します。
教科書	中国語文教育研究会・王迪主編『加油！加油！』（白帝社）2,500円
参考書等	授業中に紹介します。

科目名	担当者名
中国語ⅠC(会話)	ほんまき ゆかり 本間 由香利

講義のねらい	日本人が最も苦手とする発話、ヒアリングの強化。簡単な単語、フレーズを繰り返し使うことによって基礎を確立します。
講義の内容・授業スケジュール	音声を重視した授業を行います。そのために先ず発音記号の習得訓練を行い、次に簡単な会話練習を行います。
履修上の留意点	自宅で予習・復習と発音練習を行うこと。
成績評価の方法	平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。
教科書	竹島金吾監修 竹島毅・尹景春『中国語はじめの一步』（白水社）2,310円
参考書等	図書館書誌検索画面へ 授業中に指示する。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	はしちと さちえ 橋本 幸枝

講義のねらい	あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。
講義の内容・授業スケジュール	本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	王曙光『中文大世界』（白帝社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子

講義のねらい	自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。中国の社会文化に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	中国事情を紹介した文章を読む。 文法事項を体系的に把握する。 下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。
履修上の留意点	必ず予習してこよう。
成績評価の方法	前後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、出席状況を総合して評価する。
教科書	顧明耀ほか『系統的に学ぼう中国語Ⅱ 中級読解コース』（白帝社）1,890円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李 雲

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璠・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』（朝日出版社）2,310円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	弘 兼 加奈子

講義のねらい

全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。

成績評価の方法

成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡC(会話)	上 原 かおり

講義のねらい

中国語学習の基礎である音節の聞き取りと発音に力を入れ、基本的な表現方法を学んで、中国語会話能力の土台作りをします。

講義の内容・授業スケジュール

前期のはじめに中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の復習から始め、その後、教科書にしたがって基本的な語彙と文法事項を含んだ例文や会話文を口頭で繰り返し練習していきます。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を行ない、授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、小テスト（聞き取り、暗唱等）、定期試験によって総合評価します。

教科書

中国語文教育研究会・王迪主編『加油！加油！』（白帝社）2,625円

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名
中国語ⅡC(会話)	宮本厚子

講義のねらい	一年生で学んだ単語や構文を元に、口に出して言えるように訓練する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って、発音、声調の矯正を行いつつ進める。
履修上の留意点	発音の練習に積極的に取り組むことが求められる。
成績評価の方法	学期末の2回のほか、各学期に1回ずつ中間テストを行う。 試験は口頭のほか、適宜筆記試験も行う。出席などの平常点とテストの両方で評価する。
教科書	守屋宏則、柴森著『中国語フィットネスエイト』（朝日出版社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅢA	王 聡

講義のねらい	中国語の文章や文法事項の学習と同時に、中国語の日常会話や中国文化の学習も並行していきます。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業をします。
成績評価の方法	前期試験40%、後期試験40%、出席率・授業態度20%
教科書	相原茂・楊凱榮・張麗群『ドリル式中国語テキストⅡ』（くろしお出版）1,890円

科目名	担当者名
中国語ⅢA	上原 かおり

講義のねらい	一、二年次に学んだ基礎の仕上げとして、文章の講読を通して読解力と作文能力の向上を図ります。
講義の内容・授業スケジュール	使用する教科書には生活のいろいろな場面において日本との違いを取りあげながら紹介した文章が取められています。各課の文章を講読したうえで、文中に含まれる常套語句を用いた作文に取り組みます。
履修上の留意点	欠席せず、予習を済ませてから授業に参加してください。
成績評価の方法	出席状況、予習状況、課題、定期試験によって総合評価します。
教科書	張継濱、小川文昭『中国ってどんな国？—生活風景点描』（白水社）2,100円
参考書等	授業中に紹介します。

[スペイン語]

科目名	担当者名
スペイン語 I A	佐藤 佐知

講義のねらい

スペイン語文法をテキストに沿って初級から学び、基礎的な文法知識をもとに作文・読解・会話練習を行い、実践的な語学力を身に付ける。あくまでも「言葉」としてのスペイン語を習得することを目的とし、活用などの文法事項の暗記にとどまらず、表現力に重点を置いて授業を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

2～3回の授業でテキストの一課を終えるペースで進む。テキストの練習問題では不十分な箇所については、その都度プリントによって補っていく。

<前期>現在形を中心に学び、自己紹介や身の回りの日常的な事柄についてスペイン語で語れるようになる事を目指す。

<後期>その他の直説法時制を学び、会話練習を取り入れることによってスペイン語運用能力の向上を図る。

履修上の留意点

授業の予習をしてくる事。分からない単語の意味などは事前に各々が調べてあることを前提に授業を行う。また復習の手助けとするための小テストを随時行う。

成績評価の方法

平常点（出席率や小テストの点数、提出物など）と、学期末の定期試験の両方を考慮に入れて評価する。

教科書

福島教隆著『生き活きスペイン語』（朝日出版社）2,000円

参考書等

辞書などは初回の授業で紹介する。

その他

授業はテキストに沿って進めるが、学生の積極的な授業参加を求める。テキストで足りない部分はその都度プリントなどで補うことにする。

外国語

科目名	担当者名
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々になれ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

西川著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語 I A	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン・J・ナバーロ『 <i>Español dinámico</i> 』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。
成績評価の方法	主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点の対象となることがある。
教科書	アルトゥーロ・パロン・ロベス他『スペイン語で行こう!』（朝日出版社）
参考書等	『クラウン西和辞典』（三省堂）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	米田博美

講義のねらい	「スペイン語は神様と話す言葉である」とよくいわれます。アメリカ合衆国では、ヒスパニック（スペイン語系アメリカ人）人口が約4000万弱と勢力を拡大しつつあり、一昨年のアメリカ大統領選挙では、ブッシュ、ケリー両候補とも、スペイン語で演説をしたほどです。4億を越え、世界20カ国で話される言葉は背景にあるスペインやラテンアメリカ（ラ米）の文化と共に魅力に富んでいます。将来、諸君は仕事や観光で、スペインやラ米などスペイン語圏諸国を訪れられることでしょう。本年は、メキシコと日本との自由貿易協定を含む経済連携協定も発効し関係が強化されます。アメリカ合衆国とラ米全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラ米諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語は重要な言語です。安易な考えでなく、各自、強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。
講義の内容・授業スケジュール	年間スケジュールとして、下記テキストの1～8課までの範囲を学習します。
履修上の留意点	スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。
成績評価の方法	成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。
教科書	エクトル・ルエガ・デ・レオン、富士祥子著『日本人のためのスペイン語』（エクセルシア社）
参考書等	辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和中西辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。
その他	文法事項の説明は一方的なものとならないよう、双方向的な授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントもする考えです。

科目名	担当者名
スペイン語 I B	栗林ゆき絵

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形を中心に学習する。随時、小テスト（活用・単語）を実施。
履修上の留意点	随時小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。
成績評価の方法	小テスト30%（日程は授業中に指示）、前後期の期末試験70%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書	西川喬『さあ、始めようスペイン語』（同学社）2,500円
参考書等	〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	おざのまさし 萩野雅司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語 I C (会話)	ルイズティノコ, C.

講義のねらい

この授業では基本的な文法を学びながら、様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。

表現力や会話能力を高めることを目的とする。

毎回の練習は重要なので出席を重視します。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

Itoiawa Miki, Futamura Hisanori, Mito Hiroyuki 『MIRA! (ミラ)』（同学社）
ISBN4810203549

科目名	担当者名
スペイン語 II A	ましもゆういち 真下祐一

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	上野勝広

講義のねらい

スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時にプリントを配布し、口頭および筆記の練習を追加します。またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡC(会話)	真下祐一

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習から始め、すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習などを通して自由な会話力の基礎を固めます。

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書

坂東省次ほか『改訂版』コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）

科目名	担当者名
スペイン語ⅢA	真下祐一

講義のねらい

三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

目次に沿って進めます。はじめに各テーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布します。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

ソニア細野／ナンシー上地 『カミノ・リアル2』（白水社）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

I C（会話）：会話中心の授業です。I A、I Bで学んだ基礎ロシア語を踏まえ、やさしいロシア語会話を定着させる授業です。経営学部では3年次まで必修となる1カ国語集中の基礎を築くことをめざします。

II A：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II C：基礎会話の上にさらに会話能力を発展させるための授業です。より複雑な内容を伝達できるように会話力を高めることに留意します。文法知識は初等程度で充分です。

III A：基礎ロシア語の文法を踏まえ、ロシア語の読み書きの力をさらに向上させます。インターネットでリアルタイムのロシア語を読んだり、聞いたりすることも授業のなかでとりあげ、総じて生のロシア語を理解することに努めます。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名
ロシア語 I A	すぎやま ひでこ 杉山 秀子

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B	ひろ た ひでやす 廣 田 英 靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅠC(会話)	佐野朝子

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	木村英明

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅲ A	クロチコフ, Y.

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容・授業スケジュール	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。
教科書	学生の学力に応じて教科書を選びます。 プリント配布。 ビデオ、オーディオ等を使用します。
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

《再履修クラス》 [英語]

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ 松 とう 堂 ひろ 啓 こ 子

講義のねらい

リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

小試験・期末試験等を総合的に評価します。

教科書

『Power-Up English 〈Basic〉』（南雲堂）ISBN4-523-17449-0

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ 岩 い 井 ひろ 洋 み 美

講義のねらい

自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まさ 牧 の 野 てる 輝 よし 良

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本&Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	荻原 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	J. グレイ・高橋・他著 World Companies『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス） ISBN4-8034-1228-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	埴 美智子

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『 <i>Appreciating European Culture</i> 』—生まれ変わるヨーロッパ—』（成美堂）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	川崎 笑佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『 <i>Enjoy Writing for Everyday Use</i> 』（北星堂）1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお たい 由 紀子 太 田 由 紀子

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin. <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99 ISBN : 0141011475

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ひ やま すすむ 桧 山 晋

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退席。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ ほん やす お 岩 原 康 夫

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	丸小哲雄

外国語

講義のねらい	広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。
講義の内容・授業スケジュール	英文法は総合理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。
履修上の留意点	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。
成績評価の方法	出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。
教科書	<i>Decoding Advertisements</i> (英宝社) <i>A Complete College English Program Book 3</i> (金星堂) ISBN4-7646-3813-9
参考書等	随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高見陽子

講義のねらい	英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。
履修上の留意点	必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。
成績評価の方法	前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。
教科書	土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、 <i>A Complete College English Program</i> 【大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)】(金星堂) 1,900円 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	澤田真弓

外国語

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	杉本豊久、孝子共著『 <i>In-Depth Reading</i> パラグラフの読みと深化』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	江田幸子

講義のねらい	英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。 英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのに適しているでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。
成績評価の方法	再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数の多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。
教科書	『 <i>Base Line</i> 』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17503-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	相馬美明

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。
成績評価の方法	全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。
教科書	Hiroko Nishida・William Gudykunst『 <i>American Communication Patterns</i> 』（金星堂）1,200円 Mitsuhō Sugawara『 <i>10-Minute Listening (Introductory)</i> 』（桐原書店）780円

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には 2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%。

教科書

『Looking at America』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	大瀨利春 <small>おおのりはる</small>

講義のねらい

英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題一単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。

履修上の留意点

授業は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村祐子

講義のねらい	英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り力をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	前期：教科書 UNIT 1-11まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。 (各ユニットごと) 後期：UNIT12-22まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験 (各ユニットごと)
履修上の留意点	出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。
成績評価の方法	口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を3分の1とし、残りの3分の2は発表と聞き取り試験で採点する。
教科書	<i>Essential Listening 3</i> (Macmilan)

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	いいぬまよしなが 飯沼好永

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)
教科書	<i>Leading Companies in the 21st Century</i> 「21世紀の企業—成功の舞台裏」(松柏社) 1,900円 ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	菅原典子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	熊井信弘／Stephen Timson 共著 <i>Smash Hit Listening Revised Edition</i> 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミラン ランゲージハウス）2,100円 ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『Access To The Future』（南雲堂フェニックス）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・授業スケジュール	テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
成績評価の方法	前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。
教科書	教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としいちろう</small>

講義のねらい	子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。
履修上の留意点	テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。
成績評価の方法	平常評価の出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価。
教科書	丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから見た日本の環境』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	吉江 正雄 <small>よし え まさ お</small>

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H. G. Wells の "A Short History of the World" というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。
教科書	H. G. Wells 著『A Short History of the World』（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	澤田 真弓 <small>さわ だ まゆみ</small>

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	矢島直子

講義のねらい	英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。
履修上の留意点	どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。
成績評価の方法	日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。
教科書	<i>James Bean, Listen to this !</i> [Intermediate](成美堂) 2,400円 ISBN4-7919-4579-4

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	外池一子

講義のねらい	現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましいです。
成績評価の方法	平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	山岸二郎

講義のねらい	すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。
履修上の留意点	予習しておくこと。
成績評価の方法	平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。
教科書	<i>Ins & Outs</i> （金星堂）1,700円 ISBN4-7647-3812-0 C1082

〔ドイツ語〕

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	もとほしうら 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。やさしい例文にできるだけ多くあたり、運用能力の涵養を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社)

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	ししまとみえ 志真斗美恵

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にしたがって、発音練習をし、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。毎回必ず辞書持参のこと。

成績評価の方法

平常点(毎回の練習問題の提出)と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『魔法使いの弟子——なじみやすいドイツ文法』(同学社) 2,300円

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	いむらゆきこ 井村行子

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田『ドイツ語文法18課』(同学社)

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	数下 紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦勞しておく、あとが楽になります (2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

『ドイツ文法 アウトライン』(郁文堂) 1,700円+税

その他

このクラスは昨年一寸点がとれなかった人達のものですが、今度こそは優とってやる、と腹をくくって頑張ってください。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書

南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2,300円

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	いいづか 飯塚 公夫

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (= 発表点)。

教科書

菅谷泰行他著「EUで学ぶドイツ語」(白水社) 2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B [再クラス]	すぎもとまさとし 杉本正俊

講義のねらい

ドイツ語を全く知らない人に ABC からドイツ語を教えます。発音、文法、語彙などあらゆる観点からドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意するが、その他はおおむね教科書に記載された項目順に学習を進める。

履修上の留意点

予習は必ずしも要求しない。授業中は勉強に注意を集中し、与えられた課題は全てきちんと行う事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進み具合を見て決める。しかし後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは全く成績には影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

太田隆士・明石真和・櫻井千絵著『楽しいドイツ語トレーニング』（三修社）2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B [再クラス]	もとほしうきょう 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。できるだけ基本表現は覚えて行きましょう。

履修上の留意点

しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新々・じゃあ、またあした！』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I C (会話)[再クラス]	しみずおさむ 清水修

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べることができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は DVD 付きの教科書を用いて行います。(DVD の再生装置は必須ではありません。)映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に参加して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき！(DVD 付き改訂版)』（朝日出版社）2,600円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もり 森 こう 公 せい 成

講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もと 本 はし 橋 う 右 きょう 京

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

伊藤・他「ゲーテ・ライゼ！」＜新版＞（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	い 井 むら 村 ゆき 行 こ 子

講義のねらい

2年生のドイツ語を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

教科書販売時までに決めて、書店のほうに連絡しておきます。

〔フランス語〕

科目名

担当者名

フランス語 I A〔再クラス〕

まえ だ のり かず
前 田 祝 一

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

天羽・他編『初級フランス語文法（改訂版）』（朝日出版社）2,200円

外国語

科目名

担当者名

フランス語 I A〔再クラス〕

あし ほら けん
声 原 眷

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	小玉 齊夫 <small>こたまなりお</small>

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然です。

教科書

斉藤 昌三 著 『ル フランセ』(白水社) 1,750円
ISBN4-560-06052-5

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	菅原 猛 <small>すがはら</small>

講義のねらい

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社) 2,200円(税別)

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	谷川 かわ かのる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	菅谷 すが や かのる

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	今関 いま げき アン

講義のねらい	一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
履修上の留意点	2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
成績評価の方法	2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)
教科書	安田悦子著『ヴィット フェ・ビヤン フェ』（白水社）2,100円
参考書等	仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入） 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	伊藤 なお

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いての練習問題に取り組みます。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくり勉強しておします。ビデオの映像と音声により、フランス語とフランス文化に親しみつつ、簡単なフランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点

出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書

田中保子『サリュ!』（駿河台出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	小玉 齊夫

講義のねらい	文法事項の復習をしながら、やさしいフランス語を読み進み、フランスという文化圏についての知識・判断を深めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそですが、二週で一課を終わらせるという速度で、進んでいきます。一課終了ごとに、その課についての小テストも行う予定です。
履修上の留意点	健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、そのつど、新たなフランスに関する知識・判断をたくわえていって下さい。授業には、以前使用していた文法の教科書や仏和辞書を必ず持ってくることを。
成績評価の方法	(上記の)小テスト、授業への「参加」の様子、それに、前期および後期の試験で評価します。毎回の出席は義務(ならびに権利)です。「出席点」などというものは付けません。
教科書	中村著『素顔のフランス ―ヴァリエーション―』(青山社) 1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	沼倉 広子

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランス一周自転車レースを追いながら、フランスの地理、歴史の概要が理解できるようにする
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。
教科書	三野博司著 [テキスト版]『ツール・ド・フランス』(白水社) ISBN4-560-00969-4 C3085

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	前田 祝一

講義のねらい	中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。
履修上の留意点	フランス語ⅡA・ⅡBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。
成績評価の方法	成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。
教科書	ミカエル・フェリエ著・福井編『クロヴィス——フランスの誕生——』(朝日出版社) 1,155円

〔中国語〕

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,100円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	あき もと へい 秋 元 翼
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

発音面も重視し、ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の正しい発音・語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型の運用能力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

正しい発音を習得するには、先ず発音記号の「拼音字母」及び「声調符号」（四声）の読み方を併せて学習する。それから、基本文型に入る。

履修上の留意点

予習と復習が不可欠である。よって自主的学習が、その成果につながることを心得て欲しい。

成績評価の方法

平常点で評価する。（出席状況を加味する）

教科書

陳榮生等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,625円（本体）

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子
中国語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	中国語の発音と基本文法を習得する。
履修上の留意点	最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
成績評価の方法	前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。
教科書	瀬戸口律子『中国語ははじめました』（駿河台出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。 ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。 ③教科書の設定したコミュニケーション場面の基本的な会話パターンを解析し、基礎文法を習得する。そして、会話文や基本表現とドリルを通して、語彙や表現法を増やし、中国語的な会話の運び方を習得する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。
教科書	関中研（関西大学中国語教材研究会）編著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ほんまゆかり
中国語ⅠB〔再クラス〕	本間由香利

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音記号の習得を徹底的に訓練します。毎回の授業は、単語・例文の意味確認、文法の説明を行い、聞き取りや簡単な会話練習も行う予定です。

履修上の留意点

出席を重視します。自宅で予習復習を行い、発音練習をしてくることを。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円

参考書等

授業の中で紹介する。

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ちよういとう
中国語ⅠB〔再クラス〕	張渭涛

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかり身につける。中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張って続けていけば、必ずためになる。

教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語・会話と閲読』（中国詩文研究会発行、東方書店出版）1,800円（CD付き）

参考書等

推奨辞書は開講時に説明する。

その他

「你好」から始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール	当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは文法を踏まえながらも、実践的な内容となっている。
履修上の留意点	諸般の事情はあると思うが、本年度は特に出席率を重視する。
成績評価の方法	成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	塚本慶一 劉穎『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	らん かい 蘭 明
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	うめ だ まさ こ 梅 田 雅 子

講義のねらい	物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上をねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	中国語による講読を通して、中国文化に触れると共に、文法事項の確認と定着を図る。なお、授業中に適宜、小テストを行う。
履修上の留意点	3 / 4 以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参
成績評価の方法	平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%
教科書	八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円 ISBN4-89174-411-1

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

大川完三郎編『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ 大 岩
スペイン語 I B〔再クラス〕	いば 功

外国語

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説をベースに、文章の読解の力をつけてゆきます。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	適宜小テストを行います。訳読の予習を前提に授業を進めます。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	水曜日・5時限

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.
スペイン語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J, ナバーロ『Español dinámico』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさむ 大 岩 功
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清・児玉悦子著『皆のスペイン語』弘学社

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

その他

月曜日・5時限目

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎ の めぐみ 荻 野 恵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）
教科書	アルマラス他『プラサ・マヨールⅠ』（朝日出版社）
参考書等	『和西辞典』（出版社は不問）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	上野 勝広

講義のねらい	下記のテキストを用いて、やさしい会話や文章を読みながら基礎文法を最後まで習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業に臨んでいただきたい。毎回授業時に必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	平常点（40%）、前・後期テスト（30%）、授業時の小テスト（30%）を合わせて評価する。
教科書	西川喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	大岩功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

福寛教隆著『生き活きスペイン語』（朝日出版社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	亀山晃一

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

[ロシア語]

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語 I A〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひてあき</small>
ロシア語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外国語

科目名	担当者名
ロシア語 I A〔再クラス〕	安徳二一 <small>あん とく 二一</small>
ロシア語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

《選択科目》

科目名	担当者名
英文講読	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の内容・ 授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

外国語

科目名	担当者名
英文講読	矢島直子 <small>やじま なおこ</small>

講義のねらい

イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

Laura Wada『*Breathing Corpses*』（Oberon Books）2,550円（税別）

科目名	担当者名
英文講読	牧野輝良 <small>まきの てるよし</small>

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・ 授業スケジュール

英文の構造をしっかり学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』（南雲堂）1,600円＋税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

後日確定しだいお知らせいたします。

科目名	担当者名
時事英語研究	ほやし あきと 林 明人

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名
時事英語研究	まし もと しげ かず 岸 本 茂 和

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことが、"racism" (人種差別主義)・"sexism" (性差別主義)・"political correctness" (政治的妥当性)・"multiculturalism" (多文化主義) などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえればはいは「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』（朝日出版社）本体1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名
時事英語研究	田中保

講義のねらい

The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース類出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてくること。

履修上の留意点

必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。

教科書

『時事英語の総合演習—2006年度版—』(English for Mass Communication, 2006 edition)
(朝日出版社) 1,500円 ISBN4-255-15427-9 C1082

外国語

科目名	担当者名
時事英語研究	矢島直子

講義のねらい

Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。

教科書

『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17499-7

科目名

担当者名

マルチ・メディア

おち あい かず あき
落 合 和 昭

外国語

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

科目名	担当者名
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで閉館）で補修すること。

科目名	担当者名
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村祐子

講義のねらい

英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演じ、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。
 1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。
 2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。
 3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。
 4. 撮影基礎学習、ドライ撮影
 5. 撮影(学外撮影含む)
 6. ビデオ編集、完成
 7. 上映会

履修上の留意点

受講人数制限あり。

成績評価の方法

平常点(出席点、提出物など)で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)

その他

学外撮影あり。アドビ・プレミア(編集ソフト)を使用。カメラ・三脚マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。

科目名**担当者名**

マルチ・メディア

おおぼな
大庭直樹

外国語

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名
英会話 I	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名

担当者名

英会話 I

ササキ, M.

外国語

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「Viva! San Francisco」 published by Macmillan Language house
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... Want ... Would like ... / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate : book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名
英会話 I	ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

外国語

科目名	担当者名
英会話 I	レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名

担当者名

英会話 I

ロビン, G. F.

外国語

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0-13-920000-2

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ソルタ, P. N. F.

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・ 授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the

year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『Face To Face : English for Today's Generation』 Student's Book 1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach : Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席扱い)。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと(成績評価は「不可」になる)。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

『Viva! San Francisco』 published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名	担当者名
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz ; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名
英語 LL I	おお たい まさこ 太 田 雅 子

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。

履修上の留意点

4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

矢作三蔵『*Natural English for Beginner*』

科目名	担当者名
英語 LL I	か い かつこ 甲 斐 捷 子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なりスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training の CD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 Macmillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名
英語LLI	加藤 佐和子

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English 20』(英進社) 『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語LLI	久保 ひさ子

講義のねらい	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名
英語LLI	西村 祐子

講義のねらい	基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月: 基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。 9-12月: ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望: 学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点(出席率、発表など)重視。
教科書	前期は <i>Talk It UP</i> (1) (マクミラン社) 使用。
参考書等	教場で指定する。

科目名	担当者名
英語LLI	<small>はなわ</small> 埜 <small>みちこ</small> 美智子

外国語

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	<i>'Experience America!'</i> - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) 2,300円
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

英語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科目名	担当者名
英語 L L II	太田 雅子 <small>おおの たまさこ</small>

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。

履修上の留意点

4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の注意点について詳しく説明します。自分のユーザー ID とパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

科目名	担当者名
英語 L L II	外池 一子 <small>とのおいけ かずこ</small>

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

英語 LLI を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザー ID とパスワードを取得しておくこと。

科目名	担当者名
英語LLⅡ	にしむらゆうこ 西村祐子

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点を置いた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway Pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway Elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および *(pre-intermediate)*、その他。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外
国
語

科 目 名

担 当 者 名

英語 LL Ⅲ

レーン, C. M.

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・ 授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
英語LLⅢ	久保ひさ子

講義のねらい	英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習の合計点
教科書	World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

外国語

科目名	担当者名
英語LLⅢ	西村祐子

講義のねらい	レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。 9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。
履修上の留意点	大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。
成績評価の方法	平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。
教科書	<i>New Headway Upper Intermediate</i> . (Oxford Univ. Press)
その他	少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

科目名	担当者名
時事ドイツ語	堀内美江

講義のねらい

サッカーのワールドカップがあり、初の女性首相も誕生し、ドイツは今注目の国となっています。さらに古い伝統をもち、日本とも深いつながりのある国でもあります。日本への関心も、ドイツではアニメから食文化、伝統芸能や折り紙や盆栽のファンもいる程、はば広く持たれています。

この授業では、そんなドイツから私たち日本人はどう見られているのだろうか、という観点から、様々なメディアで語られる日本の姿を通し、ドイツ語を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：新聞を読む、ラジオを聞く、テレビを見てみることを通して、実際のドイツ語の使われる場面を体験します。テキストは日本についての記事を中心に扱います。

後期：テキストを読む、ニュースを聞く、映画を見るといった、より長いコンテキストの中でドイツ語を体験していきます。テキストは、日本に関するものだけではなく、ドイツの「今」を感じさせるものを選びます。

履修上の留意点

皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

出席、発表などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

プリント配布

科目名	担当者名
上級ドイツ語	柴野博子

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、やさしい文章をできるだけたくさん読みます。

後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。独検3級のレベルを目標にしています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡しします。

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅠ	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅡ	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA(選)	<small>やぶ</small> 数 <small>した</small> 下 <small>こう</small> 紘 <small>いち</small> 一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦労しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦労しておく、あとが楽になります(2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社)2,200円+税

科目名

担当者名

ドイツ語ⅠB(選)

の 野 島 利 彰
の じま とし あき

外国語

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらにはEUを知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。

教科書

大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」(三修社)2600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名

担当者名

ドイツ語Ⅱ(選)

い 井 村 行 子
い むら ゆき こ

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾「Dialog—ステップアップ版」(郁文堂)

科目名	担当者名
時事フランス語	桑 田 禮 彰 <small>くわ た のり あき</small>

外国語

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
上級フランス語	小 玉 齊 夫 <small>こ たま なり お</small>

講義のねらい	「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の4級あるいは3級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。来年2月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようにして下さい。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。
履修上の留意点	出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。
成績評価の方法	随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。
教科書	M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ2』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-00923-4 C1085
参考書等	『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーションⅠ	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 【PPP (パーペーパー) *Presenter Pratique Produire*】(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名
フランス語ⅠA(選)	出口 ^{でぐち} 雅 ^{まさ} 敏 ^{とし}

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名
フランス語ⅠA(選)	前田 祝一 <small>まえだのりかず</small>

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。

成績評価の方法

平常点とします。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート(改訂版)』(白水社)1,800円

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅠB(選)	菅原 猛 <small>すがはらたけし</small>

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』(駿河台出版社)2,730円

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ(選)	桑田 禮彰 <small>くわたのりあき</small>

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』(朝日出版社)本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
時事中国語	しお ほと しんいちろう 塩 旗 伸一郎

外国語

講義のねらい	インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。 ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。
講義の内容・授業スケジュール	「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。 併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。
履修上の留意点	精読教材は予習が不可欠。 教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html
成績評価の方法	平常点。
教科書	ネット上で採取し、上記 URL に掲示。
参考書等	辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。 これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
その他	PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名
上級中国語	ほん ま ゆかり 本 間 由香利

講義のねらい	検定試験／資格試験に対応した授業を行います。ただし履修者の学習到達度を考慮し、それに合わせた授業をします。 講義のねらい 1. ヒアリングの苦手意識克服：まずは簡単な単語、例文の聞き取りから訓練を始めます。 2. 中国語訳の苦手意識克服：中国語の基本構文の復習と理解。今までに学んだ中国語の知識を整理します。 資格取得を特に意識していない学生も歓迎します。
講義の内容・授業スケジュール	どの検定試験や資格試験にも、それぞれの傾向がありますが、どの試験も重視している単語、フレーズ、構文には共通点があります。そのいずれも重要なものばかりで、実際の会話にも役立つものです。授業ではこれらを取り上げ、発音、聞き取り、作文の訓練を行います。
履修上の留意点	自宅で予習・復習と発音練習を行うこと。
成績評価の方法	出席状況・授業態度と前期・後期のテストにより評価します。
教科書	竹島金吾監修・竹島毅・尹景春『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅠ	岩崎 皇 <small>いわさき ひろ</small>

講義のねらい	コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	前期は主に、テキストの音声教材を使って、音節をピンインで書き取れるよう訓練します。後期は中国のテレビ映像をメインにして練習していきます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。
教科書	NOVA『中国語はじめの単語帳』（NOVA 出版局）1,575円（本体）

外国語

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅡ	曹 泰 和 <small>そう たい わ</small>

講義のねらい	簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。
講義の内容・授業スケジュール	会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。
履修上の留意点	積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションⅠを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。
成績評価の方法	出席、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	吉田 建一郎 <small>よし だ たていちろう</small>

講義のねらい	中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。
履修上の留意点	しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。
成績評価の方法	出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。
教科書	陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A (選)	宮本厚子

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名
中国語 I B (選)	蘭 明

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語 II (選)	三田村圭子

講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。
教科書	遠藤光暁著『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,625円
その他	教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
時事スペイン語	真下祐一

講義のねらい	新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。教科書のほかにも、日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本での出来事がどのように伝えられているかも追っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	世界の出来事をスペイン語で読む。スペイン語で見た日本。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。
成績評価の方法	毎回の授業参加と、各期末の達成度チェックによります。
教科書	国本伊代／アレハンドロ・クダ 『スペイン語でニュースを読む』（朝日出版社）また随時プリントを配布します。

外国語

科目名	担当者名
上級スペイン語	上野勝広

講義のねらい	このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。
講義の内容・授業スケジュール	作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。
教科書	小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅠ	ナバロ、ホワンJ.

講義のねらい	スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。
成績評価の方法	授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。
教科書	『Viaje al español』 テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅡ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名
スペイン語 I A (選)	かめやま こういち 亀山晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名
スペイン語Ⅱ(選)	おぎのまさし 荻野 雅司

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

外国語

科目名	担当者名
時事ロシア語	きむらひでまさ 木村 英明

講義のねらい	1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。
履修上の留意点	各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。
成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
上級ロシア語	クロチコフ, Y.

講義のねらい	会話練習。 簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。 講読した内容について自由会話を行う。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	教場にて指示します。プリント配布。 学生の要望も考慮してテキストを選びます。 ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名**担当者名****ロシア語コミュニケーションⅠ**あん とく
安 徳 ニーナ

外国語

講義のねらい

ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名**担当者名****ロシア語コミュニケーションⅡ**あん とく
安 徳 ニーナ**講義のねらい**

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディークラジージュを含む）を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B (選)	木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
参考書等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠA(選)	宋 美 玲

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	I A:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語 I B (選)	宋 美 玲

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	I B: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語 (読んで書こう1)』(白帝社) 2,400円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語 II (選)	宋 美 玲

講義のねらい	初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。
履修上の留意点	テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

外
国
語

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	2 時限 (経営-1)		3 時限 (経営-2)	
木曜日	※光永	トレーニング	※竹田	体操・トランポリン
	秋田	サッカー	秋田	卓球
	竹田	体操・トランポリン	光永	トレーニング
	森本	ジョギング	森本	ゴルフ
	江口	テニス	江口	テニス
	山口	室内球技	山口	室内球技
	三幣	ゴルフ	三幣	ソフトボール

※は、科目の主担当者

保健
体育

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1 時限											
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用		牧	前期・応用	牧	前期・応用		
		バドミントン		ミニサッカー※			卓球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・応用	後期・応用	卓球	野		バスケットボール
		バドミントン		ミニサッカー※		卓球	野	バスケットボール			
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	田	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※			フットサル		卓球		バスケットボール
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	後期・基礎	後期・基礎	後期・基礎	野	後期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※	中	フットサル	野	卓球	野		バスケットボール
4 時限	大	前期・応用		鈴	木	鈴	前期・応用		前期・基礎		
		簡化太極拳※					室内球技		バドミントン		
	石	後期・応用					後期・基礎		後期・応用		
		簡化太極拳※					室内球技		木		バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

4. 保健体育科目

保健体育

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(トレーニング)	経営A1必	通年	2	光永吉輝	243
健康・スポーツ実習(サッカー)	経営A1必	通年	2	秋田浩一	244
健康・スポーツ実習(ジョギング)	経営A1必	通年	2	森本葵	245
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	経営A1必	通年	2	竹田幸夫	246
健康・スポーツ実習(卓球)	経営A1必	通年	2	秋田浩一	247
健康・スポーツ実習(室内球技)	経営A1必	通年	2	山口良博	248
健康・スポーツ実習(テニス)	経営A1必	通年	2	江口淳一	249
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	経営A1必	通年	2	三幣晴三	250
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	経営A1必	通年	2	三幣晴三 森本葵	251
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	秋田浩一	252
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	通年	2	田中佳孝	253
健康・スポーツ実習(トレーニング) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	秋田浩一	254
健康・スポーツ実習(卓球) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	255
健康・スポーツ実習(バドミントン) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	牧野茂	256
健康・スポーツ実習(ソフトボール) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	257
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	鈴木淳平	258
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) 〔再クラス〕	経営A2・3・4年	集中授業	2	光永吉輝	259
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経営A1選	半期	1	大石武士	260
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	経営A1選	半期	1	長濱友雄	261
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バドミントン)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	経営A1選	半期	1	鈴木淳平	262
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(室内球技)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(卓球)	経営A1選	半期	1	牧野茂	263
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(卓球)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(卓球)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(卓球)	経営A4選				

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経営A1選	半期	1	牧野茂	264
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(フットサル)	経営A1選	半期	1	田中佳孝	265
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(フットサル)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(フットサル)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(フットサル)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経営A1選	半期	1	大石武士	266
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A1選	半期	1	長濱友雄	267
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経営A1選	半期	1	大石武士	268
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A1選	半期	1	鈴木淳平	269
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(卓球)	経営A1選	半期	1	牧野茂	270
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(卓球)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(卓球)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(卓球)	経営A4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バスケットボール)	経営A1選	半期	1	牧野茂	271
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バスケットボール)	経営A2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バスケットボール)	経営A3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バスケットボール)	経営A4選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎/応用)	経営A選	集中授業	1	江口淳一	272
生涯スポーツ実習(テニス) (集中後期・基礎/応用)	経営A選	集中授業	1	江口淳一	273
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎/応用)	経営A選	集中授業	1	三幣晴三	274
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	経営A選	シーズン	2	舘岡儀秋 他	275
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	経営A選	シーズン	2	江口淳一 他	277
健康・スポーツ論1	経営A1選	半期	2	森本葵	278
健康・スポーツ論1	経営A1選	半期	2	光永吉輝	279
健康・スポーツ論2	経営A選	半期	2	大石武士	280
健康・スポーツ論2	経営A選	半期	2	三幣晴三	281
健康・スポーツ論2	経営A選	半期	2	牧野茂	282

余暇学	経営A 2・3・4 選	半期	2	村松誠	283
余暇学	経営A 2・3・4 選	半期	2	田中佳孝	283

保健
体育

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容(毎時間記録をする)、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法(単独法、対人法)などを各時間に詳しく講義する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(サッカー)

あき 秋 たい 田 こう 浩 いち 一

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサードルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

その他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ジョギング)

もりもと 森本 葵

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング(速歩)によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30~60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング(速歩)
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング(時間走、距離走、初歩のインターバルランニング)
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング(前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー)
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック(心電図、負荷心電図、その他)を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。(食事をとること、睡眠時間の充分なこと)ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

保健体育

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)

たけ だ めき お
竹 田 幸 夫**講義のねらい**

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名

健康・スポーツ実習(卓球)

担当者名

あき た こう いち
秋 田 浩 一

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により卓球の面白さを知る。またスポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルスダブルス)を理解し将来生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム(5人一組でのリーグ戦)
- 12時限目：ダブルスゲーム(5人一組でのリーグ戦)
- 13時限目：ダブルスゲーム(5人一組でのリーグ戦)
- 14時限目：ダブルスゲーム(5人一組でのリーグ戦)
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

やまぐちよしひろ
山口良博**講義のねらい**

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バレーボール)
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルのゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルのゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

三 幣 晴 三

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。授業では学生が年代に応じた運動量を確保することと同時に、ソフトボールの魅力を経験しながら生涯スポーツとしての意義を認識してもらうことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2 時 限 目：〃
- 3 時 限 目：試合
- 4 時 限 目：〃
- 5 時 限 目：〃
- 6 時 限 目：〃
- 7 時 限 目：〃
- 8 時 限 目：応用練習
- 9 時 限 目：〃
- 10 時 限 目：試合
- 11 時 限 目：〃
- 12 時 限 目：〃
- 13 時 限 目：〃
- 14 時 限 目：〃
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
服装：実技にふさわしい服装とする。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、教場での講義や室内でのトレーニングも行う。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ゴルフ)

みぬさ はるみ もりもと ましろ
三幣 晴三・森本 葵**講義のねらい**

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

健康・スポーツ実習(バドミントン)
[再クラス]

まきの
牧野 茂

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 一日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 一日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 二日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 二日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 三日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 三日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 四日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 四日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 五日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 五日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目

午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目

午前：ゲーム

午後：〃

第3日目

午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目

午前：〃

午後：〃

第5日目

午前：〃

午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(室内球技)

すずき じゅん ぺい
鈴 木 淳 平

[再クラス]

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)

みつ なが よし てる
光 永 吉 輝

〔再クラス〕

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1日目

午前：オリエンテーション・体力測定

午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)

2日目

午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定

午後：第一組、第二組(3式)

3日目

午前：トレーニング

午後：第一組、第二組、第三組(2式)

4日目

午前：トレーニング

午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合

5日目

午前：体力測定

午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)~23日(日)、(後期) 1月7日(日)~11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)

ながはまともお
長濱友雄

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
- 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： }
- 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)

すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)

まきの 野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目：
- 10 時限目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時限目：}
- 12 時限目：}
- 13 時限目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時限目：}
- 15 時限目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まきの野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(フットサル)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(フットサル)

たなかよし
 田中佳孝

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)

おお いし たい し
大 石 武 士

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション

2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム

3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム

4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム

10時限目～14時限目：ゲーム

15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士

保健体育

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

すずき じゅん べい
 鈴 木 淳 平

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健
 体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)

まきの 牧野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)

まきの野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健体育

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名**担当者名**生涯スポーツ実習(ゴルフ)
(集中後期・基礎/応用)みぬさ はるみ
三 幣 晴 三**講義のねらい**

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)

たておか よしあき
舘岡 儀秋 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一歩進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更には同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)
講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地：3泊4日)
2. 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
3. 定員：40名
4. 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
5. 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
6. 納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
7. 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

保健体育

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)

えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論1

もりもと 森本 葵

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。また、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈体力づくり〉
- 1 時限目：体力のメカニズム
- 2 時限目：若年時に於ける体力づくりの必要性
- 3 時限目：

筋力
持久力
調整力
- 7 時限目： } 体力づくりの方法
- 8 時限目：体力と疲労
- 9 時限目： 〃
- 10 時限目：疲労の判定法
- 11 時限目： 〃
- 〈近代オリンピック〉
- 12 時限目：近代オリンピックの歴史
- 13 時限目： 〃 の問題点
- 14 時限目： 〃 の将来展望
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

その他

レポート提出・ビデオによる講義

保健
体育

科目名

健康・スポーツ論 1

担当者名

みつなが よしてる
光 永 吉 輝

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目：　　　　　　　　　　　 2) 体幹
- 4 時限目：　　　　　　　　　　　 3) 体幹
- 5 時限目：　　　　　　　　　　　 4) 下肢
- 6 時限目：　　　　　　　　　　　 5) 下肢
- 7 時限目：　　　　　　　　　　　 6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10 時限目：運動の効果・骨と健康
- 11 時限目：トレーニング論 1)
- 12 時限目：トレーニング論 2)
- 13 時限目：運動と栄養
- 14 時限目：健康管理
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

教科書

『保健体育概論』（カヅサ出版部）
教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

参考書等

医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カズサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何か I
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何か I
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論 I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

参考書等

- 『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
- 『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンスアンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：健康とは何か（3）
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11 時限目：日常生活と健康（2） “ ” “ ” “ ” （2）
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円
 「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円
 他は、講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名
余暇学	むらまつ 村松 まこと 誠

講義のねらい

余暇とは何かについて考え、その意義や効用について、実践を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容などの説明
- 2 時限目：余暇とは
- 3 時限目：余暇の効用
- 4 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 5 時限目：これからの余暇
- 6 時限目：生涯スポーツと余暇
- 7 時限目：余暇学各論 1
- 8 時限目：余暇実習 1
- 9 時限目：余暇学各論 2
- 10 時限目：余暇実習 2
- 11 時限目：余暇学各論 3
- 12 時限目：余暇実習 3
- 13 時限目：余暇学各論 4
- 14 時限目：余暇実習 4
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

余暇実習は受講者の状況を見て決定するが、場所などの変更があるので、情報を確実に入手し各自で対応すること。

内容によっては若干の費用を必要とする場合があるので注意すること。

成績評価の方法

授業実施回数の3分の2以上の出席者を評価の対象とする。

保健
体育

科目名	担当者名
余暇学	たなかよし 田中 佳孝

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：生涯スポーツ
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10 時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11 時限目：ネイチャー・スキー
- 12 時限目：「私の余暇」発表もしくはテスト
- 13 時限目：テスト予備日

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、レポート提出（2回）とテスト（最終週）により、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

保健
体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

科 専
門 教
目 育

経営学科フレックス A

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックス B の頁を参照してください。(→P.567)

科
專
門
教
育
目
錄

Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経済学概説	経営A1必	通年	4	羽田尚子	291
簿記学	経営A1必	通年	4	小田幹雄	292
簿記学	経営A1必	通年	4	岸田隆行	293
簿記学	経営A1必	通年	4	岩渕昭子	294
簿記学	経営A1必	通年	4	高田光明	295
簿記学	経営A1必	通年	4	田辺正	296
簿記学	経営A1必	通年	4	水野恵子	297
簿記学	経営A1必	通年	4	大野満奈	298
経営学	経営A1必	通年	4	中川淳平	299
経営学	経営A1必	通年	4	日野健太	300
会計学	経営A1必	通年	4	猿山義広	301
経済原論	経営A2選必	通年	4	明石博行	302
近代経済学	経営A2選必	通年	4	滝田公一	303
経営科学概論	経営A2選必	通年	4	小沢利久	304
経営数学	経営A・経営B1・2・3・4選	通年	4	飯田哲夫	305
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	河内谷幸子	306
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	加藤武信	306
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	地引昌弘	307
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	遠山正朗	308
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	桃塚薫	308
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	依田聖	309
情報処理基礎	経営A1・2・3・4選	半期	2	村上友佳子	309
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	河内谷幸子	310
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	加藤武信	311
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	地引昌弘	312
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	遠山正朗	313
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	桃塚薫	313
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	依田聖	314
情報処理応用Ⅰ	経営A1・2・3・4選	半期	2	村上友佳子	314
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	明石博行	315
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	阿部一人	315
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	飯田哲夫	316
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	小沢利久	316
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	岸田隆行	317
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	鹿嶋秀晃	317
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	片桐伸夫	318
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	兼村栄哲	319
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	高井徹雄	320
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	高木克己	320
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	滝田公一	321
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	長国強	321
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	中村公一	322
演習Ⅰ	経営A2選	通年	4	永田智則	322

専
門
教
育

演習 I	経営 A 2 選	通年	4	西村和夫	323
演習 I	経営 A 2 選	通年	4	羽鳥茂	323
演習 I	経営 A 2 選	通年	4	日野健太	324
演習 I	経営 A 2 選	通年	4	藤原篤志	325
演習 I	経営 A 2 選	通年	4	山田純平	325
演習 I	経営 A 2 選	通年	4	山田勝	326
経営学史	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	中川淳平	326
アメリカ経営学	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	宮城徹	327
ドイツ経営学	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	高橋成夫	328
経営管理論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	鈴木幸毅	329
経営組織論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	休講	
経営労務論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	鹿嶋秀晃	330
生産管理論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	藤原篤志	331
マーケティング論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	兼村栄哲	332
経営財務論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	高田光明	334
国際経営論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	茂垣広志	335
経営戦略論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	中村公一	336
企業形態論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	休講	
ベンチャー企業論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	許伸江	337
公益企業論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	菅谷実	337
環境経営論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	川村雅彦	338
経営史	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	前田和利	339
日本経営史	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	大島久幸	340
商業史	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	山田勝	340
保険経営論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	石名坂邦昭	341
銀行経営論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	服部昌久	342
商業経営論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	石川和男	343
上級簿記	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	田辺正	344
財務会計論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	渡邊恵一郎	344
管理会計論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	猿山義広	345
会計監査論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	阿部一人	346
原価計算論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	岸田隆行	347
税務会計論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	高木克己	348
経営分析論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	片桐伸夫	349
国際会計論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	山田純平	350
情報会計論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	休講	
経済政策	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	森岡仁	350
財政学	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	速水昇	351
金融論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	休講	
国際経済論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	永田智則	352
日本経済論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	羽鳥茂	353
証券市場論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	佐藤昇	354
計量経済学	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	呉逸良	355
イノベーション論	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	休講	
日本経済史	経営 A・経営 B 2・3・4 選	通年	4	渡辺新	356
情報処理応用 II	経営 A 2・3・4 選	半期	2	長国強	357
情報処理応用 II	経営 A 2・3・4 選	半期	2	宇谷明秀	357

情報処理応用Ⅲ	経営A 2・3・4選	半期	2	長国強	358
情報処理応用Ⅲ	経営A 2・3・4選	半期	2	宇谷明秀	359
情報理論	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	西村和夫	360
経営科学	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	休講	
経営情報論	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	高井徹雄	361
システム論	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	宇谷明秀	362
統計原論	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	山内慎二	363
経営統計	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	長国強	364
民法Ⅰ（総則・物権法）	経営A 2・3・4選	通年	4	須賀昭徳	365
商法Ⅰ（総則・会社法）	経営A 2・3・4選	通年	4	受川環大	365
労働法	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	藤本茂	366
税法	経営A・経営B 2・3・4選	通年	4	奥村正郎	367
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	明石博行	368
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	阿部一人	368
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	飯田哲夫	369
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	石名坂邦昭	369
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	小沢利久	370
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	各務洋子	370
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	鹿嶋秀晃	371
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	片桐伸夫	371
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	兼村栄哲	372
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	岸田隆行	372
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	鈴木幸毅	373
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	猿山義広	374
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	高井徹雄	375
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	高木克己	375
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	高田光明	376
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	滝田公一	376
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	長国強	377
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	中川淳平	377
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	中村公一	378
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	永田智則	378
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	西村和夫	379
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	羽鳥茂	379
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	羽田尚子	380
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	日野健太	380
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	藤原篤志	381
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	前田和利	381
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	宮城徹	382
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	山田純平	382
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	山田勝	383
演習Ⅱ	経営A 3選	通年	4	渡邊恵一郎	383
民法Ⅱ（債権法）	経営A 3・4選	通年	4	上井長久	384
商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）	経営A 3・4選	通年	4	中濱義章	385
外書講読（英書）	経営A 3・4選	通年	4	明石博行	386
外書講読（英書）	経営A 3・4選	通年	4	鈴木幸毅	386
外書講読（英書）	経営A 3・4選	通年	4	前田和利	387

専科
教育目

外書講読 (独書)	経営A・経営B 3・4選	通年	4	薮下紘一	387
外書講読 (仏書)	経営A・経営B 3・4選	通年	4	桑田禮彰	387
外書講読 (中国書)	経営A・経営B 3・4選	通年	4	宮本厚子	388
外書講読 (スペイン書)	経営A・経営B 3・4選	通年	4	真下祐一	388
外書講読 (ロシア書)	経営A・経営B 3・4選	通年	4	杉山秀子	388
ビジネス英語	経営A・経営B 3・4選	通年	4	杉山泰彦	389
特殊講義 (前期)	経営A・経営B 3・4選	半期	2	代田純	389
特殊講義 (後期)	経営A・経営B 3・4選	半期	2	休講	
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	明石博行	390
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	阿部一人	390
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	飯田哲夫	390
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	石名坂邦昭	391
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	小沢利久	391
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	各務洋子	392
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	鹿嶋秀晃	393
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	片桐伸夫	393
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	兼村栄哲	394
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	鈴木幸毅	394
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	猿山義広	395
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	高井徹雄	396
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	高田光明	396
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	高木克己	397
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	滝田公一	397
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	長国強	397
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	永田智則	398
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	中川淳平	398
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	中村公一	399
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	西村和夫	400
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	羽鳥茂	400
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	羽田尚子	401
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	日野健太	401
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	藤原篤志	402
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	前田和利	402
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	宮城徹	403
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	山田純平	403
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	山田勝	403
演習Ⅲ	経営A 4選	通年	4	渡邊恵一郎	404

科目名**担当者名****経済学概説**はねだしょうこ
羽田尚子**講義のねらい**

戦略の経済学や、組織の経済学など、経営の分野に経済学を応用する研究が盛んになっている。

本講義では、経営学を専攻する学生に役立つトピック「ゲーム理論」と「経済学」の基礎を解説する。

2年次以降の専門科目を、より深く且つ広い視点で考察するための知識の習得が、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期はゲーム理論、後期は経済学の基礎について学ぶ。

具体的な事例を入れて解説するので、どのような分野に活用できるか考えながら、講義に参加していただきたい。

講義の概要は次のようになる。尚、順番は入れ替わることがある。

【前期】

1. ゲーム理論とは（イントロダクション）
2. 同時ゲームと交互ゲーム
3. 基本で読み解くゲーム理論のキーワード
4. 少し高度なゲーム理論の戦略的思考
5. 不確実性と情報

【後期】

1. 経済学の考え方（イントロダクション）
2. 交換と市場
3. 需要、供給、価格
4. 企業行動
5. 市場と政府

履修上の留意点

確率、数列、一次関数、二次関数などの初歩的な数学を使う時がある（その都度解説は入れる）。

成績評価の方法

講義の終わりに小テスト（複数回）、学年度末に筆記試験を実施する。
小テスト30%、試験70%により評価する。

教科書

前期：渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）1,400円

後期：開講時指示

参考書等

梶井厚志『戦略的思考の技術』（中公新書）

岩田規久男『経済学を学ぶ』（ちくま新書）

その他

1. 講義に出席しノートをとること。

2. 携帯電話呼出音、私語など他人の迷惑になる行為は厳禁。守れない場合は、即退室させる。

科目名

担当者名

簿記学

おだみき
小田幹雄

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を算出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教科書

中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウエーブ）1,524円
羽瀨信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—中級編』（共栄出版）2,000円程度

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

専
門
教
育
目

科目名**担当者名**

簿記学

岸田隆行
きし だ たか ゆき**講義のねらい**

複式簿記は企業の言語といわれ、企業を理解するためには簿記の知識は必須である。簿記の知識は今後、企業経営を学んでいくための基礎となるものである。

本講義では、日本商工会議所簿記検定3級程度の知識習得を目安として、簿記一連の手続を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ① 企業経営と会計
- ② 複式簿記の基礎概念
- ③ 簿記上の取引と仕訳
- ④ 総勘定元帳と転記
- ⑤ 簿記一巡の手続
- ⑥ 現金
- ⑦ 当座預金
- ⑧ 商品売買(1)
- ⑨ 商品売買(2)
- ⑩ 仕入帳・売上帳・商品有高帳
- ⑪ 売掛金・買掛金
- ⑫ 貸倒れの処理

後期

- ① 手形(1)
- ② 手形(2)
- ③ その他の債権・債務
- ④ 有価証券
- ⑤ 有形固定資産
- ⑥ 資本金・税金
- ⑦ 伝票会計
- ⑧ 試算表
- ⑨ 決算整理(1)
- ⑩ 決算整理(2)
- ⑪ 精算表
- ⑫ 財務諸表の作成

履修上の留意点

簿記は講義を聴き、知識を身につけることはもちろんのこと、自らの手で実際に計算・仕訳を行うことによって初めて身につけることができる。講義では小テストを随時行いながら、知識の定着をはかる。したがって、講義に出席するにあたっては、必ず電卓を持参すること。

成績評価の方法

小テスト20点、定期試験80点として評価を行う。

教科書

加古宜士・渡部裕亘編著『新検定簿記講義3級商業簿記』

科 専
目 門
目 教
育

講義のねらい

簿記とは、企業の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日、コンピュータによる会計処理が増えておりますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成まで学習します。

講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織

履修上の留意点

簿記の学習は、記帳のルールを覚えるだけでなく、ペンと電卓を片手に反復学習によって修得することができます。可能な限り出席を心掛けて、経営学部の学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点(出席・課題・小テスト)を加味して、総合評価により行います。

教科書

大橋信定編著『三訂版簿記基礎講座』(創成社) 1,500円

その他

必要に応じて紹介します。

講義のねらい

〔複式簿記〕

この授業では、企業が採用している簿記システムである複式簿記について学ぶ。

企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを製品として生産し販売するという営業活動を遂行する。こうした営業活動として具体化しているのが、資本の運用活動である。生産した製品が社会に受け入れられ販売が順調に進めば、製品の販売により回収獲得されてくる資本は、生産要素の取得に投じた資本よりも増加している。企業の営業活動を通じた資本のこのような自己増殖分が利益である。他方、製品が期待したようには社会に受け入れられず販売が滞り、製品の販売により回収獲得されてくる資本が、生産要素の取得に投じた資本よりも少なく、営業活動で資本が減少してしまうこともある。このような資本の目減り分が損失である。

企業が資本調達活動や、購買・生産・販売という営業活動として観察される資本の運用活動を実施すると、企業資本が増減変化する。企業が資本を調達すれば、その資本を具体化している現金の増加という形をとって企業資本の有高がそれだけ増加する。調達資本で営業活動を遂行していくと、資本は調達時の現金の状態から、原材料や機械といった非現金資産に転換し、さらにはその姿を次々と変え、最終的には元の現金の状態に戻ってくる。そして、営業活動が順調に推移するならば、この過程を通じて資本は自己増殖しているという具合である。企業の諸活動に伴う以上のような資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

〔大学における簿記学〕

簿記学は、大学における会計関係の科目を学ぶ基礎・出発点としての位置にある。簿記学のカリキュラム上におけるこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるので、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを、系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、授業の前半では、次の順番で授業を進めていく。

1. 資本と資産
2. 勘定の記入
3. 取引の分解
4. 収益と費用
5. 仕訳と転記
6. 試算表
7. 精算表と財務諸表
8. 決算と決算手続

履修上の留意点

簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法

期末の筆記試験と、適宜提出を求める記帳練習問題を総合して評価する。

教科書

沼田嘉穂著『簿記教科書』（同文館）
同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

参考書等

染谷恭次郎著『簿記の手ほどき』（日経文庫）

科目名**担当者名**

簿記学

たなべ
田 辺 正

講義のねらい

この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 簿記の基礎概念
2. 簿記一巡
3. 現金預金取引
4. 小口現金
5. 商品売買取引
6. その他の債権債務
7. 手形取引
8. 有価証券
9. 固定資産
10. 資本
11. 決算

専
門
教
育
目

履修上の留意点

必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

科目名	担当者名
簿記学	水野恵子

講義のねらい

初めて簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 簿記を学ぶにあたって | 1. 現金・預金 |
| 2. 簿記上の取引と勘定 | 2. 仕入・売上 |
| 3. 取引の仕訳 | 3. 手形 |
| 4. 勘定への転記 | 4. 債権・債務 |
| 5. 試算表の作成 | 5. 有価証券 |
| 6. 精算表の作成 | 6. 固定資産 |
| 7. 決算手続 | 7. 資本金 |
| | 8. 貸倒償却費の計算 |
| | 9. 減価償却費の計算 |
| | 10. 収益と費用の見越・繰延 |
| | 11. 8けた精算表の作成 |

履修上の留意点

簿記の学習には、授業の復習は不可欠です。練習問題を多く解くことで力がつきます。一步一步の努力が検定合格には重要です。授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験のほか、講義の際の小テストの点数、出席状況などを総合して評価します。

教科書

城戸宏之著『日商簿記検定テキスト三丁版3級』（実教出版）1,700円
 ISBN4-407-01975-1
 『日商簿記検定テキスト基本問題集三丁版3級』（実教出版）650円
 ISBN4-407-04623-6

その他

必要に応じレジュメを配布します。

科専門
教育
目録

科目名

担当者名

簿記学

大野 満奈

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原理を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科 目 名	担 当 者 名
経営学	な が じ ゅ ん べ い 中 川 淳 平

講義のねらい

経営学全般を学ぶうえで、必須となる基礎概念の理解に努める。前期では現代社会におけるさまざまな組織体のうち企業、なかでも株式会社の仕組みと行動についての考察が中心となる。後期では、国際化・情報化・経済の成熟化といった、企業を取りまく経済社会の状況の変化に応じて、企業経営はこれまでどのように対処してきたのか、また今後どのように進化していくのか、検討していくことにしたい。そして1年間の講義を通じ、企業には多様な参加者が関わっており、企業が維持・成長していくためには多くの問題解決技法が必要であることを理解してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 企業形態（企業とは何か）
2. 株式会社の仕組みと特徴
3. コーポレート・ガバナンス（日米独の比較）
4. 経営とは何か（人事管理・生産管理）
5. 日本的経営の特徴
6. 経営戦略
7. 組織のメカニズム
8. 現代社会と企業経営

履修上の留意点

講義後に感想を書いてもらうこともあるので、毎回の講義に際しては、目的意識をもって取り組んでほしい。

また、日頃からニュース（時事問題）をチェックし、ビジネス分野ばかりでなく、広く社会現象全般に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

主として二度実施される試験結果を中心に評定する（前期30%、後期70%）。講義中に度々実施される小レポートについては、内容によって、評定に加えることもある。

教 科 書

藤芳誠一ほか『日本の経営革命』（泉文堂）2001年

参 考 書 等

開講後に適宜指示する。

科 専
目 門
教 教
育 育

講義のねらい

この講義は、経営学部の1年生として、今後経営学を勉強していくための基礎知識を身につけることを目的とする。経営学の対象は大まかにいって、企業と経営の二つである。まず、学校や病院、官庁と異なる企業の性格について理解しなければならない。一方、病院の経営、官庁の経営、大学の経営と、経営は、あらゆるところに見ることが出来る。いわば組織体の運営の仕組みとしての経営についても理解を深める必要がある。

具体的なイメージを持てるように事例を挙げつつ講義を進めるように配慮するが、受講者も二つのことを心掛けて欲しい。

1. 関心のある企業を見つけ、その企業の成り立ちや経営について考えてみる（サッカーや野球のファンで、ひいきの選手やチームがない人がいるだろうか?）。

2. 身の回りの「経営」に目を向ける（経営の神様と称されるある経営者は、部下に、「きみ、家庭を経営しとるか?」と尋ねたそうだ。）。

つまり、講義で知った知識と自分の見聞・体験する事例を結びつけて考える習慣をつけてほしい。そうすれば、経営学は実に興味深い科目となり、役に立つ理論を身につけることが出来るだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

大まかには、以下のような順序で進める予定。前期、後期の初回の授業で、各回ごとの内容について述べた詳細なシラバスを配布する。必要に応じて順番を入れ替えることがある。

1. 企業論 企業形態 株主と取締役会 企業の目的
2. 経営戦略論 戦略論の視座 ドメインの定義 経営資源
3. 企業と社会 企業倫理 ステイクホルダーアプローチ 環境問題
4. 組織における人間行動 科学的管理法 人間関係論 モティベーション
5. 日本の経営の特質 労務管理上の特徴 リーン生産方式
6. 企業の国際化 企業の多国籍化 文化的コンフリクト
7. 経営学のパラダイム 経営学の歴史 社会科学の認識論

履修上の留意点

出席をとる。講義より大事なことがあると自分で判断すれば、欠席してもかまわないが、講義に出席して勉学に励むことは、受講生の権利である。ゆえに「何回以上休むと不可ですか?」という質問は成り立たない。また、同じ理由で、「講義で私語を慎むように。」という注意を教員がすること自体あり得ない。

成績評価の方法

大まかには、前期最終回に行う中間テスト30点（持ち込み可）、試験期間中に行う期末試験70点（持ち込み不可）。さらに授業中に行う小テストの結果、出席状況などを参考にして最終的な評価をする。最終的に60点以上が単位を認定される。つまり、中間テストを受験しないと、多くの場合致命的である。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は座右の一冊として役に立つ。

その他

私の「教える」と皆さんの「考える」のインタラクションによる両者の「学ぶ」を期待している。

科目名

担当者名

会計学

さる やま よし ひろ
猿 山 義 広

講義のねらい

この講義では、企業会計の理論的および制度的側面についての基礎知識を学ぶ（企業会計の技術的側面の基礎知識については、同じく1年次の必修科目である「簿記学」で学ぶことになる）。「会計学」は、「簿記学」とともに、「上級簿記」、「財務会計論」、「管理会計論」、「会計監査論」、「原価計算論」、「税務会計論」、「経営分析論」、および「国際会計論」といった会計学系列の専門教育科目の基礎となる科目である。2年次以降、こうした専門教育科目を履修する際に十分な理解が得られるよう、まずは1年間、意欲を持って「会計学」に取り組んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 企業会計の基礎（教科書第1章）
- 第2回 企業会計の技術的側面（教科書第2章）
- 第3回 企業会計の理論的側面（教科書第3章）
- 第4回 企業会計の制度的側面（教科書第4章）
- 第5回 資産の意義・分類・評価（教科書第5章）
- 第6回 当座資産（教科書第5章）
- 第7回 棚卸資産（教科書第5章）
- 第8回 流動資産と流動負債（教科書第5章および第6章）
- 第9回 有形固定資産（教科書第5章）
- 第10回 無形固定資産・投資その他の資産・繰延資産（教科書第5章）
- 第11回 損益会計の意義と諸原則（教科書第8章）
- 第12回 営業収益（教科書第8章）
- 第13回 営業費用（教科書第8章）
- 第14回 営業外損益・特別損益・法人税等（教科書第8章）
- 第15回 負債の意義・分類・表示（教科書第6章）
- 第16回 負債性引当金（教科書第6章）
- 第17回 固定負債（教科書第6章）
- 第18回 資本の意義と分類（教科書第7章）
- 第19回 資本金（教科書第7章）
- 第20回 資本剰余金（教科書第7章）
- 第21回 利益剰余金（教科書第7章）
- 第22回 当期未処分利益増減項目（教科書第8章）
- 第23回 評価差額金と自己株式（教科書第7章）
- 第24回 財務諸表の意義と種類（教科書第9章）
- 第25回 財務諸表の作成方法（教科書第9章）
- 第26回 連結財務諸表（教科書第10章）
- 第27回 財務諸表の分析（教科書第11章）

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

会計とは、尽きるところ、計算表の作成術である。自ら手を動かして、計算表を作成してみなければ、ほとんど何も身につかない分野である。授業中多少困難を感じても、ある程度は従順に、こちらの指示通りに手を動かすことを心がけてほしい。

成績評価の方法

年間で5回から6回行うレポートまたは小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学〔第7版〕』（中央経済社）。

教科書に合わせてレポートの題目や定期試験の範囲を指定するので、かならず購入すること。

参考書等

会計学の練習問題、会計学に関連する記事や資料、ならびに会計学をより深く学ぶための文献等については、授業中に配布するプリントで紹介する。このプリントは教科書とともに定期試験の試験範囲となるので、保存しておくこと。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会(資本制経済)を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1)市場、(2)貨幣の資本への発展、(3)資本と労働、(4)資本の蓄積と再生産、(5)資本の流通、(6)資本と利潤、(7)資本の諸姿態、(8)資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 第1回 講義紹介 | 第2章 貨幣の資本への発展 |
| 序章 経済社会学と経済原論 | 第17回 資本の一般的定式とその矛盾 |
| 第2回 経済社会学と経済学 | 第18回 商品の購買と消費 |
| 第3回 科学的社会主義の学説と思想 | 第3章 資本と労働 |
| 第4回 科学的社会主義の知的遺産 | 第19回 資本による生産と労資型生産様式 |
| 第5回 経済社会把握の基本 | 第20回 剰余価値を増大させる諸方法 |
| 第6回 伝統的な経済観と経済学 | 第21回 賃金制度 |
| 第7回 経済学の拡張と展開 | 第4章 資本の蓄積と再生産 |
| 第8回 資本制の社会と経済 | 第22回 資本の蓄積と再生産 |
| 第1章 市場 | 第23回 雇用と失業 |
| 第9回 商品の二面的性格 | 第24回 身分階層型生産様式と階層分化 |
| 第10回 商品価値 | 補章 資本の流通と資本の諸姿態 |
| 第11回 商品の価値形態と物神的性格 | 第25回 資本の流通 |
| 第12回 交換過程 | 第26回 資本と利潤 |
| 第13回 貨幣の諸機能 | 第27回 商業・信用・地代 |
| 第14回 貨幣制度 | 第28回 資本制社会における市民・階級・階層 |
| 第15回 インフレとデフレの基礎理論 | |
| 第16回 市場型生産様式と市民社会 | |

履修上の留意点

講義に出席し、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。

参考書等

大谷禎之介『図解・社会経済学』(桜井書店) 3,000円+税

科目名

近代経済学

担当者名

たき た こう
滝 田 公 一

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的分析を取り扱います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 企業の理論
- 第3回 産業の分類と集中度
- 第3回 完全競争と厚生経済学
- 第5回 独占
- 第6回 ゲームの理論 I
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論 II
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第11回 垂直的統合と垂直的制約
- 第12回 水平合併
- 第13回 産業規制の経済理論
- 第14回 自然独占

履修上の留意点

経済学概説の知識、特に、ミクロ経済学の知識があると役に立ちます。

成績評価の方法

学年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に、指定しません。

参考書等

Church and Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.
Carlton and Perloff, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.
ロジャー・クラーク『現代産業組織論』(多賀出版) 1989年
新庄浩二ほか『産業組織論』(有斐閣ブックス) 1995年

科 専
門 教
育 目

科目名**担当者名**

経営科学概論

小 沢 利 久
お ざわ とし ひさ**講義のねらい**

生産活動には、本来の物作りの技術の他に、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早く経営科学・経営工学の方法（IE、OR、QCなど）を導入・実践することによって生産・品質・コスト面で飛躍的發展を成し遂げた。このような経営科学・経営工学の方法は、経営活動において生じる他の様々な問題へも適用できるものであり、その応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野からマーケティングやファイナンスなどの分野へと広がりつつある。この講義では、このような経営科学・経営工学の基本理論と応用について概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

全体を応用分野に従って、生産・流通、マーケティング、ファイナンスの3つに分け、関連する基本理論とその応用方法を解説する。以下は今年度の講義予定である。

前期

1. イントロダクション

1. 1 対象分野、歴史、問題発見と解決のプロセス

2. 生産・流通に関連して（IE、OR、QCの入門）

2. 1 生産の管理と計画：MRP（資材所要量計画）、JIT、TOC（制約条件理論）

2. 2 IE（インダストリアル・エンジニアリング）：作業研究、ラインバランシング

2. 3 OR（オペレーションズ・リサーチ）：線形計画法、在庫モデル、PERT/CPM

2. 4 QC（品質管理）：品質の保証、総合的品質管理、QC7つ道具、抜き取り検査

後期

3. マーケティングに関連して（マーケティングサイエンスの入門）

3. 1 戦略立案：セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング

3. 2 製品デザイン：プロダクトマップ、コンジョイント分析

3. 3 価格設定：数量と価格、差別的価格

3. 4 テストと管理：ライフサイクル、シェアと売上の予測

4. ファイナンスに関連して（金融工学の入門）

4. 1 利益の計画：損益分岐点、DCF（割引キャッシュフロー）、IRR（内部収益率）

4. 2 債券の分析：複利回りリスク

4. 3 ポートフォリオ選択：株式のリターンとリスク、正規分布、平均・分散モデル

履修上の留意点

経営数学を先または同時に履修しておくことが望ましい。また、数値計算の方法についてはExcelをベースとして説明するので、情報処理基礎、情報処理応用Iを先または同時に履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価する。

教科書

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）

参考書等

徳山博子他著『生産マネジメント』（朝倉書店）

古川一郎他著『マーケティング・サイエンス入門』（有斐閣アルマ）

宮崎浩一『証券分析への招待』（サイエンティスト社）

その他

講義は板書を中心とし、必要に応じて補足プリントを配付する。理解を深めるために適宜演習を行う。

科目名**担当者名**

経営数学

飯田哲夫

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的な方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

最初の授業のときに紹介する。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科
専
門
教
育

科目名

担当者名

情報処理基礎

かわちや さちこ
河内谷 幸子

講義のねらい

この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者前提として、パソコンの電源の入れ方からはじめます。その後、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、情報倫理などを実習していきます。

履修上の留意点

コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。
 [クラス定員] 60名
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専
門
教
育
目
録

科目名

担当者名

情報処理基礎

かとう たけのぶ
加藤 武信

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
 アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフト Word による文書作成
 日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図 (基本レベル)
 売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
 基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
 Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版) 2,300円 (改訂版を使用)

その他

授業の方法：パソコン実習
 [クラス定員] 60名
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・イントロダクション
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について（プロローグ）
- ・コンピュータの構成と基本操作
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信
電子メールを用いたコミュニケーションや WWW ブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。

また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail（電子メール）を利用する予定。60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名

担当者名

情報処理基礎

とお やま まさ お
遠 山 正 朗

講義のねらい

本講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力を身に付けてもらうことです。その活用能力とは、コンピュータを単体で活用する能力、コンピュータをネットワーク上で活用する能力の2つに大別できますが、それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方の導入まで、段階的に学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りです。
- (1) コンピュータの基本的な使い方
 - (2) Windowsの基本操作
 - (3～4) ワードプロセッサソフトの基本操作
 - (5～6) ワードプロセッサソフトによる文書作成
 - (7～8) 表計算ソフトの基本操作
 - (9～10) 表計算ソフトによるデータ処理
 - (11) インターネットの基礎
 - (12～13) インターネットの活用による情報の収集・処理

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%
レポート50%

教科書

特に指定しません。必要に応じてレジュメ等を配布します。

参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

その他

〔クラス定員〕60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

情報処理基礎

もも つか かほる
桃 塚 薫

講義のねらい

この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・Windowsの基本操作（電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方、日本語入力、ファイルの保存）
- ・インターネット活用方法（電子メール・ブラウザの使い方、情報倫理）
- ・ワープロソフトの基礎（Wordによる文書作成）
- ・表計算ソフトの基礎（Excelによるデータ処理）
- ・ウェブサイトの作成（htmlのタグの使い方）

履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	担当者名
情報処理基礎	依田 聖

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windowsの基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用方法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）
履修上の留意点	講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。
成績評価の方法	出席（毎回の課題を提出）40%、レポート60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年1,995円、ISBN4-7819-1085-8
その他	〔クラス定員〕60名経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
情報処理基礎	村上友佳子

講義のねらい	卒業論文やレポートの執筆、作成に必要なスキルを獲得する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの構成 ・データ収集、論文収集の方法 ・エクセルによる統計分析とグラフ作成 ・TSPもしくはSTATA等、統計ソフトの使い方
履修上の留意点	レポートのテーマを持つこと。 授業内容は、情報処理応用と同じ。
成績評価の方法	出席と期末のレポート提出
教科書	特に指定しない。
参考書等	特に指定しない。
その他	授業形式は講義と実習

科目名

担当者名

情報処理応用 I

かわちやま
河内谷 幸子

講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、自分のホームページ作り、プレゼンテーションソフトの使い方などを実習します。

履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。60名経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

専
門
教
育
目

科目名**担当者名****情報処理応用 I**かとう たけのぶ
加藤 武信**講義のねらい**

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

参考書等

授業の中で示す。

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 専 門 教 育 目 録

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

・表計算の基本

経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである Excel を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。

・オフィス統合ツールの基本

表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。

最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。

・コンピュータの応用

コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OS やネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。

また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail（電子メール）を利用する予定。60名経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名
情報処理応用 I	遠山 正 朗

講義のねらい

本講義の目的は、前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力、すなわち、コンピュータを単体で活用する能力と、コンピュータをネットワーク上で活用する能力を身に付けてもらうことです。それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方の確認から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方、そして処理した情報の発信の仕方まで、段階的に学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りです。
- (1～2) プレゼンテーションソフトの基本操作
 - (3～4) プレゼンテーションソフトによる資料作成
 - (5～6) 企業に関する情報の収集・処理
 - (7～8) インターネットの活用による企業の情報の収集・処理
 - (9～10) 表計算ソフトによるデータの応用的処理
 - (11) 情報発信に向けた基本的言語の理解
 - (12～13) 情報発信のためのホームページ作成

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%
レポート50%

教科書

特に指定しません。必要に応じてレジュメ等を配布します。

参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

その他

〔クラス定員〕60名 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 専
目 門
教 育

科目名	担当者名
情報処理応用 I	桃 塚 薫

講義のねらい

この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・プレゼンテーションソフトの使い方 (PowerPoint による資料作成、効果的なプレゼンテーションについて)
- ・データベースソフトの使い方 (Access によるデータベースの操作、SQL の基礎)
- ・コンピュータ・ネットワークの仕組み

履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	担当者名
情報処理応用 I	依田 聖

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理や IT ビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は (1) 表計算 (エクセル) (操作法、表計算、グラフ) (2) www-ワープロ-エクセルの連携 (アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析) (3) HP の作成 (HTML 言語で HP を作成)

履修上の留意点

講義にはメールを活用 (講義録の送付と課題の提出) する。
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと (出欠は必ずとる)。

成績評価の方法

出席 (毎回の課題を提出) 40%、レポート60%。毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』(サイエンス社) 2004年
1,995円、ISBN 4-7819-1085-8

その他

〔クラス定員〕60名経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

専科
教育
目

科目名	担当者名
情報処理応用 I	村上 友佳子

講義のねらい

卒業論文やレポートの執筆、作成に必要なスキルを獲得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・レポートの構成
- ・データ収集、論文収集の方法
- ・エクセルによる統計とグラフ作成
- ・TSP もしくは STATA 等、統計ソフトの使い方

履修上の留意点

レポートのテーマを持つこと。
授業内容は、情報処理基礎と同じ。

成績評価の方法

出席と期末のレポート提出

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

授業形式は講義と実習

科目名**担当者名****演習 I**あか し ひろ 博
明 石 博 行**講義のねらい**

本演習では、情報整理能力と英語の読解力の育成を図りつつ、企業社会に関する基礎的学習に取り組めます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、ワードおよびパワーポイントの基礎的な操作方法、ノートとレポートの作り方の基本について学習し、課題図書（注）のノートとレポートを作成します。後期には、作成したノートとレポートを利用し、課題図書の学習に取り組めます。課題図書の学習にさいしては、報告レジュメを使った報告の仕方について学び、さまざまな角度から討論をするなかで参加者のディベート能力を磨いてゆきます。夏には3年生との合同合宿を行います。なお、2年次から3年次にかけて、高校の政治・経済レベルの補足的学習をします。

履修上の留意点

演習参加者の問題意識をふまえてチームをつくり、チームごとの補習を行います。補習では、インターネットを通じて入手した Financial Times の最新記事を読むことにより、英語の読解力の育成を図るとともに、官庁資料などの検索・整理の仕方を身につけてもらいます。補習も含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。

教科書

WORD の学習のために『超図解 WORD2003（総合編）』（エクスメディア、1,480円）を使用し、その他の課題図書は演習参加者の問題意識を聞いたうえで決定します。また、2、3年次の学習用テキストとして、『ノートの作り方』と『レポートの作り方』を配布し、使用します。

専
門
教
育
目
録

科目名**担当者名****演習 I**あ べ かず ひど
阿 部 一 人**講義のねらい**

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

開講後、指示する。

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名

担当者名

演習 I

飯田 哲夫

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必須となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

情報処理および意思決定分析の基礎的な知識習得および、コンピュータの利用に関する知識習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

履修上の留意点

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、意思決定分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習 I

小沢 利久

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数理モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつあります。

講義の内容・授業スケジュール

データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などの経営科学の基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）を Excel 上で行うためのやや高度な Excel の使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるために、企業紹介を題材に PowerPoint を用いた発表練習を行います。

履修上の留意点

演習については、演習Ⅱ（3年生）、演習Ⅲ（4年生）と継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅱ及び演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用Ⅰ、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	担当者名
演習 I	岸田 隆行

講義のねらい

本演習では、原価計算について知識を深め、計算力を高めることを目的とする。また、原価計算が経営管理において、どのような機能を持ちうるのかを管理会計的な側面から追求していく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は原価計算の計算力を高めることを目的として、問題演習を基本に行う。原価計算の基礎的な知識について習得した後、提示した問題について、各自、自宅で解いてきた上で、その解法を報告してもらう。

後期は原価計算・管理会計のテーマについて、担当箇所ごとに、レジュメを作成した上で、報告を行ってもらい、内容について受講者全員でディベートを行う。

履修上の留意点

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。

担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってもらいたい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読した上で、講義に参加することが望ましい。

成績評価の方法

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
演習 I	鹿嶋 秀晃

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

参考に、以下は昨年までのテキスト例。宮内健『働き方働かせ方』、山田昌弘『希望格差社会』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、アベグレン『日本の経営』、高橋俊介『スロウキャリア』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

2年次(演習Ⅰ)では、6月は日商簿記検定2級(or1級)、11月は2級(or1級)にチャレンジしてもらいます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書(500字程度)事前提出〕とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記)によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名

担当者名

演習 I

かねむらえい てつ
兼 村 栄 哲

講義のねらい

受講生の一人ひとりが、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の6つを主な内容としている。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。
- (2) 年に1・2回、4～5人のグループで、マーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 4～5人のグループで業界研究をしてもらい、A4版で100枚以上のレポートにまとめてもらう。また、その概略を(1泊2日の)冬合宿で発表してもらう。
- (4) 夏休みに(2泊3日の)工場見学をおこなう。工場見学後、その内容についてのレポートを課すか、あるいは試験をおこなう。
- (5) 駒澤大学内で開催される「G-Planning Contest」に参加してもらう。
- (6) 電通主催の学生懸賞論文を提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと)。
- (2) お互いの親睦を図ること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科 専
門 教
育 目 録

科目名**担当者名****演習 I**たか い てつ お
高 井 徹 雄**講義のねらい**

IT (情報技術) が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- (1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- (2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- (3) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力
- (4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意志決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

4～7月：情報リテラシ……文書、HTML 文書作成、スプレッドシート基礎・応用

6月：ソフトシステム方法論……演習Ⅱと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う

9～12月：計算機言語……スプレッドシートマクロ、Delphi プログラミング

履修上の留意点

合宿などの課外活動も含め、主体的に参加されることを期待します。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

**専
門
教
育
目****科目名****担当者名****演習 I**たか き かつ み
高 木 克 己**講義のねらい**

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。(すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。)

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。ゼミ運営の基本的な考え方として、目標を持って頑張っている人や一生懸命勉強をしている人が居心地が悪くなるような雰囲気は絶対つくらないようにしています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	担当者名
演習 I	滝田 公一

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。
 [1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』（有斐閣ブックス）1998（2,500円）
 文献 [1] は、「企業とは何か？それはどのように経営されているのか？」という問題を幾つかの現実の事例（例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など）をとって考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告（例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など）をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習 I の狙いの一つです。
 また、文献 [1] とあわせて、代表的な表計算ソフトである Excel を使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科目名	担当者名
演習 I	なが 国強

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I（2年生）：WORD と EXCEL…コンピュータ初生のために
 初心生にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を学んだ後、コンピュータ上の代表的なワープロソフト-WORD と表計算ソフト-EXCEL をマスターできるよう、実際の文章や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

演習 I の選抜方法は自己紹介文（A4、1枚）と面接によって行う。
 演習 I は学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的かつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科目名	担当者名
演習 I	中 村 公 一 <small>なか むら こういち</small>

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I (2 年生)

前期：経営戦略論に関する入門書の購読+資料などの調査方法、企業研究・分析
後期：現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践（グループ調査）

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習 I	永 田 智 則 <small>なが た とも のり</small>

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習 I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるよう心がける。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
演習 I	にしむらかずお 西村和夫

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習 I

- ・タッチタイプ
- ・書誌情報の検索のしかたと検索演習欄りポートや論文の作成に役立つ。
- ・言語によるプログラミング
- ・問題の発見と解決
- ・コンピュータの基礎知識
- ・論文の読み方と発表のしかた（1）

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習 I：タッチタイプ、検索課題、レポート

参考書等

- [1] R.Graham.D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison - Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazou/>

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習 I	はとりしげ 羽鳥 茂

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科目名**担当者名****演習 I**ひのげん
日野健太**講義のねらい**

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習 I では、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学を行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習 I で読破した本は、以下の2冊である。

加護野忠男・井上達彦『事業システム戦略—事業の仕組みと競争優位』有斐閣

クレイトン・クリステンセン『イノベーションのジレンマ—技術革新が巨大企業を滅ぼすとき』翔泳社

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『日経 MJ トレンド情報源』は、経営学部の2年生の暇つぶし向き。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名
演習 I	藤原篤志

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

2年生（演習 I）では、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

専門教育
科目

科目名	担当者名
演習 I	山田純平

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	担当者名
演習 I	やま だ 山 田 勝

講義のねらい ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・
授業スケジュール

- (イ) 各自が『日本経済新聞（朝夕刊）』を毎日読む。
 (ロ) およそ2週間に1度、日経新聞の中から指定した記事に関して、日本語400字とその英訳文のレポートをメールによって提出。
 (ハ) 月1度のわりで各自のレポート内容を英語で発表し、それに関してディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

科目名	担当者名
経営学史	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況、経営学前史
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離（制度学派）
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容（マクロ組織論・経営戦略論）
6. 経済学の企業理論（新制度学派）
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2006年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997年
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998年
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993年
- 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000年（A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999年（A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科目名

担当者名

ドイツ経営学

たか 高 橋 成 夫

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)
北村健之助『経営経済学』(学文社)

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

経営管理論

鈴木幸毅

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れてつづ、説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論 (職能論)
 - (3) 管理構造論 (組織論)
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

科専門
教育
目

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

成績評価の方法

定期テスト結果に、夏期課題レポートの成績を加味して評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』(税務経理協会) 2001年4月(前期)
後期は、別の教科書を使う。

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』(税務経理協会) 1998年
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』(税務経理協会) 2001年6月

科目名**担当者名**

経営労務論

かしまひであき
鹿嶋秀晃

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名
生産管理論	藤原篤志

講義のねらい

生産管理は製造企業における一経営活動である生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。そしてそれは機能別・職能別に様々な管理・活動から構成されている。

本講義では様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説する。また企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げて解説したい。

また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

後期では、まず生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説する。その他、生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う予定である。その他、時間があれば、新たな生産方式（セル生産方式やモジュール生産方式）についても取り上げる。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

科
専
門
教
育

履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によっては減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

教科書

指定しない。

参考書等

山下高之『体系生産管理論』（中央経済社）1990年
その他、講義の中で指示します。

講義のねらい

マーケティング論は、社会的な分業体制下におけるさまざまな経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問である。こうしたマーケティング論は、マクロ・マーケティング論（「流通論」とほぼ同義）とミクロ・マーケティング論（いわゆる「マーケティング論」）の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものである。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものである。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。そのねらいは、各履修者が、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論双方における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

講義の内容・授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
・経済的懸隔の意義と内容 ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
・流通機能の意義と領域 ・流通フロー
- 2) 流通機構
・流通機関の意義と内容 ・卸売業者の意義と分類 ・小売業者の意義と分類
・流通の客体 ・流通機構を取り巻く環境 ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
・商業者の存立根拠 ・流通における商業者の地位の後退
・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔ミクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
・経営戦略 ・マーケティングの役割 ・マーケティング・コンセプト
・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
・マーケティング管理過程 ・環境分析 ・市場細分化 ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
・市場の2義性 ・消費財市場と産業財市場の比較 ・市場構造
- 4) 製品政策の領域
・製品の意義 ・製品ミックス ・新製品の意義 ・新製品開発プロセス
・製品ライフ・サイクル ・製品廃棄と計画的陳腐化 ・ブランドの意義と役割
・ブランドの分類
- 5) 価格政策の領域
・価格の設定方法 ・新製品導入時の価格設定方法 ・価格の管理方法
- 6) チャネル政策の領域
・チャネル・タイプ ・チャネルの構築方法 ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション政策の領域
・広告活動 ・人的販売活動 ・販売促進活動 ・パブリシティ活動
- 8) 市場調査活動

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教科書

開講時に指定する。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
 宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
 宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（改訂版）（同文館）2003年

そ の 他

その他の参考書などについては、適宜紹介する。

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論—とくに、「2）流通機構 ・ 小売業者の意義と分類」において

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論—とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 ・ 経営戦略」において

経済学概説・近代経済学—とくに、「3）市場概念 ・ 市場の2義性」、「同 ・ 市場構造」、

「5）価格政策の領域 ・ 価格の設定方法」において

統計学・統計原論・経営統計—とくに、「8）市場調査活動」において

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名

国際経営論

担当者名

茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

科 専
門 教
育

科目名**担当者名**

経営戦略論

なかむら こういち
中村 公一**講義のねらい**

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

1. 経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学説的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）
2. 企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略・社内ベンチャー、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グローバル戦略など）
3. 企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；バリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

留意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

参考書等

- ・中村公一『M&A マネジメントと競争優位』（白桃書房）
- ・経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝他『経営戦略』（有斐閣）が役に立つだろう。

科目名	担当者名
ベンチャー企業論	許伸江

講義のねらい

経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義では、ベンチャー企業台頭の経済社会的背景について理解するため、主に中小企業に焦点を当てる。その中で、企業家（起業家）、イノベーション、および企業成長プロセス等のテーマについてもとり上げることとする。
後期の講義では、ベンチャー企業の経営的特徴について、より詳しくみていく。必要に応じて、ベンチャー企業のケースもとり上げる。

成績評価の方法

期末テストにより成績評価を行う。かつ、授業中の小レポート等も加味する。

その他

授業方法は、講義形式とする。

科目名	担当者名
公益企業論	菅谷実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（1）
〈総論〉
2. 公益企業とは（1）
3. 公益事業とは（2）
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制（2）
5. 公益事業規制の枠組（2）
6. 規制緩和の促進（2）
7. 政府規制の見直し（2）
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス（1）
9. リストラクチャリング（1）
10. 民営化（1）
〈個別事業〉
11. 個別事業総論（1）
12. エネルギー・水道（3）
13. 情報通信（4）
14. 交通・運輸（3）
15. まとめ（1）

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』（白桃書房）2005年5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

専
門
教
育
目
録

科目名**担当者名**

環境経営論

かわむらまさひこ
川村雅彦

講義のねらい

企業の経営戦略として、環境対策と環境経営の違いを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①前期の講義内容：環境経営（理論編）
- ・日本における環境経営の変遷
 - ・環境経営の必要十分条件
 - ・市場のグリーン化
 - ・環境リスク
 - ・環境経営指標（環境効率）
 - ・環境経営のバウンダリー問題
- ②後期の講義内容：環境経営（実践論）
- ・環境先進企業（日本企業）
 - ・環境先進企業（欧米企業）
 - ・環境マネジメントシステム
 - ・温暖化ガスの排出権取引
 - ・環境格付とSRI（社会的責任投資）
 - ・環境経営からCSR経営へのシフト

履修上の留意点

受講に先立ち、学生各位が考える「環境優良企業」を異なる業種から3社選び、その理由を
ごく簡単にまとめておくことを希望する。

成績評価の方法

出席（20点）、中間レポート（30点）、試験（50点）の合計100点とする。

教科書

授業でレジメを配布するので、特に既存の図書は指定しない。

参考書等

必要に応じ、授業で指示する。

その他

講義形式とゼミ形式を併用し、授業単位でレジメを配布する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
経営史	前田和利

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
 - II. 企業経営発達史
 - 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 - 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 - 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 - 4. 企業経営の変容
大企業体制の動揺と新動向－管理組織の変遷を中心として
- 以上のうち、前期において企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、その他随時紹介する。

科
専
門
教
育
目
録

科目名

担当者名

日本経営史

おおしま ひさゆき
大島久幸

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ
【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

専
門
教
育
目

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科目名

担当者名

商業史

やま だ まさる
山田 勝

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

科 目 名**担 当 者 名**

保険経営論

いしなざか くに あま
石名坂 邦 昭

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
銀行経営論	ほつ どり よし ひさ 服 部 昌 久

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と不良債権問題
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験（50%）、レポート（45%）、授業への出席（5%）を総合して評価する。レポートの課題は開講時に指示する。

教科書

指定しない。

参考書等

- ・服部昌久『日本型金融システムの転換』（財外国為替貿易研究会）2001年 2,700円
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』（東洋経済新報社）2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』（東洋経済新報社）2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』（東洋経済新報社）2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行（2003年版）』（財経詳報社）2003年 2,200円

専
門
教
育
目

講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能Ⅰ（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能Ⅱ（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 卸売とその営業形態
- 11 卸売業の構造と変化
- 12 卸売マーケティング
- 13 卸売マーケティングの事例
- 14 予算管理と販売管理
- 15 商品回転率と価格政策
- 16 仕入管理と売買契約
- 17 在庫管理
- 18 消費者行動の変化
- 19 商業立地と商業集積
- 20 商業・流通を取り巻く法的環境
- 21 流通政策Ⅰ（競争政策と振興政策）
- 22 流通政策Ⅱ（調整政策）
- 23 中小零細商業者問題
- 24 中小零細商業者の将来
- 25 日本の商業環境と商慣行Ⅰ
- 26 日本の商業環境と商慣行Ⅱ
- 27 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
- 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
- 3 他人との会話などを授業中はしない
- 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
- 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
- 6 その他

成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点） 約30%
 中間レポートまたは中間試験 約30%
 期末試験 約40%

教科書

特に指定しない

参考書等

石川和男『基礎からの商業と流通』（中央経済社）2004年
 鈴木安昭『新・流通と商業（第3版）』（有斐閣）2004年

その他

連絡方法は、授業時に指示する。

科目名	担当者名
上級簿記	田 辺 正

講義のねらい

この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現金預金取引
2. 銀行勘定調整表
3. 有価証券
4. 手形取引
5. 引当金
6. 特殊商品売買取引
7. 固定資産
8. リース
9. 社債
10. 本支店会計
11. 合併
12. 連結会計

履修上の留意点

必ず電卓を用意してください。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書

加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』（中央経済社）

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
財務会計論	渡 邊 恵一郎

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名

管理会計論

担当者名
猿山義広

講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているため、経営学系列の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算Ⅰ——原価の意義と分類
- 第3回 管理会計と原価計算Ⅱ——原価計算の手続
- 第4回 管理会計と原価計算Ⅲ——直接原価計算
- 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ——損益分岐点分析
- 第6回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ——目標利益の達成計画
- 第7回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅲ——プロモーション効果
- 第8回 原価予測
- 第9回 最適セールス・ミックスの決定
- 第10回 経済的発注量(EOQ)の決定
- 第11回 事業部制の管理会計
- 第12回 標準原価計算による原価管理Ⅰ——原価統制の基礎
- 第13回 標準原価計算による原価管理Ⅱ——製造間接費の原価差異分析
- 第14回 予算実績差異分析
- 第15回 標準直接原価計算
- 第16回 活動基準原価計算(ABC)
- 第17回 原価企画
- 第18回 バランス・スコアカード(BSC)
- 第19回 意思決定会計Ⅰ——不確実性下の意思決定
- 第20回 意思決定会計Ⅱ——設備投資の意思決定

専門教育
科目

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているため、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

成績評価の方法

年間で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

専科
教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - （1）監査の必要
 - （2）監査の意義
 - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - （1）監査の目的
 - （2）監査思想の変遷
 - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - （1）証券取引法監査
 - （2）商法監査
 - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - （1）必要性
 - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
 - （1）意義
 - （2）体系
 - （3）一般基準
 - （4）実施基準
 - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - （1）監査概念の拡大化
 - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について

で説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名

担当者名

原価計算論

まし だ たか ゆき
 岸 田 隆 行

講義のねらい

原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支え、一方で管理会計を支えており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならないものである。

本講義では『原価計算基準』を元に制度としての原価計算を学習する。原価計算理論の本質を理解し、実際に自ら計算が行えるようになることが目的である。

専
門
教
育
目

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① 原価計算とはなにか
- ② 原価計算の機能と原価概念
- ③ 工業簿記（1）
- ④ 材料費計算（1）
- ⑤ 材料費計算（2）
- ⑥ 労務費計算
- ⑦ 経費計算
- ⑧ 製造間接費（1）
- ⑨ 製造間接費（2）
- ⑩ 部門別原価計算（1）
- ⑪ 部門別原価計算（2）
- ⑫ 部門別原価計算（3）

後期

- ① 個別原価計算（1）
- ② 個別原価計算（2）
- ③ 総合原価計算（1）
- ④ 総合原価計算（2）
- ⑤ 工程別総合原価計算
- ⑥ 組別・等級別総合原価計算
- ⑦ 工業簿記（2）
- ⑧ 標準原価計算（1）
- ⑨ 標準原価計算（2）
- ⑩ 直接原価計算（1）
- ⑪ 直接原価計算（2）
- ⑫ 活動基準原価計算（ABC）

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では随時小テストを行い、知識の定着をはかる。受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。

成績評価の方法

小テスト20点、定期試験80点として評価を行う。

教科書

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。
 木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』（税務経理協会）

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

- 皆さんが将来を託そうとする会社は、
- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名
国際会計論	やま だ じゅん べい 山 田 純 平

講義のねらい

近年、企業活動の国際化に伴い、会計の分野においても急速な国際化が進みつつある。このような状況をふまえ、本講義では、①会計で国際的視点が必要とされる理由、②国際的な会計基準の動向とその背景となる考え方、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 企業活動の国際化と会計（会計に影響を与える要因、会計の役割と様々な会計モデル）
- 2 国際的な会計基準の動向（金融商品、業績報告、企業結合、概念フレームワーク、基準設定主体など）
- 3 多国籍企業の財務諸表分析

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とする。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説する。

成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

教科書

ミューラー他（野村健太郎他監訳）『国際会計入門《第4版》』（中央経済社）1999年

参考書等

教科書の内容は少し古くなっているため、授業中に補足資料を配布する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
経済政策	もり おか じん 森 岡 仁

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

科目名	担当者名
財政学	はやみ昇 <small>のぼる</small>

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇編著 『政府の役割と租税』（学文社）

科専門
教育
目

科目名

担当者名

国際経済論

なが た とも のり
永 田 智 則

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定しています。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

中北 徹 『入門国際経済』（ダイヤモンド社）2,800円

参考書等

伊藤元重『ゼミナール国際経済入門（第3版）』（日本経済新聞社）
 ステファン A. バーカー（樋口清秀編著／訳）『エッセンシャル国際経済学』（シーエーピー出版）
 R.E. ケイプス／J.A. フランケル／R.W. ジョーンズ（伊藤隆敏監訳）『国際経済学入門』（I）、（II）（日本経済新聞社）

専科
専門
教育
目

科目名

担当者名

日本経済論

羽鳥 茂

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

専門
教育
科目

科目名

担当者名

証券市場論

佐藤昇

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の気運が高まっている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤昇ほか著『入門 現代の証券市場 (第2版)』(東洋経済新報社) 2,800円
ISBN4-492-71160-6

参考書等

授業中に指定する。

専
門
教
育
目

科目名**担当者名**

計量経済学

呉 逸良

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。
- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
 - (3) 統計学の基礎知識 (II)
 - (4～8) 単純回帰モデル
 - (9～11) 重回帰モデル
 - (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSP を利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSP の扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSP を用いて演習を行う。
 - (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
 - (15・16) TSP の基礎および練習
 - (17・18) Chow Test と予測
 - (19・20) ダミー変数
 - (21～23) 系列相関
 - (24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)

参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)
蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエービー出版)
唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel と TSP 入門』(多賀出版)
縄田和満『TSP による計量経済分析入門』(朝倉書店)
和合肇、伴金美『TSP による経済データの分析』(東京大学出版会)

科 専
門 教
育 目 録

講義のねらい

経済史には、大別して二つのタイプがある。第1は、原始古代から現代に至る経済史の諸段階について、それぞれの時代の解明に独自の意義を認め、諸時代を取り扱っていくタイプである。第2は、その主要な対象を資本主義の歴史に置き、その理解に必要な限りでごく簡単に前近代にもさかのぼるというタイプである。この講義では、前期に第1のタイプを行う。この日本列島に、私たち人類が住み始めてから数万年の歴史が経過しているが、人びとが生活し、社会を形成し、国家を構成している以上、そこには社会経済的な営みは行われている。資本主義経済に先行する社会ではどのような経済構造であったのか、また私たちが住む資本主義経済をどのように生み出してきたのか、それを解明するのが前期の講義内容ならびに目的である。しかし、経済学の主たる対象が現代経済（資本主義経済）にあるのだから、経済史もその認識を深めるために資本主義の歴史を扱わなければならない。そこで、後期は日本資本主義の発達史を検討する。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。後期の講義では、日本の資本主義経済を歴史的にみていくことによって現代日本の歴史的な位置を考えていきたい。そして、前・後期の講義を通じ、経済史の基礎知識、歴史的な考え方を学べるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期の主要講義内容】

- (1) 狩猟採集経済と農業生産の始まり
- (2) 律令国家の社会経済システム
- (3) 戦国大名の経済政策と太閤検地
- (4) 幕藩制国家の社会経済構造
- (5) 明治維新の社会経済構造

【後期の主要講義内容】

- (1) 日本の産業革命
- (2) 政商と財閥
- (3) 地主制の構造
- (4) 大正デモクラシーの社会経済構造
- (5) 昭和恐慌と高橋財政
- (6) 十五年戦争下の日本経済
- (7) 敗戦と戦後改革
- (8) 高度経済成長の歴史構造

履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

そのつど指示する。

科目名	担当者名
情報処理応用Ⅱ	なが くに 強

講義のねらい

実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読み取るのかといった能力を育成できるようにすることを目的として、本講義はEXCELを利用してデータ解析の技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

1. データ整理（度数分布表、グラフ表現）
2. 統計特性値、経営指数
3. 回帰モデル、時系列解析

履修上の留意点

講義は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ＊この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
情報処理応用Ⅱ	う 谷 明 秀

講義のねらい

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義（6～7回）
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習（5～6回）
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておく和良好的。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ＊この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名

担当者名

情報処理応用Ⅲ

なが
長
こ
国
まよ
強

講義のねらい

本講義では、Cプログラミング（C言語）の基礎を中心に学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

1. C言語入門
2. C言語による簡単なデータ解析ソフトの作成

履修上の留意点

講義は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

*この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に
担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」
への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名

担当者名

情報処理応用Ⅲ

宇谷明秀

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義（3～4回）
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。
2. プログラミング技術の講義（4～5回）
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発（3～4回）
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておく和良好的。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科
専
門
教
育

科目名

担当者名

情報理論

にしむらかずお
西村和夫

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

専
門
教
育
目

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

高井徹雄他著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）2,600円

科目名

担当者名

システム論

うたに あき ひで
宇 谷 明 秀

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピューテシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

専
門
教
育
目

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ 2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
前期復習と中間試験	(7月中旬) 2回
標本分布	カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
統計的推定	点推定(不偏推定、モーメント法、最尤法) 4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
後期復習と定期試験	(翌年1月中旬) 2回

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』(新曜社) 2001年 1,500円(税別)
ISBN4-7885-0224-0

参考書等

数値表としての参考書：
森口繁一編『新編 日科技連数値表』(日科技連出版社) 1996年 510円(税別)
ISBN4-8171-0262-4
P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』(培風館) 1996年 1,650円(税別)
ISBN4-563-00839-7

その他

授業の方法 - 講義 (OHPを使用する場合があります。)

科目名

担当者名

経営統計

ながこ 国強

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

民法(総則・物権法)

須賀昭徳

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつおりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑩時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第4版）（有斐閣）2,000円

参考書等

講義の中で指示する。

科専門教育
目

科目名

担当者名

商法I(総則・会社法)

受川環大

講義のねらい

商法（企業法）の全体像を概観した後、2006年5月施行予定の会社法について講義します。会社法上、株式会社・合名会社・合資会社・合同会社が規定されていますが、もっとも重要な会社形態である株式会社に関するルールを中心に講義します。株式会社がどのような組織として制度化され、そこにはどのような問題が生じているのか、株式会社の組織・活動に関する基本的な内容を概観する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）まず、1商法と会社法の全体像を概観します。次に、2会社法総論（会社の意義・種類、会社の法的特質）、3株式会社の設立（株式会社を作るには、どのような手続が必要とされるか）、4株式制度（株式の意義・種類、単位、株式の譲渡等）について講義します。

（後期）5株式会社の機関について、機関設計の選択、株主総会、取締役・取締役会・代表取締役、監査役、会計監査人、委員会の順序で講義します。

履修上の留意点

テキストと平成18年版六法を必ず持参して、授業に臨んでください。また、言うまでもないことですが、授業中の私語は厳禁です。なお、原則として、毎回出席を取る予定です。

成績評価の方法

期末試験のペーパー試験の結果で評価します。出席を取る場合には、出席状況も考慮します。

教科書

受川環大『新会社法入門』（泉文堂）1,900円

その他

講義形式で行う。

科目名**担当者名**

労働法

藤本 茂

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特色
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V 前期、VI～X 後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

科 専
門 教
育 目 録

履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著 『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

あかしひろゆき
明石博行

講義のねらい

本演習では、現代の経済社会に関する3年次・4年次の共通研究テーマと課題図書を相談のうえ決定し、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析におけるエクセルの利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。さらに、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしばってゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルおよびパワーポイントの操作能力を育成しつつ、決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書のノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、決定したテーマにそくして現代の経済社会に関する学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、テーマ別の個人研究が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点

チームごとの補習を行いながら、テーマ別の学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせゆきます。補習では、Financial Timesの最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書

多国籍企業にかんする課題図書とともに、エクセルの学習のために『超図解 EXCEL2003 (総合編)』(エクスメディア、1,480円)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウォッチの活用法』と『決算分析の基礎』を配布し、使用します。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

あべかずひと
阿部一人

講義のねらい

演習Ⅰに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、卒業論文としてまとめたいテーマを選定し、研究計画書(テーマ、理由、枚数など)を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

広瀬義州著『財務会計』(白桃書房)3,500円

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	飯田哲夫

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。

その際、コンピュータの利用は必須となります。

この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

最初の授業のときに紹介します。

科専門教育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	石名坂 邦昭

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

小 沢 利 久

講義のねらい

人は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数理モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつあります。

講義の内容・授業スケジュール

経営科学の応用として、マーケティングサイエンスまたは金融工学で用いられている様々な分析手法について学んでいきます（どちらにするかはゼミ生との相談で決める予定です）。また、Excelの総仕上げとして、VBAによるプログラミングを学びます。プレゼンテーション能力を高めるための訓練として、ビジネス企画書の作成とPowerPointを用いた発表練習を行います。

履修上の留意点

演習については、演習Ⅲ（4年生）を継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用Ⅰ、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前または並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

各 務 洋 子

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、（1）高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。（2）多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。（3）生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、演習で学んだ経営学の基本を中心に、企業理論を深める。テキストを精読、レジュメを作成し、報告する。更に、学習した内容を、自分の言葉で表現し直し、議論を通して深く理解することを実現するために、毎週、理論の重要なポイントをテーマとしてとりあげ、30分ディベートを実施。この独自のプログラムは、毎年夏合宿で、徹底的に身体で身に付け、演習Ⅱ&演習Ⅲでツールとして利用している。また個人研究を開始する。経営学や企業に関連した個人の興味・関心を探究することから始める。演習終了時には、取り上げたテーマについての専門家になることを目指す。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	鹿嶋秀晃

講義のねらい	研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。
講義の内容・授業スケジュール	現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでもいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。
履修上の留意点	出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。
成績評価の方法	出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。
教科書	参考に、以下は昨年までのテキスト例。宮内健『働き方働かせ方』、山田昌弘『希望格差社会』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、アバグレン『日本の経営』、高橋俊介『スロウキャリア』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。
参考書等	演習時に適宜紹介。
その他	履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	片桐伸夫

講義のねらい	このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。 経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、 といった内容です。
履修上の留意点	このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。
成績評価の方法	成績評価の方法は平常点です。 3年次（演習Ⅱ）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。
その他	プレゼミや合宿も行います。 ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。 なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

かねむらえいとつ
兼村栄哲

講義のねらい

受講生の一人ひとりが、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の5つを主な内容としている。

- (1) マーケティング論に関する専門的なテキストを全員で輪読し、専門的な概念や理論を学んでもらう。
- (2) 年に2回、各自で業界研究をしてもらい、それぞれについてA4版で100枚以上のレポートにまとめてもらう。また、その概略を(2泊3日の)冬合宿で発表してもらう。
- (3) 夏休みに(2泊3日の)工場見学をおこなう。工場見学後、その内容についてのレポートを課すか、あるいは試験をおこなう。
- (4) 駒澤大学内で開催される「G-Planning Contest」に参加してもらう。
- (5) 電通主催の学生懸賞論文を提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を図ること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出る

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

きしだたかゆき
岸田隆行

講義のねらい

原価を知ることは経営管理の基礎であり、原価を知ることなくして、経営を理解することは困難である。近年は経営環境の変化が著しく、原価計算も経営環境の変化に対応すべく、様々な技法が編み出されている。しかし、それらの新技法が実際に有効であるのか、またすべての企業に適合するのかわかりかではない。本演習では原価計算が現代的な経営環境の中で、経営管理においてどのような役割を果たすかについて理解を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれのテーマについて担当者を割り当て、担当箇所についてレジュメを作成し、報告してもらい、報告内容について受講者全員でディベートを行う。

履修上の留意点

積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。

担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってもらいたい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読した上、講義の参加することが望ましい。

成績評価の方法

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名**担当者名****演習Ⅱ**

すずき 鈴木 幸毅

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。

〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任〈増補版〉』中央経済社（平成6年）
同 『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会（平成11年）

科専門
教育
目録

科目名

担当者名

演習Ⅱ

猿山義広

講義のねらい

この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めていてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の内容は以下に示すとおりである。1つの項目について2～3人で分担して報告してもらおう。なお、必要に応じて、適宜計算問題を解いてもらう。

- 1 経営者と管理会計
- 2 企業価値創造のための管理会計
- 3 事業部制の管理会計
- 4 キャッシュ・フロー経営
- 5 経営戦略の管理会計への役立ち
- 6 中長期経営計画と予算管理
- 7 バランス・スコアカード
- 8 損益分岐点分析と直接原価計算
- 9 標準原価計算とコスト・コントロール
- 10 コスト・マネジメント
- 11 原価企画と戦略的コストマネジメント
- 12 ABCによる経営効率の向上
- 13 物流費、販売促進費、本社費の管理
- 14 経営意思決定のための会計
- 15 戦略的・戦術的価格決定
- 16 戦略的意思決定と設備投資意思決定
- 17 企業再編と分権化の管理会計
- 18 ITのための管理会計
- 19 研究開発費の管理会計
- 20 海外事業のための管理会計

履修上の留意点

演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、ワープロだけでなく、プレゼンテーション用のツールなども活用すること。

成績評価の方法

割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書

櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』（同文館出版）
計算問題については授業中に配布する。

参考書等

項目ごとに指示する。

その他

演習は真面目に取り組めば生涯を通じての財産になる。1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識を身につけるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	高井 徹雄

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずですが、

3年次ゼミでは、毎週の演習を通じて、また、ゼミ合宿においてはグループのリーダー役として、養ってきた能力を実践的に発揮していただく場を用意します。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・システムの的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

- 4-10月：輪読…メンバーの要望もお聞きして適切な文献を1冊選び、全員で輪読会
- 6月：ソフトシステム方法論…演習Ⅰと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
- 11-12月：ゼミ論テーマの作成

履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

教科書

ゼミ在籍者とも相談の上、輪読用の教科書を開講後に指定します。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

専門教育
科目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	高木 克己

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選定したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

たか だ みつ あき
高 田 光 明

講義のねらい

この演習では、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、機械、建物、原材料などの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして、調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。当演習の目的は、資本の運用面にも配慮しつつ、このテーマでの研究を通して、企業の財務活動がどのような原理・原則にもとづいて行われるべきか考察することにある。

大学でみなさんが教育を受ける目的は、自己学習能力を身に付けられるような学び方を通して、論理的思考能力を培うことにある。そこで大学では、授業をきっかけにして、関心のある分野を自発的に学習し、自ら考えながら学ぶという姿勢が肝心である。そうすれば、卒業後に、仕事上の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学んでいける自己学習能力を身に付けられるようになる。そして、そのような能力を身に付けられるようにと学ぶ過程で、物事を自分なりに筋道立てて考える力が育ってくるはずである。演習では、通常の授業よりも深く掘り下げた学び方をしてもらおう。そのため、主体的・自発的に学ぶことが何よりも求められる。したがって、この大学教育目的を達成するための経験を積める場所として最適なのが、演習の授業であるといえる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的な進め方としては、まず、基礎的知識の体系的理解を図るために、企業財務に関する入門書レベルの文献の共同研究から始める予定である。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって、企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

たか た こう いち
滝 田 公 一

講義のねらい

本年度は、文献[1]のほかに、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS(the Statistical Package for the Social Sciences)を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトであるSASがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国のNational Opinion Research Centerによってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査General Social Surverを分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSPといった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing modelや、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート(通常、computer assignment)を提出してもらい、それによって行います。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	なが くに じょう 強

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析
WORDとEXCELの入門を既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信することにあると思う。演習Ⅱの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるはずの市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく分析する。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅱの新規募集はいたしません。
演習Ⅱは毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけないことも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的であつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	なか がわ じゅん 平

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社、3,200円）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

なが むら こう いち
中 村 公 一

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）

前期；経営戦略論に関する文献購読

後期；ケーススタディ中心（各ゼミ生が興味のあるものを選択）、ケース分析レポート

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

なが た とも のり
永 田 智 則

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅱ」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	にしむらかずお夫 西村和夫

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習Ⅱ

- ・論文の読み方と発表のしかた(2) スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics”[1]の第1章を輪講する(レジュメと書画カメラを使う)。“再帰的な考え方”を理解する。
- ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。
- ・仕様書の書きかた
- ・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿(年1度)・イベント(年1～2度)。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習2：輪講のレジュメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書

参考書等

- [1] R.Graham,D.Knuth and O.Patashnik,Concrete Mathematics,Addison-Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』(中経出版)1992年

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	はとりしげる 羽鳥茂

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。
また、2002年3月にスタートした経済学検定試験(ERE)に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

古川頭『テキストブック・現代の金融(第2版)』(東洋経済新報社)2002年 2,500円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験-ポイント解説と演習-』(日本評論社)2002年 1,680円

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅱ	ほね たしょうご 羽 田 尚 子

講義のねらい	自分の興味あるテーマを、データを使って分析し、得られた結果から新たな発見を得ることが目的です。パソコンを使った実習が中心になります。
講義の内容・授業スケジュール	前期はソフトウェアを使った実習が中心。データ解析ソフト TSP による回帰分析の実習と、DEA Solver による効率性評価の実習を行います。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習してもらいます。結果と考察は、定期的に報告およびレポート提出してもらいます。後期は各自興味ある分析テーマを見つけ、そのテーマを分析するためにはどのようなデータを選ばよいか検討し、報告してもらいます。
履修上の留意点	分析テーマは、産業や企業に関するものとします(企業の研究開発活動や技術マネジメント、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するものなら尚望ましい)。
成績評価の方法	出席状況、課題の提出、発表態度、理解度により総合的に評価します。無断欠席は厳禁です。
教科書	適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅱ	ひ の けん た 日 野 健 太

講義のねらい	好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマとってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。 演習Ⅱでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学を行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。また、後期を中心に、それぞれの関心の所在について報告してもらう。 必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。 学年末には、1万字のゼミ論文を提出してもらう。
履修上の留意点	ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート(原稿用紙2枚以下)を頻繁に課す。
成績評価の方法	出席とゼミへの積極性、レポート内容による。
教科書	開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習Ⅱで読破したのは、以下の2冊である。 佐藤郁哉・山田真茂留『制度と文化一組織を動かす見えない力』(日本経済新聞社) シドニー・フィンケルシュタイン『名経営者が、なぜ失敗するのか?』(日経 BP)
参考書等	有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。田尾雅夫・若林直樹『組織調査ガイドブック』はゼミ論のテーマを明確にするのに役立つ。
その他	わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。 無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	藤原篤志

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名
演習Ⅱ	前田和利

講義のねらい

日本の経営史は圧倒的多数の企業の成功事例に彩られているが、他方では破綻・失敗に陥ったり、そこから再生する企業の事例にも事欠かない。本演習ではそれぞれの要因がどこにあったのかを事例研究をとおして検討する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度はカネボウやダイエーなどにみられる破綻・失敗→再生のケースを中心に考えているが、同時にリビング・カンパニー（長寿企業）にも関心をもってもらうようにしていきたい。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行ない、論文作成の指導を行なう。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点（出席と授業態度）とレポート提出（2回）による。

教科書

宇田川勝ほか編『失敗と再生の経営史』（有斐閣）
その他については後日紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前に要旨・資料の配布が求められる。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	みやぎ 城 てつ 徹

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）

3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏（邦訳書）と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」（特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論＝状況的アプローチ）と「新しい制度学派」の双方の組織（＝企業）についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならぬ。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斎藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	やま だ じゅん べい 山 田 純 平

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストの輪読を継続する。その後財務諸表の読み方に関するテキストを読むとともに、卒業論文に向けて中間報告をしてもらう。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	山田 勝

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール

英文経営雑誌 Business Week の Cover Story を素材に (コピーを配布)、その内容についてディスカッションする。共通語は英語。英語を学ぶのではなく、英語が含んでいる国際的経営センスを得ることが目的。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わるのが評価の対象となる。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	渡邊 恵一郎

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体 (家計、企業、官公庁その他) の経済状況を計数 (貨幣) 的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。

3年次……資金会計の基礎理論およびキャッシュ・フロー会計と経営との関係について学修する。これには、3～4人を1チームとして編成し、レジュメを作成して発表し、質疑応答してもらう。

(この間、日本学生経済ゼミナール大会へ出場のための論文を学生が自主的に作成する。)

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会 (11月関東、12月全国) に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科 専
門 教
育 目

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかことが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひとつと説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系(前期) (第1回)
- (2) 債権の目的・内容 (第2回)
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制 (第3回)
- (4) 債務不履行責任 (第4、5回)
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権 (第6回)
- (6) 詐害行為取消権(債権者取消権) (第7回)
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権 (第8回)
- (8) 連帯債務、保証債務 (第9、10回)
- (9) 債権の譲渡、債務の引受 (第11回)
- (10) 債権の消滅 (第12、13回)
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類 (後期) (第14回)
- (12) 契約の成立 (第15回)
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権 (第16回)
- (14) 危険負担、(第17回)
- (15) 第三者のためにする契約 (第18回)
- (16) 契約の解除 (第19回)
- (17) 贈与、売買、交換 (第20回)
- (18) 消費貸借、使用貸借、賃貸借 (第21回)
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約 (第22回)
- (20) 事務管理、不当利得 (第23回)
- (21) 不法行為 (第24、25回)

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法Ⅰ」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法(4)～(7)』(有斐閣双書)

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2 債権法』(一粒社) および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』(有斐閣大学双書)

科目名

商法Ⅱ(商行為、手形・小切手法)

担当者名なか はま よし あき
中 濱 義 章**講義のねらい**

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無償代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡及
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』(文眞堂)

参考書等

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)

山下友信=神田秀樹編『商法判例集』(有斐閣)

科目名

担当者名

外書講読(英書)

あがしひろゆき
明石博行

講義のねらい

経済社会学に関する古典的な著書・論文を読みます。対象とするのは、カール・マルクス、マックス・ウェーバー、カール・ポランニー、チャールズ・リトルトンらの古典的な論稿、およびピエール・ブルデュー、マーク・グラノヴェッターらによる比較的最近の論稿です。英文の読解力の向上を図るとともに、経済学および社会学に関する基礎的認識を経営学や会計学と関連させて深めることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下のような順で、関連する論稿を読み進める予定です。

1. Karl Marx, Grundrisse: Foundations of the Critique of Political Economy.
2. Max Weber, Economy and Society: An Outline of Interpretive Sociology.
3. Karl Polanyi, The Great Transformation.
4. A. C. Littleton, Accounting Evolution to 1900: Influence of Corporation.
5. Pierre Bourdieu, The forms of Capital.
6. Mark Granovetter, Economic Action and Social Structure: The Problem of Embeddedness.

なお、より多くの文献を読めるようでしたら、適時、文献を補足します。

履修上の留意点

担当箇所を決め、丹念に読み進めますので、毎回の授業にきちんと出席することが大事です。

成績評価の方法

出席点とレポートによって評価をします。

教科書

テキストとしては Nicole Woolsey Biggart ed., 2002. *Readings in Economic Sociology*, Blackwell Publishers. を用いますが、ここに収録されていない論稿も読みますので、プリントを配布します。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

外書講読(英書)

すずきこうき
鈴木幸毅

講義のねらい

英語文献になれ読解力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

企業評価に関する論文をとりあげる。

履修上の留意点

事前割り当てにより発表を義務づける。

成績評価の方法

出席と発表を重視する。

教科書

コピーして配布する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
外書講読(英書)	前田和利

講義のねらい

日本経営史に関する英語文献をとおして英文読解力を養成するとともに、日本の企業経営のあり方を考える。

講義の内容・授業スケジュール

経営史学会が刊行している海外向け年報のなかから日本のマーケティングと自動車産業をとりあげる。

履修上の留意点

輪読形式をとるので、事前に割り当てられた各担当者は必ず発表することが義務づけられます。

成績評価の方法

平常点(出席・発表)を重視するが、学年末に簡単な試験を行う。

教科書

上述の関連文献をコピーし、配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
外書講読(独書)	薮下 紘一

講義のねらい

幾冊かを用意し学生と相談してテキストを決めたい。
学生が担当箇所を読み訳していく作業が一年間続きます。

成績評価の方法

平常点

科目名	担当者名
外書講読(仏書)	桑田禮彰

講義のねらい

フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い経済・経営関係のフランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

プリント配布。

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
外書講読(中国書)	宮本厚子

講義のねらい	ネイティブが読むのとまったく同じ、ピンインなし、語釈なしの文章を読む力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストについては、開講時受講者と相談の上決める。やさしいものから始め、段々に難しいものにチャレンジしていく。
履修上の留意点	毎回、辞書を引き、内容を把握してから、授業に臨んでもらう。予習は必須。
成績評価の方法	年に2回の学期末テストと、出席などの平常点で評価する。
教科書	コピーを配布。
参考書等	開講時に指示。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
外書講読(スペイン書)	真下祐一

講義のねらい	専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。
講義の内容・授業スケジュール	ラテンアメリカの社会と文化に関するテキストを読む予定です。
履修上の留意点	スペイン語の基礎文法をしっかり復習しておくこと。現代のスペイン語文に親んでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。
成績評価の方法	毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。
教科書	エクトル・ルエダ・デ・レオン『ラテンアメリカ入門』(白水社)

科目名	担当者名
外書講読(ロシア書)	すぎやまひでこ 杉山秀子

講義のねらい	やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられてるオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。
成績評価の方法	出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。
教科書	プリント配布。 ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科目名	担当者名
ビジネス英語	すぎ 杉 やま やす ひこ 山 泰 彦

講義のねらい	総合商社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期の初期に貿易の形態と商売の流れを教え、基本文体を10～15パターン覚えさせる。後期は具体的に自分で作文することを反復する。
履修上の留意点	学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して一人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。
成績評価の方法	学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。
教科書	田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）
参考書等	参考書は日商岩井（株）が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考としたい。
その他	大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考としたい。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名
特殊講義(前期)	しろ 代 た 純 代 田 純

講義のねらい	野村證券の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村證券、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、初学者でも問題ない。証券業界への就職を検討する学生には、適している。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 経済情報のとらえ方 3 経済成長と金融資本市場 4 証券投資のリスクとリターン 5 株式市場の役割 6 債券市場の役割 7 投資信託の役割 8 ポートフォリオの考え方 9 市場のグローバル化 10 資産運用とライフプランニング 11 資本市場と投資家心理 12 個人投資家 13 ベンチャーとIPO
成績評価の方法	出席点とレポート点で評価する。
教科書	毎回、レジユメを配布する。パワーポイントによる授業となる予定。
参考書等	代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年。
その他	野村證券の寄付講座であり、私語は厳禁する。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。4年生が就職活動で遅刻する場合を除き、遅刻は認めない。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	明石博行

講義のねらい

本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、パワーポイントを使って、プレゼンテーションに関する学習に取り組み、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、パワーポイントを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウオッチの活用法』と『決算分析の基礎』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	阿部一人

講義のねらい

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	飯田哲夫

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必要となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿って論文を作成します。

履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

成績評価の方法

論文の内容とそのプレゼンテーションにより評価します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	いしなごか くにあき 石名坂 邦昭

講義の内容・
授業スケジュール

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。

成績評価の方法

論文をもって評価する。

参考書等

論題に必要な資料を紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	おさわ としひさ 小沢 利久

講義のねらい

人は様々な場面で次取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピューターリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、対象を数理モデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。

講義の内容・
授業スケジュール

経営科学の関連分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめてもらいます。そのために、前期は興味のある対象を選び、順番にその調査結果を発表してもらいます。後期は、前期の調査結果をもとに論文にまとめるべき問題を設定し、自分なりの答えを論文としてまとめてもらいます。最後に、論文発表会を行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎、情報処理応用Ⅰ、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前に履修することを勧めます。

成績評価の方法

論文の提出を必須とし、その内容に、出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名

担当者名

演習Ⅲ

かがみ ようこ
各務洋子

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1) 高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2) 多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3) 生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

専科
専門
教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅱと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅰ&Ⅱの履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名

担当者名

演習Ⅲ

鹿嶋秀晃

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

参考に、以下は昨年までのテキスト例。宮内健『働き方動かせ方』、山田昌弘『希望格差社会』、熊沢誠『リストラとワークシェアリング』、アベグレン『日本の経営』、高橋俊介『スローキャリア』、柳下公一『勝ち組企業の成果主義』。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ホームページ参照。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科専門教育
目録

科目名

担当者名

演習Ⅲ

片桐伸夫

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、

といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。
 4年次（演習Ⅲ）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

その他

プレゼミや合宿も行います。
 ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	かね 村 栄 哲 兼 村 栄 哲

講義のねらい

受講生の一人ひとりが、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

各自の問題意識にしたがって、卒業論文を作成してもらおう。当論文は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字(40字×30行)で25枚以上とする。

履修上の留意点

以下の4点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない受講生については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること
- (4) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、卒業論文の内容等を総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	すず き こう 鈴 木 幸 毅

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任(増補版)』(中央経済社)平成6年
同 『環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)平成11年

科目名

担当者名

演習Ⅲ

猿山義広
まる やま よし ひろ

講義のねらい

この講義では、前年度に学んだ現代の管理会計理論に対する理解がより深まるように、相当数の演習問題を解いてもらう。また、自らが決めたテーマについて400字詰め原稿用紙30～50枚程度のレポートを作成してもらう。大学での勉強の集大成となるような力作を期待する。

講義の内容・ 授業スケジュール

演習問題は以下に示すような項目に分けられる。

- 1 標準原価計算
- 2 直接原価計算
- 3 CVP分析
- 4 セールス・ミックスの決定
- 5 事業部の業績測定
- 6 予算編成
- 7 予算実績差異分析
- 8 差額原価収益分析
- 9 設備投資の意思決定
- 10 戦略的管理会計

履修上の留意点

演習問題を解くにあたっては知識以上に集中力と粘り強さが重要になる。ちょっとだけ問題を見て、難しそうだからといって、簡単にあきらめてはいけない。

成績評価の方法

授業への取り組み、出席状況、レポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書

前年度に引き続き、櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』（同文館出版）を用いる。
演習問題については授業中に配布する。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

卒業後、胸を張って「私は学生時代、管理会計論の演習を受講しました」といえるだけの成果が上げられるよう、限られた時間の中で一生懸命に勉強してもらいたい。

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

演習Ⅲ

たか 井 てつ お
高 井 徹 雄

講義のねらい

IT (情報技術) が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

4年次ゼミでは、卒業ゼミ論文の作成を通して、これまでの学習の成果を発揮していただきます。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：卒業ゼミ論文のテーマ選定と個人指導

9-12月：卒業ゼミ論文作成に関する個人指導

1月：卒業ゼミ論文の最終発表と提出

履修上の留意点

卒業ゼミ論文の作成と提出が、4年次演習履修の必須条件です。

成績評価の方法

個人指導の経過と、提出された卒業ゼミ論文及び発表を見て評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅲ

たか だ みつ あき
高 田 光 明

講義のねらい

3年次からの演習に参加している間に、自分なりに持った問題意識のもとで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。テーマ探しの過程でいろいろと文献を探して読むという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして論文の執筆過程で、考えながら書き、書きながら考えを深めてまとめていくことは、論理的に思考する能力を培うのに役立つ最も主体的な行為である。したがって、これらの作業は、演習Ⅱで強調した大学教育の中心目的の達成を図る上で、きわめて重要な位置を占めている。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅲでは、リスク・リターン関係や資本のコストといった概念をキーワードにして、企業の資本調達問題についてさらに議論を深める。そしてこのようなテーマで演習を進めていく間に、各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。

履修上の留意点

ゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまうがちである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱うとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

成績評価の方法

ゼミ論文を中心として、適宜提出を求めるレポートも加味して評価する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	高木 克己

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性(解決策等)を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文(30枚以上、400字)の作成します。
なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	滝田 公一

講義のねらい

演習Ⅰ,Ⅱで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、
(ア)どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、
(イ)自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、
と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等

澤田昭夫『論文の書き方』(講談社学術文庫)昭和52年
澤田昭夫『論文のレトリック』(講談社学術文庫)昭和58年
梅棹忠夫『知的生産の技術』(岩波新書)昭和50年
川喜田二郎『発想法』(中公新書)昭和51年
中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』(新潮選書)平成9年

科目名	担当者名
演習Ⅲ	長 国 強

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ(4年生):総決算…卒業論文作成に挑戦
研究テーマを自主的に選び、演習Ⅰと演習Ⅱの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法

平常点:出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅲの新規募集はいたしません。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	なが た とも のり 永 田 智 則

講義のねらい	世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。
講義の内容・授業スケジュール	「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。
履修上の留意点	無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。
成績評価の方法	提出されたゼミ論を評価対象にする。
教科書	教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平

講義のねらい	この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。
履修上の留意点	予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。
成績評価の方法	発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。
教科書	宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社）3,200円
参考書等	参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）
前期；近年の経営・経済環境に関する文献購読と議論
後期；ゼミ論文の作成（各自の論文テーマの報告）

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科目名

担当者名

演習Ⅲ

にしむら 西村 かつお 和夫

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ
論文の書きかたを習得する。
・資料の調査
・中間発表とリポート提出
・論文の作成と発表
・論文提出
・発表会

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習Ⅲ：ゼミ論文

参考書等

- [1] R.Graham.D.Knuth and O.Patashnik,Concrete Mathematics,Addison - Wesley, 1989.
- [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅲ

はとり 羽鳥 いほる 茂

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。
また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

田中隆之『現代日本経済』（日本評論社）2002年 2,800円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ほねだしょうこ 羽田尚子

講義のねらい

演習Ⅱで決めた各自の分析テーマを、演習Ⅰで習得した解析手法により分析し、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自分析を進めてもらいます。後期は分析結果の報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。論文の書き方については、適宜指導します。

成績評価の方法

出席状況、報告状況および論文の内容により総合的に評価します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ひのけんた 日野健太

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマとあってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習Ⅲでは、演習Ⅱでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習Ⅱと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。
必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。
普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出する。

履修上の留意点

ゼミ論文の提出には合計3回の中間報告が必須。
良い論文を書くゼミ生は、他のゼミ生の論文の長所・短所をよく見ている。兄が怒られている（ほめられている）のを見る次男坊の気持ちでディスカッションに参加すること。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、提出された論文による。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名

担当者名

演習Ⅲ

ふじ 原 藤
わら 原 篤
あつ 篤 利
し

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅲ

まえ だ かず とし
前 田 和 利

講義のねらい

演習Ⅱのテーマを継続して検討するが、論文作成の指導に力点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

- ①事例研究をとりあげる。
- ②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法

平常点および論文評価による。

参考書等

論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他

報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	みやぎ 城 てつ

講義のねらい

演習Ⅲ（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	やま だ じゅん べい 山 田 純 平

講義のねらい

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読するとともに、卒業論文の構想やその周辺分野について報告をしてもらう。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	やま だ まさる 山 田 勝

講義のねらい

ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール

月1度の割で、各自が毎日読む『日本経済新聞』の記事の中から、テーマを定めて日本語（1000字程度）と英文のレポートをメールで提出。更にそれを演習時間に発表し、その内容をめぐってディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法

平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

科目名**担当者名****演習Ⅲ**わた なべ えいちろう
渡 邊 恵一郎**講義のねらい**

会計の主な役割は、特定の経済主体(家計、企業、官公庁その他)の経済状況を計数(貨幣)的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。

4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般的見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示(ディスクローズ)されている。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」(本年第33巻)を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.635)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学概論	経営A・経営B	通年	4	石井修道	409
中国禅宗史	経営A・経営B	通年	4	石井修道	409
日本禅宗史	経営A・経営B	通年	4	佐藤秀孝	410
禅籍講読Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	程正	410
禅籍講読Ⅲ	経営A・経営B	通年	4	岩永正晴	411
仏教概論	経営A・経営B	通年	4	休講	
インド仏教文化史	経営A・経営B	通年	4	金沢篤	411
中国仏教文化史	経営A・経営B	通年	4	永井政之	412
日本仏教文化史	経営A・経営B	通年	4	袴谷憲昭	413
中国古典語初級	経営A・経営B	通年	4	吉村誠	414
中国哲学史	経営A・経営B	通年	4	前川亨	414
上代文学研究Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	中嶋真也	415
中古文学研究Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	松岡智之	415
中世文学研究Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	櫻井陽子	416
近世文学研究Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	近衛典子	416
近代文学研究Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	榎本正樹	417
比較文学	経営A・経営B	通年	4	木村朗子	417
西洋思想史	経営A・経営B	通年	4	柴野博子	418
演劇概論	経営A・経営B	通年	4	森井直子	418
日本民俗学	経営A・経営B	通年	4	谷口貢	419
イギリス文学特講Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	石原孝哉	419
イギリス文学特講Ⅱ	経営A・経営B	通年	4	高野正夫	420
イギリス文学特講Ⅲ	経営A・経営B	通年	4	岡崎寿一郎	420
イギリス文学特講Ⅳ	経営A・経営B	通年	4	川崎明子	421
イギリス文学特講Ⅴ	経営A・経営B	通年	4	富士川義之	421
イギリス文学特講Ⅵ	経営A・経営B	通年	4	丸小哲雄	422
アメリカ文学特講Ⅰ	経営A・経営B	通年	4	東雄一郎	423
アメリカ文学特講Ⅲ	経営A・経営B	通年	4	足田和人	423
演劇特講(イギリス・アメリカ)	経営A・経営B	通年	4	落合和昭	424
時事英語	経営A・経営B	通年	4	サンダース, L. P.	424
人口地理学	経営A・経営B	通年	4	山内昌和	425
文化地理学	経営A・経営B	通年	4	小田匡保	425
応用地理学	経営A・経営B	通年	4	高木正博	426
現代地理学特論	経営A・経営B	通年	4	佐藤哲夫	426
日本仏教史	経営A・経営B	通年	4	松本信道	427
日本史特講Ⅶ〔近代〕	経営A・経営B	通年	4	熊本史雄	427
哲学史	経営A・経営B	通年	4	山口祐弘	428
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕	経営A・経営B	通年	4	杉山清彦	428
考古学特講Ⅲ	経営A・経営B	通年	4	設楽博己	429
西洋文化史	経営A・経営B	通年	4	石田恵子	429
産業・職業社会学	経営A	通年	4	小川慎一	430
マス・コミュニケーション論	経営A	通年	4	休講	
社会福祉発達史	経営A・経営B	通年	4	休講	

他学部履修科目

履修科目
他学部

農業政策	経営A・経営B	通年	4	溝手芳計	431
中国経済論	経営A・経営B	通年	4	田中祥之	432
アメリカ経済論	経営A・経営B	通年	4	瀬戸岡紘	432
EU統合論	経営A・経営B	半期	2	清水卓	433
現代西欧経済論	経営A・経営B	半期	2	清水卓	434
ロシア・東欧経済論	経営A・経営B	通年	4	山縣弘志	435
貿易論	経営A・経営B	通年	4	古沢紘造	436
西洋法制史	経営A・経営B	通年	4	北野かほる	437
英米法	経営A・経営B	通年	4	北野かほる	438
経済法	経営A・経営B	通年	4	若林亜里砂	439
国際政治学	経営A・経営B	通年	4	小堀訓男	439
ヨーロッパ政治史	経営A・経営B	通年	4	浦田早苗	440
地方自治法	経営A・経営B	通年	4	富井幸雄	440
比較政治学	経営A・経営B	通年	4	三竹直哉	441
現代国家論	経営A・経営B	通年	4	大塚桂	442
比較憲法	経営A・経営B	通年	4	館田昌子	443
医療宗教学	経営A・経営B	半期	2	吉津宜英	444
医療経済学	経営A・経営B	半期	2	永山くに子	445
メディア・コミュニケーション概論	経営A・経営B	半期	2	西岡洋子	446
ネットワークコミュニケーション論	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
情報メディア産業論I	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
比較メディア制度論	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
都市とメディア	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバルアート政策論	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバル創造都市論	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
情報保護と社会	経営A・経営B	半期	2	[19年度開講予定]	
映像コンテンツ論	経営A・経営B	半期	2	[20年度開講予定]	
メディアと知識論	経営A・経営B	半期	2	[20年度開講予定]	
女性史	経営A・経営B	通年	4	休講	
文化概論	経営A・経営B	通年	4	休講	
国文学特殊研究	経営A・経営B	通年	4	休講	
古典戯曲演劇	経営A・経営B	通年	4	休講	
メディアと表現	経営A・経営B	通年	4	休講	
時事英語	経営A・経営B	半期	4	岡本誠	447

科目名	担当者名
禅学概論	石井修道

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円
 『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円
 『禅学大辞典』（大修館書店）
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣出版）

履修科目

科目名	担当者名
中国禅宗史	石井修道

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭鴻山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名

担当者名

日本禅宗史

佐藤秀孝

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、登山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目
他学部

科目名

担当者名

禅籍講読Ⅰ

程正

講義のねらい

禅学特講Ⅰは、中国初期禅宗における祖統説の変遷という角度から、その成立の歴史を講義するものである。祖統説とは、禅僧たちが主張する釈尊より自身に及んだ正法の伝承系譜のことで、今日では西天（＝インド）二十八祖、東土（＝中国）六祖説がその定説となっている。しかし、初期禅宗には様々な宗派があり、それらの宗派に所属する禅僧達は、自派を優位に立たせるために様々な祖統説を主張していたのである。本講義では、初期禅宗文献を用いて、こうした様々な祖統説の出現の背景に留意しながら、それらの内容を吟味することによって、中国禅宗の成立の歴史にアプローチしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

敦煌遺書から出現した初期禅宗文献を主とし、これに『全唐文』などに収録されている伝世資料を織り交ぜながら進んでいきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。前後に関連性の強い内容構成となっているので、欠席しないことが重要。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出発点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点、および数回のレポート(または小テスト)によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は必要に応じて紹介する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名
インド仏教文化史	金沢篤

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名

担当者名

中国仏教文化史

なが い まさ し
永 井 政 之

講義のねらい

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。普庵印肅への信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教科書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参考書等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
その他、適宜指示します。

他履修
学部科目

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
 - 1 文化構造の解釈
 - 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 - 1 呉音漢音と文化
 - 2 美術中の仏教観
 - 3 自利利他の問題
 - 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 - 1 大仏建立の理念
 - 2 学問仏教の実際
 - 3 勧進聖と修験道
 - 4 仏教と神祇信仰
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 - 1 大乘戒壇の設立
 - 2 一乗三乗の論争
 - 3 密教と祈禱仏教
 - 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
 - 1 浄土信仰の諸相
 - 2 法華信仰の諸相
 - 3 禅宗と五山文学
 - 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 - 1 鉄砲と吉利支丹
 - 2 幕府の宗教政策
 - 3 江戸文化と仏教
 - 4 維新と廃仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
 - 1 近代より現代へ
 - 2 戦後と民主主義

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名	担当者名
中国古典語初級	吉村誠

講義のねらい

仏典の講読を通じて漢文（中国古典語）の基本を修得する。周知のように東アジア地域では漢訳された仏典が聖典とされ、仏教の思想や歴史が漢文によって記された。その集大成である漢訳大蔵経は、インドその他の地域の仏教を研究する上でも不可欠な資料である。すなわち、漢文を正確に読めるようになることは、仏教研究の第一歩であるといえるだろう。講義では、漢文の読み方を基礎レベルから解説し、学生諸君が自力で仏典を読めるように指導してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説した後、中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』を講読する。同経は平明な内容でありながら、巧みな比喻で仏教のエッセンスを説いた麗しい経典である。

履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。

教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名
中国哲学史	前川亨

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を教授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、中国哲学史の前半（先秦時代から唐代まで）を扱う。儒教・仏教・道教それぞれが、中国の社会の中でいかなる位置を占めたのかを考えることが中心となる。

履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで、欠席しなければならない場合には、事前に申し出ること。欠席が余りに目立つ場合、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらう。

教科書

特に必要としない。プリント等を資料として配付する。

参考書等

授業内に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めていくこととしたい。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	担当者名
上代文学研究Ⅰ	中嶋真也

講義のねらい

本講義では、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」などの景物を軸として、それらがどのような表現をなしているのかを見ていくことにしたい。また、『万葉集』歌の時期区分にも留意し、『万葉集』内での表現史も考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。
 その上で、一つの景物をどのように詠んでいるのかを、検証していく。具体的には、前期は「桜」の歌を中心に、後期は「雪」の歌を中心に読解していきたい。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

他
履修
科目
部

科目名	担当者名
中古文学研究Ⅰ	松岡智之

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
 ②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名

担当者名

中世文学研究 I

櫻井陽子

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の巻九の一ノ谷合戦の後の平家公達の去就を描く諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみ、また、戦功を求める合戦の状況などを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻九の位置づけ。
- 12～ 『平家物語』巻九の諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

履修科目
他学部

科目名

担当者名

近世文学研究 I

近衛典子

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名
近代文学研究 I	榎本正樹

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笠野頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。今年度の授業では、小特集的なテーマを設定する予定です。その一つとして、島本理生、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、三並夏、三浦しをんなど、いわゆる「現代女子(系)文学」についての考察を予定しています。また、現代日本文学を原作とするいくつかの映画作品を鑑賞し、原作と映画を比較分析する授業を行う予定です。榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

他学部
履修科目

科目名	担当者名
比較文学	木村朗子

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心に課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
西洋思想史	柴野博子

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です（6・7月）。
後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デイルタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
演劇概論	森井直子

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明（2回）
 - 2、明治40年代の演劇（2回）
 - 3、日本近代戯曲の模索（2回）
 - 4、大正戯曲の時代（2回）
 - 5、築地小劇場（2回）
 - 6、政治と演劇（2回）
 - 7、まとめ（1回）
- 後期
- 1、戦後新劇の活動（2回）
 - 2、小劇場運動の隆盛—1960年代（2回）
 - 3、小劇場運動の展開—1970年代（2回）
 - 4、私さがしとメタシアター—1980年代（2回）
 - 5、静かな演劇—1990年代（2回）
 - 6、今日の演劇（1回）
 - 7、まとめ（1回）

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

他履修科目
学部

科目名	担当者名
日本民俗学	谷口 貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他
修
学
科
目
部

科目名	担当者名
イギリス文学特講 I	石原 孝哉

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名

担当者名

イギリス文学特講Ⅱ

たかのまほ
高野正夫

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

履修科目
他学部

科目名

担当者名

イギリス文学特講Ⅲ

おかざきとしちろう
岡崎寿一郎

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernity という言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅳ	川崎明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説の特徴と当時の文化と社会について知識を得ることを目的とします。小説については、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の代表的な作品を取り上げます。並行して、これらの作品が出版された当時の歴史的背景について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を読んだ上で臨んでください。

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験に加え、授業中の発言およびディスカッション等の内容により総合的に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅴ	富士川義之

他
履修
科目
部

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

講義のねらい

外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考え方には錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論を整理することです。

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考の精確さが求められます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあつて、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素、作品テキストの機能、作品テキストの力について
- 5) さまざまな批評方法について
 - ・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- 1) R. Scholes "Elements of fiction" (英宝社)
- 2) プリント使用：多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

随時指示します。

科目名**担当者名**

アメリカ文学特講Ⅰ

あずま
東あらいちろう
雄一郎**講義のねらい**

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

他
学
部
履
修
科
目**科目名****担当者名**

アメリカ文学特講Ⅲ

あし
足だ
田かず
和ひと
人**講義のねらい**

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるとも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名

担当者名

演劇特講(イギリス・アメリカ)

おち あい かず あき
落 合 和 昭

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-)、Harold Pinter (1930-)、等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

科目名

担当者名

時事英語

サンダース, L. P.

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

他履修科目
学部

科目名	担当者名
人口地理学	山内昌和

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔人口分析の基礎〕 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因
- 〔人口移動の概念とデータ〕 人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔世帯の分析〕 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
- 〔日本国内の人口移動〕 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕 地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕 将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名
文化地理学	小田匡保

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
応用地理学	高木正博

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 濁水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末(授業最終日)に実施予定の教場試験1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部履修科目

科目名	担当者名
現代地理学特論	佐藤哲夫

講義のねらい

東南アジアの環境問題や地域問題について知ると同時に、地形図やリモートセンシング画像を利用して、海外地域を調査する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

タイなどを題材にして講義を行います。地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの実習的な作業課題も課します。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

課題の提出(50%)と前期末・後期末の試験(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。

科目名	担当者名
日本仏教史	松本信道

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	担当者名
日本史特講Ⅶ(近代)	熊本史雄

他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	担当者名
哲学史	山口祐弘

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名
東洋史特講Ⅲ(近代史)	杉山清彦

履修科目
他学部

講義のねらい

アジアの近世・近代は、一面において、16～17世紀に形成された諸帝国が18～19世紀に変容していく過程であり、近現代における地理的・文化的枠組や住民構成も、この過程で形づくられていった。本講義では、ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国（清朝）を対象とし、その統治機構と支配構造を、時系列的な中華王朝の系譜としてではなく、比較史の観点から同時代ユーラシア各地域の諸帝国と対比しつつ検討する。それによって、大清帝国の特質を中国史とは異なる観点から浮き彫りにするとともに、近現代における中国はじめとしたアジア諸地域の命運の分岐にも新しい視点を提示する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 大清帝国の形成・発展過程
 2. 大清帝国の統治機構と支配構造
 - ・八旗制の支配構造
 - ・帝国の統合と支配：皇帝のいくつもの顔
 3. ユーラシア近世帝国としての大清帝国
 - ・オスマン朝・サファヴィー朝・ムガル朝の支配体制
 - ・武家政権としての大清帝国・江戸幕府
- 結 ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。参考書は適宜紹介する。

科目名	担当者名
考古学特講Ⅲ	設楽博己

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品をとりあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味するところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名
西洋文化史	石田恵子

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名

担当者名

産業・職業社会学

小川 慎一

講義のねらい

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本の雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。
- | | |
|-----------------|--------------------|
| 前期 | 後期 |
| ①イントロダクション | ①前期分の小テスト |
| ②若者と仕事（第7章） | ②技術革新と仕事の変化（第3章） |
| ③年功制の変化と実態（第1章） | ③女性の就業構造（第4章） |
| ④長期安定雇用（第1章） | ④雇用形態の多様化（第9章） |
| ⑤失業と転職（第5章） | ⑤ライフスタイルと就業意識（第6章） |
| ⑥労働組合（第11章） | ⑥ライフスタイルと生活時間（第8章） |
| ⑦労力開発（第2章） | ⑦仕事からの引退（第10章） |
| ⑧中間まとめ | ⑧最終まとめ |

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席（30点）＋小テスト（20点）＋最終テスト（40点）＋発言（10点）。

教科書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』（有斐閣）2004年 2,000円＋税 ISBN4-641-18313-9

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式だが、受講者の発言を求めし出席もとる。レジュメを配布するが板書もする。

履修科目
他学部

科目名**担当者名**

農業政策

溝手芳計

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

履他
修学
科目
部

科目名**担当者名**

中国経済論

田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないのでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

他履修科目

科目名**担当者名**

アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年
グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

科目名	担当者名
EU統合論	清水卓

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EU は、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU 憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EU は大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III. EU の制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV. EU の政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) リスボン戦略 (4) 共通農業政策 (5) 欧州社会モデル

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

他
学
部
履
修
科
目

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科目名**担当者名**

現代西欧経済論

清 水 卓しみず たく**講義のねらい**

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU 中核国独仏英の経済 (3) EU の地中海諸国 (4) EU 中東欧諸国の経済・社会

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

その他

選択科目ですから EU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

他履修科目
学部

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名

担当者名

英米法

きたの
北野かほる

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名
経済法	わか ぼやし ありさ 若 林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジユメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修科目
他学部

科目名	担当者名
国際政治学	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名

担当者名

ヨーロッパ政治史

浦田 早苗

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかには時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修科目
他学部

科目名

担当者名

地方自治法

富井 幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名

担当者名

比較政治学

三竹直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることがあります。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

他
履修
科学
科目
部

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

その他

この文章は2005年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。

<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名

担当者名

現代国家論

大塚 桂

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳令
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

履修科目
他学部

講義のねらい

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジュメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジュメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

科目名

担当者名

医療宗教学

よし す よし ひで
吉 津 宜 英

講義のねらい

宗教学とは通常世界の多様な宗教を様々な方法論を用いて分析し、その実態や機能を論究する学問である。他の学問分野と関連づける場合、宗教社会学・宗教心理学・宗教教育学等という具合になるのが慣例である。当該科目が宗教医療学とならないで、医療宗教学となっているのは何故であろうか。これは医療に関して宗教学的考察を行うのではないからである。むしろ医療的な視点から宗教を問うという方が良い。医療的な視点とは何か。それは科学技術の医学的理論と応用の世界である。その世界には科学的人間観が貫徹する。その人間観はキリスト教的な真理観に対抗して現れた人間機械論にも通じる。医療に当たる人は科学的な真理や技術に親しく、科学的な人間観を持ちやすいから、一方で哲学的・宗教的人間観の存在にも通暁することが求められる。医療行為が生な人間関係、人間観相互の葛藤・交流の場に他ならないからである。医療に従事する人が宗教を問い、宗教に関する正しい知識を持つことは、その人間観を広げる。医療宗教学は医療の世界に関わる人々にあえて宗教・人間・自己を問いかけてもらう教材を示し、共に認識を深め合うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず様々な人間観を提示する。医療の世界がどのような人間観に支えられているかを考えてみる。その有効性と問題性も取り上げる。科学や医療の発達は宗教の必要性を認めなくなるとい議論もある。そこまで宗教を追いつめてみる。仏教・キリスト教・イスラムなどの世界の三大宗教や日本の神道などの多神教的民族宗教は医療の世界に貢献できる面があるのか、この問いに答えるための教材を提示することが講義内容となる。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

履修科目
他学部

科目名

担当者名

医療経済学

なが
永 山 くに子

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 錫田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川瀬孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① イントロダクション：コミュニケーションとメディア
 - (ア) メディアの多様化
 - (イ) コミュニケーション・モデルとコミュニケーションの種類
- ② 個人レベルのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 人と人とのコミュニケーション
 - (イ) 生活におけるメディア
 - (ウ) 電話コミュニケーション
- ③ グループのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 企業内
 - (イ) コミュニティ内
 - (ウ) 集団行動・社会運動
- ④ マス・コミュニケーションとメディア
 - (ア) マス・コミュニケーションとメディア
- ⑤ グローバル時代のコミュニケーションとメディア
 - (ア) 国際コミュニケーションとメディア
 - (イ) 情報化社会のコミュニケーションとメディア
 - (ウ) インターネットのコミュニケーション
- ⑥ まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、講義中の小テスト、出席による。

教科書

適宜指定。

参考書等

『情報通信白書』 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/index.html>
 船津衛（著）『コミュニケーション入門』（有斐閣アルマ）
 池田謙一（著）『コミュニケーション：社会科学の理論とモデル』（東京大学出版）

科目名**担当者名****時事英語****岡本 誠****講義のねらい**

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

**他
学
部
履
修
科
目**

他履
学修
部科目

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

〔日本事情〕
〔日本語〕

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	経営 A	半期	1	吉田 藤子	453
日本語入門Ⅰ b	経営 A	半期	1	吉田 藤子	453
日本語入門Ⅱ a	経営 A	半期	1	吉田 藤子	454
日本語入門Ⅱ b	経営 A	半期	1	吉田 藤子	454
日本語Ⅰ a	経営 A	半期	1	佐野 典子	454
日本語Ⅰ b			1		
日本語Ⅰ a	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	455
日本語Ⅰ b	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	455
日本語Ⅱ a	経営 A	半期	1	佐野 典子	455
日本語Ⅱ b			1		
日本語Ⅱ a	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	456
日本語Ⅱ b	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	456
日本語Ⅲ a	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	456
日本語Ⅲ b	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	457
日本語Ⅲ a	経営 A	半期	1	湯村 礼子	457
日本語Ⅲ b			1		
日本語Ⅳ a	経営 A	半期	1	石川 守	458
日本語Ⅳ b	経営 A	半期	1	石川 守	458
日本語Ⅳ a	経営 A	半期	1	湯村 礼子	459
日本語Ⅳ b	経営 A	半期	1	湯村 礼子	459
日本語Ⅴ a	経営 A	半期	1	石川 守	460
日本語Ⅴ b	経営 A	半期	1	石川 守	460
日本語Ⅴ a	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	461
日本語Ⅴ b	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	461
日本語Ⅵ a	経営 A	半期	1	石川 守	461
日本語Ⅵ b	経営 A	半期	1	石川 守	462
日本語Ⅵ a	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	462
日本語Ⅵ b	経営 A	半期	1	多田 羅哲子	462

「日本語」
「日本事情」

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	経営 A	半期	2	高橋 健太郎	463
日本事情Ⅱ〔自然〕	経営 A	半期	2	清水 善和	464
日本事情Ⅲ〔歴史〕	経営 A	半期	2	浅倉 直美	465
日本事情Ⅳ〔思想〕	経営 A	半期	2	菅原 光	465
日本事情Ⅴ〔社会〕	経営 A	半期	2	坪井 健	466
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	経営 A	半期	2	三竹 直哉	467
日本事情Ⅶ〔文学〕	経営 A	半期	2	勝原 晴希	467
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	経営 A	半期	2	菅原 光	468
日本事情Ⅸ〔経済〕	経営 A	半期	2	小林 正人	468
日本事情Ⅹ〔経営〕	経営 A	半期	2	羽鳥 茂	469

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名
日本語入門 I a	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よし だ ふき こ 吉 田 蔭 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よし だ ふき こ 吉 田 蔭 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方や、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語Ⅰ a	き の り こ 佐 野 典 子
日本語Ⅰ b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰa	多田羅 哲 子

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰb	多田羅 哲 子

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅱa	佐野 典子
日本語Ⅱb	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅱ a

たたらあきこ
多田羅 哲子

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
 テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅱ b

たたらあきこ
多田羅 哲子

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

日本語
日本事情**科目名****担当者名**

日本語Ⅲ a

たたらあきこ
多田羅 哲子

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲb	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲa	湯村礼子 <small>ゆむら れいこ</small>
日本語Ⅲb	

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ aに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳ aの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳ aの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	課題作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅴa

いし かわ 守
石 川 守**講義のねらい**

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名**担当者名**

日本語Ⅴb

いし かわ 守
石 川 守**講義のねらい**

日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅴaの続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅴaと同じです。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし かわ まもる 石 川 守

講義のねらい	日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の中間部分後半になります。
履修上の留意点	この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た た ら あき こ 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た た ら あき こ 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本事情 I〔地理〕

たかほしけんたろう
高橋 健太郎

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する（漢字にはできるだけ読みがなをつける）。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさ くら なお み 浅 倉 直 美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら ひろる 菅 原 光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
 2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
 3. 徳川初期の思想と儒教
 4. 日本における朱子学批判
 5. 国学とナショナリズム
 6. 西洋の衝撃
 7. 明治思想
 8. まとめ
- 授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

「日本語」
「日本事情」

科目名**担当者名**

日本事情Ⅴ〔社会〕

つばい 健

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動 1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動 2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情 1－講義－
5. 地域社会の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情 3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情 1－講義－
8. 学校教育の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情 3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情 1－講義－
11. 高齢社会の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情 3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度（60％）＋課題レポート（40％）

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉 <small>み たけ なお や</small>

講義のねらい	日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎議会制民主主義 ◎三権分立と二院制 ◎天皇 ◎選挙制度 ◎政党と派閥 ◎ナショナリズム ◎安全保障 ◎マイノリティ
履修上の留意点	出席と授業参加を重視します。
成績評価の方法	平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。
教科書	指定する予定はありません。
その他	I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	勝原晴希 <small>かつ ほう はる き</small>

講義のねらい	本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどういう点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。
成績評価の方法	出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	授業時に紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	すがわら ひかる 菅原 光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅸ〔経済〕	こばやし まさと 小林 正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』(岩波新書)2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅹ〔経営〕	はとり 茂 羽鳥 茂

講義のねらい	1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。
成績評価の方法	出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。
教科書	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。
参考書等	適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。
その他	講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

「日本語」
「日本事情」

〔日本事情〕
〔日本語〕

経営学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

宗教教育

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経営B1必	通年	4	四津谷孝道	479
仏教と人間〔再クラス〕	経営B2・3・4年				
仏教と人間	経営B1必	通年	4	程正	480
仏教と人間〔再クラス〕	経営B2・3・4年				
仏教と人間〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	4	熊本英人	480
仏教と人間〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	4	松本史朗	481
仏教と人間〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	4	村松哲文	481

宗教教育

科目名	担当者名
仏教と人間	よつや こう どう 四津谷 孝 道
仏教と人間〔再クラス〕	

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教
 仏教と科学
 仏教と他の宗教
 喩えて語る仏教（1）
 喩えて語る仏教（2）
 縁起・苦・無我
 慈悲
 輪廻と解脱（業について）
 輪廻と解脱（差別思想について）
 仏教以前のインドの宗教（歴史）
 仏教以前のインドの宗教（思想）
 仏陀の伝記（誕生から出家まで）
 仏陀の伝記（悟りと伝道）
 仏陀の伝記（涅槃）
 部派仏教の歴史と思想
 インド仏教（大乘仏教の歴史）
 インド仏教（大乘仏教の思想）
 チベット仏教（転生ラマについて）
 チベット仏教（密教）
 中国仏教（浄土思想）
 中国仏教（禅仏教）
 日本仏教（歴史）
 日本仏教（思想）（1）
 日本仏教（思想）（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	担当者名
仏教と人間	てい せい
仏教と人間〔再クラス〕	程 正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
 宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・部派仏教の思想・大乘仏教思想の展開・仏教東漸(インドから中国へ)・中国仏教の展開・中国禅宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禅の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人

宗教教育

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	むらまつ てつふみ 村松哲文

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	経営B・経営A選	通年	4	田中かの子	487
文学〔日本文学「古典」〕	経営B・経営A選	通年	4	田中伸作	487
文学〔日本文学「近代」〕	経営B・経営A選	通年	4	中西亮太	488
歴史学(1)〔日本近代史〕	経営B・経営A選	通年	4	林彰	488
歴史学(2)〔中国史概観〕	経営B・経営A選	通年	4	小林惣八	489
歴史学(3)〔アジア史概観〕	経営B・経営A選	通年	4	小林惣八	489
哲学〔西洋思想の源流〕	経営B・経営A選	通年	4	滝沢正之	489
哲学〔近代の人間観と世界観〕	経営B・経営A選	通年	4	伊古田理	490
哲学〔現代文明と人間〕	経営B・経営A選	通年	4	鈴木聡	490
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経営B・経営A選	通年	4	伊古田理	491
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経営B・経営A選	通年	4	麻生享志	491
倫理学〔現代と倫理〕	経営B選	通年	4	古田知章	492
倫理学〔人生と倫理〕	経営B選	通年	4	末木恭彦	492
教育の思想	経営B・12以降入学生／経営A 2選	半期	2	山本敏子	493
教育と社会	経営B・12以降入学生／経営A 2選	半期	2	山本敏子	493
発達と学習の心理学	経営B・12以降入学生／経営A 2選	半期	2	三國隆子	494
カリキュラムと学習	経営B・12以降入学生／経営A 2選	半期	2	三國隆子	494

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学・憲法〔法と権利〕	経営B・経営A選	通年	4	鷓徳啓登	495
法学・憲法〔法と社会生活〕	経営B・経営A選	通年	4	長谷川日出世	495
社会科学論〔社会認識の思想〕	経営B・経営A選	通年	4	枝松正行	496
社会学〔現代社会を考える〕	経営B・経営A選	通年	4	呉炳三	497
社会学〔現代文化を考える〕	経営B・経営A選	通年	4	橋爪敏	497
統計学〔社会現象の統計的決定〕	経営B・経営A選	通年	4	新行内康慈	498
文化人類学〔文化と人間〕	経営B・経営A選	通年	4	川上新二	498
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	経営B・経営A選	通年	4	杉井純一	499
政治学〔政治システムと政治参加〕	経営B・経営A選	通年	4	真下英二	500
政治学〔国際社会と日本〕	経営B・経営A選	通年	4	山村恒雄	500

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	経営B・経営A選	通年	4	鈴木順一	501
心理学(2)〔人間関係を考える〕	経営B・経営A選	通年	4	鈴木順一	502
生物学〔生態と進化〕	経営B・経営A選	通年	4	清水善和	503
生物学〔生物と環境〕	経営B・経営A選	通年	4	中村敏枝	504
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	経営B・経営A選	通年	4	加藤潔	505
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	経営B・経営A選	通年	4	篠原正雄	506
自然環境論〔生命と環境〕	経営B・経営A選	通年	4	中村敏枝	507
情報数学〔情報と論理〕	経営B・経営A選	通年	4	小沢誠	508

教養教育

科目名	担当者名
宗教学〔比較宗教文化〕	田中かの子

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する夏休みのレポート、後期最終授業日に配布予定のガイダンスにもとづいて準備できる学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕	田中伸作

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名

担当者名

文学〔日本文学〔近代〕〕

中西亮太

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」（斎藤史『魚歌』）

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫）
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社）
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名

担当者名

歴史学（1）〔日本近代史〕

林 彰

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』（粹出版）2,000円

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学(2)〔中国史概観〕	小林 惣八

講義のねらい	中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
歴史学(3)〔アジア史概観〕	小林 惣八

講義のねらい	ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之

講義のねらい	西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。 ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。 本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感していけたら、と考えている。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定。適宜プリントで内容の補足を行う。
履修上の留意点	教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

科目名**担当者名**

哲学〔近代の人間観と世界観〕

伊古田 理

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「人間」について検討する。われわれ人間（特に、現代の人間）は、自分自身をどのように理解しているのか、その自己理解はどのような変遷をたどり、どのような意義と問題点をかかえているか、解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名**担当者名**

哲学〔現代文明と人間〕

鈴木 聡

講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下の諸問題を取り上げる予定である。

1. 懐疑論
2. 他人の心
3. 心身問題
4. 言葉の意味
5. 自由意志
6. 正と不正
7. 正義
8. 死
9. 人生の意味

履修上の留意点

原則として欠席は認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系 I～命題論理 (3) 公理系 II～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享 志 <small>あさ お たか し</small>

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60%）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名

担当者名

倫理学〔現代と倫理〕

ふるたともあき
古田知章

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言う、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上立って、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 ー倫理的であることー
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 ー個としての人間ー
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 ー主体性と自由の問題ー
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名

担当者名

倫理学〔人生と倫理〕

すえきやすひこ
末木恭彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ていた。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のリポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
教育の思想	山本敏子

講義のねらい

今日の学校教育が抱える様々な矛盾を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。

- ・日本の基層文化に流れる教育の思想
- ・近世の表層文化に現れた教育の思想
- ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書については初回の授業で指示します。また、必要に応じて資料を配布する予定です。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	山本敏子

講義のねらい

近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。

- ・「家」が未成立の社会と教育システム
- ・「家」社会の形成と教育システム
- ・「家」の解体と近代学校システムの稼働

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	三國隆子

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（１）動機づけ理論
- ・意欲と学習（２）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	三國隆子

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（１）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（２）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

けい とく ひろ とう
鶏 徳 啓 登

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

は せ が わ ひ で よ
長谷川 日出世

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

教養教育

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名**担 当 者 名**

社会科学論〔社会認識の思想〕

えだ まつ まさ ゆき
枝 松 正 行**講義のねらい**

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の間中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教 科 書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参 考 書 等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

そ の 他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名
社会学〔現代社会を考える〕	お 呉 炳 三 お びん さん

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。
また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：
I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本的行為論
II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、(5) 日本的集団論
(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：
(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など
以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名
社会学〔現代文化を考える〕	はし 橋 爪 敏 はし づめ せい

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

教養教育

科目名

担当者名

統計学〔社会現象の統計的決定〕

新行内 康 慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
 (16) 正規母集団の区間推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検点
 (19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定
 (21) その他の推定・検定 (22) 演習 (23) 散布図と相関係数
 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）
 永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名

担当者名

文化人類学〔文化と人間〕

川上 新 二

講義のねらい

文化人類学は、世界各地の人々がつさまざまな文化の考察を通じて、人間とは何かを考える学問です。ここでいう文化とは私たちが伝統的に受け継いできた生活習慣をいいますが、生活習慣は各地域や民族で異なります。自分たちの生活習慣が標準的なものであり、それと異なるものは「異常なもの」「変なもの」と見えてしまうと、私たちを含む人間というものを総合的にとらえることができなくなってしまいます。この講義では、世界のさまざまな文化を客観的に見る視座を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の概要について紹介します。①文化人類学の立場と内容、②文化とは何か、③文化の性質、④異文化と自文化などについて講義します。
 後期は、文化の理解の具体例として、日本、韓国・朝鮮、中国の諸文化をとりあげて考察します。特に①婚姻、②家族、③親族などをとりあげ、各文化の共通性と特殊性について考察します。

履修上の留意点

やむを得ない事情で欠席する（欠席した）場合は、欠席届（形式は任意）を提出してください。

成績評価の方法

年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。

教科書

教科書は用いません。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4～5回程度)。

科目名

担当者名

政治学〔政治システムと政治参加〕

真下英二

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。
秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。
また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

科目名

担当者名

政治学〔国際社会と日本〕

山村恒雄

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。
1 ウェストファリア体制の形成
2 近代の国際政治
3 地球的問題群
4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
5 冷戦と核兵器
6 食糧問題
7 環境破壊と持続可能な開発
8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

教養教育

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達心理学
[後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理 (9～10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16～17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係 (20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名**担当者名**

生物学〔生物と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝**講義のねらい**

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(前期) 生物の生活

(1-5) 地球の歴史と生命の期限

(6-13) 生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ

(14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染

(22-23) 水銀汚染と水俣病

(24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名**担当者名**

地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕

加藤 藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に2回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めません。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』(培風館) 2,100円+税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名**担当者名**

自然環境論〔生命と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝**講義のねらい**

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- (前期) 人間の活動と自然環境
(1-6) 自然のしくみ
(7-12) 自然の改変食をめぐる問題
(13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
(19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
(23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名**担当者名**

情報数学〔情報と論理〕

小沢 誠

講義のねらい

点と点どうしを辺で結んだものをグラフという。例えば、人を点とみなし、知り合いであるとき辺で結ぶとグラフができる。同様に、地下鉄の路線図、インターネット、化学分子式、プリント基板回路、脳の神経回路、生態系などもグラフとみなすことができる。このように、物と物の繋がり方のみを抽出して得られるネットワークの性質を研究するのがグラフ理論である。

この講義では、将来どの分野に進んでも役に立つようなグラフ理論を身に付けることを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期に、グラフ理論の基礎・グラフの彩色・回路とサイクル・極値問題・数え上げを学ぶ。後期に、ラベル付きグラフ・応用とアルゴリズム・グラフの図・平面性への近さの測定・曲面上のグラフを学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席・レポートも考慮する。

教科書

N. ハーツフィールド/G. リンゲル=共著、鈴木晋一=訳『グラフ理論入門数理科学ライブラリ(2)』(サイエンス社) 2,500円+税

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	経営B1年	通年	2	佐藤アヤ子	515
英語ⅠA	経営B1年	通年	2	高橋佳江	515
英語ⅠA	経営B1年	通年	2	落合和昭	516
英語ⅠA	経営B1年	通年	2	丸小哲雄	516
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	経営B1年	通年	2	町田成男	517
英語ⅠB	経営B1年	通年	2	佐々木隆	518
英語ⅠB	経営B1年	通年	2	今井夏彦	518
英語ⅠB	経営B1年	通年	2	樋渡俊光	519
英語ⅠB	経営B1年	通年	2	北村弘文	519
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	経営B1年	通年	2	狩野晃一	519
英語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	大淵利春	520
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	520
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	521
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	熊沢和明	521
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	本間俊一	522
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅡA	経営B2年	通年	2	芝田興太郎	523
英語ⅡA	経営B2年	通年	2	大淵利春	523
英語ⅡA	経営B2年	通年	2	川崎浩太郎	524
英語ⅡA	経営B2年	通年	2	吉川直澄	524
英語ⅡB	経営B2年	通年	2	芝田興太郎	525
英語ⅡB	経営B2年	通年	2	落合和昭	525
英語ⅡB	経営B2年	通年	2	北村弘文	526
英語ⅡB	経営B2年	通年	2	林孝憲	526
英語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	萩原輝	526
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	岸本茂和	527
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	尾形重政	527
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	甲斐捷子	528
英語ⅡB〔再クラス〕					

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	経営B1年	通年	2	清水修	529
ドイツ語ⅠB	経営B1年	通年	2	篠原敏昭	529
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	南はるつ	530
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕					

ドイツ語ⅡA	経営B2年	通年	2	清水修	530
ドイツ語ⅡB	経営B2年	通年	2	篠原敏昭	531
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	岡本時子	531
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	経営B1年	通年	2	高橋明美	532
フランス語ⅠB	経営B1年	通年	2	木下雄介	532
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	長谷川光明	533
フランス語ⅠB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA	経営B2年	通年	2	高橋明美	533
フランス語ⅡB	経営B2年	通年	2	木下雄介	533
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	長谷川光明	534
フランス語ⅡB〔再クラス〕					

〔中国語〕

中国語ⅠA	経営B1年	通年	2	秋元翼	535
中国語ⅠB			2	王聡	
中国語ⅠA	経営B1年	通年	2	塩旗伸一郎	536
中国語ⅠB			2	上原かおり	
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	大久保明男	536
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	曹泰和	537
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA	経営B2年	通年	2	東映全	537
中国語ⅡB	経営B2年	通年	2	王聡	537
中国語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	弘兼加奈子	538
中国語ⅡB〔再クラス〕					

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	経営B1年	通年	2	大岩功	539
スペイン語ⅠB	経営B1年	通年	2	大岩功	539
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	540
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA	経営B2年	通年	2	荻野雅司	540
スペイン語ⅡB	経営B2年	通年	2	中山直次	541
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経営B3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	541
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	経営B1年	通年	2	廣田英靖	542
ロシア語ⅠB	経営B1年	通年	2	廣田英靖	542
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経営B2・3・4年	通年	2	杉山秀子	543
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA	経営B2年	通年	2	廣田英靖	543
ロシア語ⅡB	経営B2年	通年	2	廣田英靖	544

ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経営B 3・4年	通年	2	杉山秀子	544
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					

《選択科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英会話Ⅰ	経営B 1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	545
英会話Ⅱ	経営B 1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	545
英語LLⅠ	経営B 1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	546
英語LLⅡ	経営B 1・2・3・4選	通年	2	狩野晃一	546

外
國
語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	佐 藤 アヤ子

講義のねらい

英語で書かれた E メールを読み、自分でも書くという練習をします。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストにそって授業を進めます。E メール独得の表現法なども学びます。

履修上の留意点

授業のはじめに前回学んだことについて10分程度のテストを毎週行ないます。

成績評価の方法

平常点と前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

『はじめての E メール英作文』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17321-4 C0082

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	高 橋 佳 江

講義のねらい

基本的な英文法を学びなおすことにより、平易な文から、より高度な文章まで読めるようになることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法問題と長文読解

履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。辞書は必携

成績評価の方法

平常点、前・後期試験結果が60点以上の者(出席日数が、全授業の2/3以上の者のみ受験可)を合格とする。

教 科 書

授業時に指定

外
国
語

科目名

担当者名

英語 I A

おち あい かず あき
落 合 和 昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10数回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『エブリデイ・トークーやさしい会話作文』（朝日出版社）1,700円
ISBN4-255-15344-2 C1082
- 2) 『5分間口語英語表現』（南雲堂）
- 3) プリント

科目名

担当者名

英語 I A

まる こ てつ お
丸 小 哲 雄

講義のねらい

日常生活環境と経済を中心とした、時事問題も含めた英語学習を目指し、文法と読解力の涵養を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングは総合理解として、英文法を併合したリーディングによって精確な読み込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- リーディング・テキスト：『ライフサイエンスとニュービジネス』（南雲堂）
ISBN4-523-17498-9
リスニング・テキスト：『12 Great Hit Songs 5: Listening Workbook』（英宝社）

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

外国語

科目名

担当者名

英語 I A〔基礎英語特別クラス〕

まち だ しげ お
町 田 成 男

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

外国語

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	佐々木 隆 <small>ささき たかし</small>

講義のねらい

英文によって、日本文化を理解しながら、Reading and Listening Comprehension を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると同時に、Listening Comprehension の場合、聞きながら文章を把握します。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

授業内の試験、レポート等を総合的に評価します。

教 科 書

『THINGS JAPANESE IN ENGLISH』(マクミランランゲージハウス) 1,600円
ISBN4-89585-172-9 C3082

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	今井 夏彦 <small>いま い なつ ひこ</small>

講義のねらい

アメリカの東海岸に関するエッセイを通して英語の読解力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを精読すると同時に、各章に関連するアメリカの歴史や文化の解説をし、簡単なリスニングの練習もします。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

日常点を重視し、前期と後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

『アメリカ東海岸探訪』(成美堂) 1,700円
ISBN4-7919-4041-5

科目名	担当者名
英語 I B	樋 渡 俊 光 <small>ひ わたり しゅん こう</small>

講義のねらい 国際人としての英語力を身につけるため、まず英語に興味を持たせる事を目標に授業を展開していきます。まず日本人のまちがえやすい発音の修正から、英語に対する自信をもたせる指導から始めます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読みすすめると同時に、副教材として英字新聞記事、経済に関する基本的英語文章を読む事によって、日本人と外国人の発想のちがいを学ぶ事により英語の修得をはかります。

履修上の留意点 辞書持参・予習を原則とします。

成績評価の方法 日常の発表や授業態度を重視し、レポート提出、前後期の試験の結果から総合的に評価します。

教科書 『The World at a Glance』（南雲堂）1,500円＋税
ISBN4-523-17525-X C0082

科目名	担当者名
英語 I B	北 村 弘 文 <small>きた むら ひろ ふみ</small>

講義のねらい いわゆる「文化摩擦」と言われることの多くは、結局、自分たちの文化だけを正当化し、他者の文化を相対化する健全な視点が欠落していることから生じてくる問題だ。この授業で使用するテキストでは、われわれの身近な問題を取上げ、どのようなスタンスでものを考えるべきかを、日米比較という視点から話題が提供されている。受講者は、まず、本文の内容をよく理解した上で、英問英答形式の練習問題を解き、関連する話題について英語で自由に発信できる力を養うことが求められる。

成績評価の方法 定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して、評価します。

教科書 『YOUNG POP CULTURES』（郁文堂）1,800円

その他 受講者は、予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。なお、参考書等は授業中に指示する。

科目名	担当者名
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	狩 野 晃 一 <small>か のう こう いち</small>

講義のねらい 音読・精読を通して少しずつ英語の理解力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを正確にじっくり読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点 予習を必ずしてから授業に臨むこと。辞書は必携。

成績評価の方法 最低3分の2以上の出席が求められる。試験と普段点から評価をする。

教科書 初回、教場にて指定。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお ぐち とし はる 大 瀨 利 春
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの英語の4能力の総合的な向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに10分程度リスニングの練習を行ない、その後にテキストに入る。また、小テストも行なう。
履修上の留意点	予習は必ず行なうこと。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前、後期2回の定期試験の結果とともに、出席状況、授業への参加度といった平常点も重視し、総合的に評価する。
教科書	『A Complete College English Program, Book 3』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	い せ むら さだ お 伊勢村 定 雄
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。 1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	Sadao Isemura, Dennis R. Kogge 『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円 ISBN4-590-01115-8
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・6時限

科目名	担当者名
英語ⅠA〔再クラス〕	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄
英語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	丸橋他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』（英光社）1,890円 ISBN4-87097-024-4
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・7時限

科目名	担当者名
英語ⅠA〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明
英語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『Why Is That ?』（金星堂）
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名**担当者名**

英語ⅠA〔再クラス〕

ほん ま とし かず
本 間 俊 一

英語ⅠB〔再クラス〕

**講義の内容・
授業スケジュール**

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円 ISBN4-255-15154-7

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達（Writing and/or Speaking）：ⅠAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	しば た こうなろう 芝 田 興太郎

講義のねらい	言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	(A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3～4篇のESSAY（自由作文）を書き上げる。 (B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。
履修上の留意点	表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。
成績評価の方法	定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。
教 科 書	テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	おお ぶち とし はる 大 槻 利 春

講義のねらい	英作文の演習をとおして、実践的な英語運用能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの問題を解くことを中心にすすめる。同時にリスニングの練習も行なう。
履修上の留意点	予習は必ずやってくること。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前、後期2回の試験結果をベースにしなが、出席状況、授業への参加度などから総合的に評価する。
教 科 書	『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）1,600円

科目名**担当者名**

英語ⅡA

川崎 浩太郎
かわ まさひろ たろう

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とします。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Skills for Better Writing－構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）
ISBN4-523-17448-2

科目名**担当者名**

英語ⅡA

吉川 直澄
きつ かわ なおずみ

講義のねらい

英語IAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためである。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

『しゃべりたい人の英語の教科書 入門編』（ジオス）1,900円 ISBN4-86109-001-6

英 語 II B

<英語 II B の授業内容と履修上の留意点>

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	芝 田 興太郎 <small>しば た こうたろう</small>

講義のねらい	「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。
履修上の留意点	自宅学習が欠かせない。辞書必携。
成績評価の方法	授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。
教 科 書	Lori Howard 著 <i>Read All About It Book 2</i> (OXFORD)

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	落 合 和 昭 <small>おち あい かず あき</small>

講義のねらい	このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。
講義の内容・授業スケジュール	講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。
履修上の留意点	授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。
成績評価の方法	前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。
教 科 書	1) 『初めてのビジネス英語—大学からビジネス・ワールドへ—』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3655-1 C1082 2) 『TOEIC TEST 必修単熟語チェック550点レベル』（鶴見書店）ISBN4-7553-0341-9 3) プリント

科目名	担当者名
英語ⅡB	北村弘文 <small>きたむらひろふみ</small>

講義のねらい	いわゆる「文化摩擦」と言われることの多くは、結局、自分たちの文化だけを正当化し、他者の文化を相対化する健全な視点が欠落していることから生じてくる問題だ。 この授業で使用するテキストでは、われわれの身近な問題を取上げ、どのようなスタンスでものを考えるべきかを、日米比較という視点から話題が提供されている。 受講者は、まず、本文の内容をよく理解した上で、英問英答形式の練習問題を解き、関連する話題について英語で自由に発信できる力を養うことが求められる。
成績評価の方法	定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して、評価します。
教科書	『YOUNG POP CULTURES』（郁文堂）1,800円
その他	受講者は、予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。なお、参考書等は授業中に指示する。

科目名	担当者名
英語ⅡB	林孝憲 <small>はやし たかのり</small>

講義のねらい	速読の訓練を行うと同時に英文の構成も理解する。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	初めにパラグラフごとに要約し、その後、必要に応じて精読も行う。内容は社会科学である。
履修上の留意点	単語の意味などの予習が必要となる。
成績評価の方法	平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め総合的に評価する。
教科書	『Outlook on Society』（南雲堂）1,680円 ISBN4-523-17520-9

外国語	科目名	担当者名
	英語ⅡA〔再クラス〕	萩原 てる輝 <small>はぎ たらてる</small>
	英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語を読む力と、読んだ文章に対する自分の意見を英語で表現する力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間なるべくたくさんの英文を読み、それらに関する意見を述べてもらう予定。
履修上の留意点	大学生としてふさわしい辞書を持つてくること。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	Tom Goodier 著 <i>Big Names in American Business</i> 『アメリカンドリームを継ぎし者たち』（南雲堂） ISBN4-523-17479-2 C0082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	まし もと しげ かず 岸 本 茂 和
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	つねに英語学習の基本に立ち返ることを念頭に授業をすすめてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけの章をこなしてゆきたい。
履修上の留意点	授業にはかならず英和辞書をもってくること。予習は必須。
成績評価の方法	出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。
教科書	『輝ける言葉一心に残る12章』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	お がた しげ まさ 尾 形 重 政
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語IAを基礎に、さらに英語による意志伝達能力の把握に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト中心に進めますが、適宜、補助教材も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくる。辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。
教科書	LOOKING BACKWARD - Major Events of the 20th Century 事件でたどる20世紀（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名**担当者名**

英語ⅡA〔再クラス〕

か い かつ こ
甲 斐 捷 子

英語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

基本的なアメリカ英語を聞き、話し、読むことで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。簡単な会話から、多岐にわたる職業の人々を対象にしたインタビューまで盛り込まれているビデオ教材を使用します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

よく聞き、話し、読めるようになった段階で、小テストを行い、一単元を終了します。すべての単元を終了できる予定です。

履修上の留意点

ビデオのダビングは著作権法上できませんが、授業中の訓練で十分です。授業を休まないようにしてください。

成績評価の方法

一応の目安としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%の総合評価とします。

教科書

Viva! San Francisco
MacMillan Language House ¥2,000

[ドイツ語]

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	清水 修 <small>しみず おとむ</small>
講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。 また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。 そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。
履修上の留意点	必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。 したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。
成績評価の方法	普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。
教科書	早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）
参考書等	ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	篠原 敏昭 <small>しの はら とし あき</small>
講義のねらい	簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。
履修上の留意点	欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。
成績評価の方法	毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。
教科書	『ドイツ語の時間〈初級読本 インゲとツヨシ〉』（朝日出版社）2,400円
参考書等	辞書・参考書は授業の中で指示します。
その他	CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	みなみ
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	南 はるつ

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞 後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2,300円
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しみず 修

講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法	主に平常点で評価します。
教科書	プリントを用意します。
参考書等	授業中に指示します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	篠原としあき 敏昭

講義のねらい

1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『CD付きモデル2問題発見のドイツ語』（三修社）2,700円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

ビデオ・CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	岡本ときこ
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて授業中に説明します。

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A	高橋明美

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

吉野仁子著 *Petit a Petit* (第三書房) 2,000円

科目名	担当者名
フランス語 I B	木下雄介

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、地道な努力を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

石沢・柏原・高岡『モン・ブルミエ・リーヴル』(白水社)

参考書等

仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』(大修館)
- ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館)
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)
- ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

科目名	担当者名
フランス語ⅠA〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明
フランス語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題を取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

藤田裕二他『パスカル・オ・ジャポン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	たか はし あけ み 高 橋 明 美

講義のねらい

初級文法をひとつとおりに学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

沼田五十六ほか著『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書

最初の授業のときにプリントを配布します。

科目名**担当者名**

フランス語ⅡA〔再クラス〕

はせがわ みつ あき
長谷川 光 明

フランス語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

中山眞彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA

(P.149) 参照

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

(P.150) 参照

科 目 名	担 当 者 名
中国語ⅠA	あきもと 秋元
中国語ⅠB	おう 王 たいく そう 聡

講義の内容・ 授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語 I A	塩旗 伸一郎 <small>しお はず しのいちろう</small>
中国語 I B	上原 かおり <small>うえ はら かのり</small>

講義のねらい	中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。
履修上の留意点	必ず中国語 IA・IB (火曜7時限塩旗、金曜7時限上原) セットで履修すること。 なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。
成績評価の方法	定期試験+小テスト+平常点-欠席点。 「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ひ込むのは大いなる誤解である。 欠席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。
教科書	相原・陳・飯田『一年生のころ (改訂版)』(朝日出版社) 2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A [再クラス]	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>
中国語 I B [再クラス]	

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。 毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	本間史・孟広学著『中国語ポイント42』(白水社) 2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	曹 泰 和
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を練習する。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、ビデオを通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション入門編』（朝日出版社）2,625円
参考書等	開講時に説明する。
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	あずま 東 えい ぜん 映 全

講義のねらい	この講義は、中国語の基礎を学んだ学生を対象に、より上のレベルの中国語の総合的な力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	授業内容は、先ず一年生で習得した基本発音「声母」と「韻母」を2、3回ぐらい復習して、簡単な会話に入る。次に教科書に沿って、短い文章の勉強及び会話へとつなげます。
履修上の留意点	授業へ積極的に参加して下さい。失敗やまちがいを恐れずに発言することが、外国語の習得には最良の方法である。
成績評価の方法	評価に関しては、出席重視と授業態度によって、平常点で評価する。
教科書	陳榮生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,050円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	おう 王 ぞう 聡

講義のねらい	中国語の基本表現や日常会話の学習と同時に、発音の復習や中国文化の学習も並行しています。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業します。
成績評価の方法	前期試験40%、後期試験40%、出席率・授業態度20%。
教科書	三瀧正道・楊光俊・劉雅新『たのしく話そう中国語』（CD付）（朝日出版社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子
中国語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

[スペイン語]

科目名	担当者名
スペイン語 I A	大岩 功

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

適宜小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清・児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	大岩 功

講義のねらい

初級文法を段階的に学習しながら、スペイン語の初歩的な作文能力を身につけることをことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法の学習と並行して文章読解がメインとなります。1年間で現在時制におけるさまざまな文型を学習する予定です。

履修上の留意点

課題となる訳読は必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名

担当者名

スペイン語ⅠA〔再クラス〕

栗林 ゆき絵

スペイン語ⅠB〔再クラス〕

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（毎時間の小テスト含む）30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

初回の授業の授業で指示（プリント配布予定）。初回は必ず出席のこと。

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名

担当者名

スペイン語ⅡA

荻野 雅 司

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（弘学舎）

科目名

担当者名

スペイン語ⅡB

中山直次

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り生きた表現と結びつけて修得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たち』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期未定期試験は行いません)。

教科書

中山著『トーレス一家の人たち』(芸林書房)
(昨年度からの継続受講者は購入不要です。)

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名

担当者名

スペイン語ⅡA〔再クラス〕

栗林ゆき絵

スペイン語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

現在形の復習のあと、過去や未来の動詞の形を中心に学び、初級会話を少し越えた豊かな表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに、前の回に学習した項目の確認のための練習問題を行う。

履修上の留意点

できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

福嶋教隆『生き活きスペイン語』(朝日出版社)2,000円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)
*和西(単語集)のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

外国語

〔ロシア語〕

科目名

担当者名

ロシア語 I A

ひろ た ひで やす
廣 田 英 靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名

担当者名

ロシア語 I B

ひろ た ひで やす
廣 田 英 靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。
授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡB

ひろた ひでやす
廣 田 英 靖**講義のねらい**

ロシア語ⅡBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡA〔再クラス〕

すぎやま ひでこ
杉 山 秀 子

ロシア語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernaro 『*FIFTY - FIFTY: Student book 1*』 (Longmans)
ISBN0 - 13 - 920000 - 2

科 目 名	担 当 者 名
英会話 II	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Vaughan Jones, Sue Kay 『*INSIDE ENGLISH*』 ISBN4 - 89585 - 489 - 2

英語 L L I ・ II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名
英語 L L I	甲斐捷子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

CDのダビングは著作権法上できませんが、授業時の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Language House 2,000円

科目名	担当者名
英語 L L II	狩野晃一

講義のねらい

TOEFL450点、TOEIC500点、英検2級取得程度の実力を養うことを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期はなるべく英語の音および自然なスピードになれるために特に多くの音声を聞くようにする。後期は前期でやったことを生かし TOEIC 等の練習問題を進めてゆく予定。

履修上の留意点

(小さな)辞書を必ず携帯すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席者のみが評価の対象。

教科書

初回、教場にて指定する。

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日
6 時 限	※大石 ミニサッカー		※鈴木 卓球	鈴木 健康・スポーツ論*
	村松 バドミントン		高橋 空手道	
	山口 室内球技		三幣 バドミントン	
7 時 限	※村松 バドミントン	田中 健康・スポーツ論*	※高橋 空手道	
	大石 ミニサッカー		鈴木 卓球	
	山口 室内球技		三幣 バドミントン	

※は、科目の主担当者 *時間表で教場を確認のこと。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ論	経営B選	半期	2	鈴木淳平	551
健康・スポーツ論	経営B選	半期	2	田中佳孝	552
健康・スポーツ実習(卓球)	経営B1必	通年	2	鈴木淳平	553
健康・スポーツ実習[再クラス](卓球)	経営B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(バドミントン)	経営B1必	通年	2	村松誠 三幣晴三	554
健康・スポーツ実習[再クラス](バドミントン)	経営B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(室内球技)	経営B1必	通年	2	山口良博	555
健康・スポーツ実習[再クラス](室内球技)	経営B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(空手道)	経営B1必	通年	2	高橋俊介	556
健康・スポーツ実習[再クラス](空手道)	経営B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	経営B1必	通年	2	大石武士	556
健康・スポーツ実習[再クラス](ミニサッカー)	経営B2・3・4年				
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	経営B選	シーズン	2	館岡儀秋 他	557
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	経営B選	シーズン	2	江口淳一 他	559

科目名	担当者名
健康・スポーツ論	鈴木 木 淳 平

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目： 〃
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目： 〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論

田中佳孝

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2 / 3 以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』 / 『貝原益軒の養生訓』 / 『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』 / 『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(卓球)	すずき じゅん べい
健康・スポーツ実習[再クラス](卓球)	鈴 木 淳 平

講義のねらい

卓球を生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、シングルスゲーム
- 3 時限目：シングルスゲーム
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目：ダブルスゲーム
- 8 時限目： 〃
- } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： 〃
- 12時間目： 〃
- } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： 〃

履修上の留意点

1. 定員は40名程度とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(バドミントン)	村松 誠 みづ 松 誠
健康・スポーツ実習[再クラス](バドミントン)	みづ 松 誠 みづ 松 誠

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(室内球技)	やまぐちよしひろ 山口良博
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バレーボール)
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルのゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルのゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(空手道)

たか はし しゅん すけ
高 橋 俊 介

健康・スポーツ実習〔再クラス〕(空手道)

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ミニサッカー)

おお いし たけ し
大 石 武 士

健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 - 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 - 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 - 10 時限目～14 時限目：ゲーム
 - 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)たておか よしあき
館岡 儀秋 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)
講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)

えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保
健
体
育

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスB

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.291)

科
專
門
教
育
目

II. 専門教育科目

※印の科目については、経営学科フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経営学	経営B1必	通年	4	日野健太	567
簿記学	経営B1必	通年	4	阿部一人	568
簿記学	経営B1必	通年	4	水野恵子	569
簿記学	経営B1必	通年	4	小田幹雄	570
簿記学	経営B1必	通年	4	大野満奈	571
経済学概説	経営B1・2・3・4選	通年	4	羽田尚子	572
会計学	経営B1・2・3・4選	通年	4	岩渕昭子	573
経営数学	経営B・経営A1・2・3・4選	通年	4	飯田哲夫	574
情報処理基礎	経営B1・2・3・4選	半期	2	桃塚薫	575
情報処理基礎	経営B1・2・3・4選	半期	2	依田聖	575
情報処理基礎	経営B1・2・3・4選	半期	2	加藤武信	576
情報処理応用I	経営B1・2・3・4選	半期	2	桃塚薫	576
情報処理応用I	経営B1・2・3・4選	半期	2	依田聖	577
情報処理応用I	経営B1・2・3・4選	半期	2	加藤武信	578
経営学史	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	中川淳平	578
アメリカ経営学	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	宮城徹	579
ドイツ経営学	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	高橋成夫	580
経営管理論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	枝松正行	581
経営組織論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	休講	
経営労務論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	鹿嶋秀晃	582
生産管理論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	藤原篤志	583
マーケティング論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	兼村栄哲	584
経営財務論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	高田光明	586
国際経営論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	茂垣広志	587
経営戦略論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	中村公一	588
企業形態論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	休講	
ベンチャー企業論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	許伸江	589
公益企業論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	菅谷実	589
環境経営論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	白鳥和彦	590
経営史	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	前田和利	591
日本経営史	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	大鳥久幸	592
商業史	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	山田勝	592
保険経営論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	石名坂邦昭	593
銀行経営論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	服部昌久	594
商業経営論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	石川和男	595
上級簿記	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	田辺正	596
財務会計論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	渡邊恵一郎	596
管理会計論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	休講	
会計監査論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	阿部一人	597
原価計算論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	岸田隆行	598
税務会計論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	高木克己	599
経営分析論	経営B・経営A2・3・4選	通年	4	片桐伸夫	600

国際会計論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	山田純平	601
情報会計論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	休講	
経済原論	経営B 2・3・4選	通年	4	明石博行	602
近代経済学	経営B 2・3・4選	通年	4	滝田公一	603
※経済政策	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	森岡仁	350
財政学	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	速水昇	604
金融論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	休講	
国際経済論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	永田智則	605
※日本経済論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	羽鳥茂	353
証券市場論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	佐藤昇	606
計量経済学	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	呉逸良	607
イノベーション論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	休講	
日本経済史	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	渡辺新	608
経営科学概論	経営B 2・3・4選	通年	4	西村和夫	609
情報処理応用Ⅱ	経営B 2・3・4選	半期	2	宇谷明秀	610
情報処理応用Ⅲ	経営B 2・3・4選	半期	2	宇谷明秀	611
情報理論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	西村和夫	612
経営科学	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	小沢利久	613
経営情報論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	高井徹雄	614
システム論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	宇谷明秀	615
統計原論	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	山内慎二	616
経営統計	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	長国強	617
民法	経営B 2・3・4選	通年	4	織田晃子	618
商法	経営B 2・3・4選	通年	4	重田麻紀子	618
労働法	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	藤本茂	619
税法	経営B・経営A 2・3・4選	通年	4	奥村正郎	620
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	岩淵昭子	621
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	大島久幸	621
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	奥村正郎	622
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	兼村栄哲	622
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	中川淳平	623
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	服部昌久	623
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	藤原篤志	624
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	山田純平	624
演習Ⅰ	経営B 3選	通年	4	依田聖	625
外書講読(英書)	経営B 3・4選	通年	4	中村公一	625
外書講読(英書)	経営B 3・4選	通年	4	速水昇	626
※外書講読(独書)	経営B・経営A 3・4選	通年	4	薮下紘一	387
※外書講読(仏書)	経営B・経営A 3・4選	通年	4	桑田禮彰	387
※外書講読(中国書)	経営B・経営A 3・4選	通年	4	宮本厚子	388
※外書講読(スペイン書)	経営B・経営A 3・4選	通年	4	真下祐一	388
※外書講読(ロシア書)	経営B・経営A 3・4選	通年	4	杉山秀子	388
ビジネス英語	経営B・経営A 3・4選	通年	4	杉山泰彦	626
※特殊講義(前期)	経営B・経営A 3・4選	半期	2	代田純	389
演習Ⅱ	経営B 4選	通年	4	大野満奈	627
演習Ⅱ	経営B 4選	通年	4	小沢利久	627
演習Ⅱ	経営B 4選	通年	4	小田幹雄	628

演習Ⅱ	経営B4選	通年	4	片桐伸夫	628
演習Ⅱ	経営B4選	通年	4	加藤武信	629
演習Ⅱ	経営B4選	通年	4	園田哲男	629
演習Ⅱ	経営B4選	通年	4	羽田尚子	630
演習Ⅱ	経営B4選	通年	4	日野健太	630

講義のねらい

この講義は、経営学部の1年生として、今後経営学を勉強していくための基礎知識を身につけることを目的とする。経営学の対象は大まかにいって、企業と経営の二つである。まず、学校や病院、官庁と異なる企業の性格について理解しなければならない。一方、病院の経営、官庁の経営、大学の経営と、経営は、あらゆるところに見ることが出来る。いわば組織体の運営の仕組みとしての経営についても理解を深める必要がある。

具体的なイメージを持てるように事例を挙げつつ講義を進めるように配慮するが、受講者も二つのことを心掛けて欲しい。

1. 関心のある企業を見つけ、その企業の成り立ちや経営について考えてみる（サッカーや野球のファンで、ひいきの選手やチームがない人がいるだろうか?）。

2. 身の回りの「経営」に目を向ける（経営の神様と称されるある経営者は、部下に、「きみ、家庭を経営しとるか?」と尋ねたそうだ。）。

つまり、講義で知った知識と自分の見聞・体験する事例を結びつけて考える習慣をつけてほしい。そうなれば、経営学は実に興味深い科目となり、役に立つ理論を身につけることが出来るだろう。

講義の内容・授業スケジュール

大まかには、以下のような順序で進める予定。前期、後期の初回の授業で、各回ごとの内容について述べた詳細なシラバスを配布する。必要に応じて順番を入れ替えることがある。

1. 企業論 企業形態 株主と取締役会 企業の目的
2. 経営戦略論 戦略論の視座 ドメインの定義 経営資源
3. 企業と社会 企業倫理 ステイクホルダーアプローチ 環境問題
4. 組織における人間行動 科学的管理法 人間関係論 モティベーション
5. 日本の経営の特質 労務管理上の特徴 リーン生産方式
6. 企業の国際化 企業の多国籍化 文化的コンフリクト
7. 経営学のパラダイム 経営学の歴史 社会科学の認識論

履修上の留意点

出席をとる。講義より大事なことがあると自分で判断すれば、欠席してもかまわないが、講義に出席して勉学に励むことは、受講生の権利である。ゆえに「何回以上休むと不可ですか?」という質問は成り立たない。また、同じ理由で、「講義で私語を慎むように。」という注意を教員がすること自体あり得ない。

成績評価の方法

大まかには、前期最終回に行う中間テスト30点（持ち込み可）、試験期間中に行う期末試験70点（持ち込み不可）。さらに授業中に行う小テストの結果、出席状況などを参考にして最終的な評価をする。最終的に60点以上が単位を認定される。つまり、中間テストを受験しないということは、多くの場合致命的である。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は座右の一冊として役に立つ。

その他

私の「教える」と皆さんの「考える」のインタラクションによる両者の「学ぶ」を期待している。

科目名

担当者名

簿記学

阿部 一人

講義のねらい

簿記についての基礎的な知識と技術の習得を目的とする。本講義は、複式簿記の基礎から仕訳転記、試算表ならびに精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書および貸借対照表作成までの一連の手続の説明と記帳練習を重ねながら進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 企業の経営と簿記 | (13) その他の債権・債務の記帳 |
| (2) 簿記の目的と種類 | (14) 手形の記帳 |
| (3) 簿記の基本要素 | (15) 有価証券の記帳 |
| (4) 取引と勘定 | (16) 固定資産の記帳 |
| (5) 仕訳と仕訳帳 | (17) 資本金の記帳 |
| (6) 転記と総勘定元帳 | (18) 決算整理と棚卸表 |
| (7) 試算表 | (19) 期末商品棚卸高と商品売買益の算定 |
| (8) 精算表 | (20) 損益整理 |
| (9) 簡単な決算 | (21) 精算表 |
| (10) 現金・預金の記帳 | (22) 元帳の締切 |
| (11) 商品売買の記帳 | (23) 損益計算書と貸借対照表の作成 |
| (12) 売掛金・買掛金の記帳 | (24) 帳簿・伝票 |

履修上の留意点

簿記学の実際的な側面を考慮すると、実践的能力を高めることも必要です。そこで、記帳練習を随時行って、簿記の知識と技術の習得をはかります。“継続は力なり”まさにその典型が簿記学です。簿記学は、積み重ねの学問でありますから、特に出席することが肝要です。(途中で欠席すると、その後の講義の理解が困難になります。)

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法等の詳細について説明するので、受講者はかならず出席すること。

教科書

中原章吉編著『複式簿記の基礎構造』 2,000円
ワークブック 1,400円

参考書等

講義において指示する。

科目名	担当者名
簿記学	みずのけいこ 水野恵子

講義のねらい

初めて簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はつぎのようになります。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記を学ぶにあたって 2. 簿記上の取引と勘定 3. 取引の仕訳 4. 勘定への転記 5. 試算表の作成 6. 精算表の作成 7. 決算手続 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現金・預金 2. 仕入・売上 3. 手形 4. 債権・債務 5. 有価証券 6. 固定資産 7. 資本金 8. 貸倒償却費の計算 9. 減価償却費の計算 10. 収益と費用の見越・繰延 11. 8けた精算表の作成 |
|---|---|

履修上の留意点

簿記の学習には、授業の復習は不可欠です。練習問題を多く解くことで力がつきます。一步一步の努力が検定合格には重要です。授業中の私語は厳禁です。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験のほか、講義の際の小テストの点数、出席状況などを総合して評価します。

教科書

城戸宏之著『日商簿記検定テキスト三丁版3級』（実教出版）1,700円
ISBN4-407-01975-1
『日商簿記検定テキスト基本問題集三丁版3級』（実教出版）650円
ISBN4-407-04623-6

その他

必要に応じレジュメを配布します。

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウエーブ）1,524円
羽瀨信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—中級編』（共栄出版）2,000円程度

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名**担当者名**

簿記学

おのの
大野満奈**講義のねらい**

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール**前期**

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成（1）
8. 精算表の作成（1）
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成（2）
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成（2）
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成（3）
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科目名**担当者名**

経済学概説

はねだしょうこ
羽田尚子**講義のねらい**

戦略の経済学や、組織の経済学など、経営の分野に経済学を応用する研究が盛んになっている。

本講義では、経営学を専攻する学生に役立つトピック「ゲーム理論」と「経済学」の基礎を解説する。

2年次以降の専門科目を、より深く且つ広い視点で考察するための知識の習得が、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期はゲーム理論、後期は経済学の基礎について学ぶ。

具体的な事例を入れて解説するので、どのような分野に活用できるか考えながら、講義に参加していただきたい。

講義の概要は次のようになる。尚、順番は入れ替わることがある。

【前期】

1. ゲーム理論とは（イントロダクション）
2. 同時ゲームと交互ゲーム
3. 基本で読み解くゲーム理論のキーワード
4. 少し高度なゲーム理論の戦略的思考
5. 不確実性と情報

【後期】

1. 経済学の考え方（イントロダクション）
2. 交換と市場
3. 需要、供給、価格
4. 企業行動
5. 市場と政府

履修上の留意点

確率、数列、一次関数、二次関数などの初歩的な数学を使う時がある（その都度解説は入れる）。

成績評価の方法

講義の終わりに小テスト（複数回）、学年度末に筆記試験を実施する。
小テスト30%、試験70%により評価する。

教科書

前期：渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）1,400円
後期：開講時指示

参考書等

梶井厚志『戦略的思考の技術』（中公新書）
岩田規久男『経済学を学ぶ』（ちくま新書）

その他

1. 講義に出席しノートをとること。
2. 携帯電話呼出音、私語など他人の迷惑になる行為は厳禁。守れない場合は、即退室させる。

科目名**担当者名**

会計学

いわが ぶちしょう こ
岩 湊 昭 子**講義のねらい**

会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、企業の経営成績および財政状態を明らかにし、企業の利害関係者に会計情報として提供することにあります。簿記学は、主として帳簿に記入するルールを学習するのに対して、会計学は理論的なフレームワークなどを学習しますが、本講義では、経済社会との動きとも関連して学習します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. オリエンテーション、総論
2. 会計の意義・役割
3. 企業会計の理論構造
会計公準、企業会計原則、国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
5. 資産会計
意義と分類、評価
6. 負債会計
意義と分類、評価
7. 資本会計
意義と分類
8. 損益会計
意義と分類、認識基準等
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

履修上の留意点

簿記学と平行しながら、受講すると理解が深まります。

成績評価の方法

出席・授業態度・期末試験などの総合評価。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

必要に応じて適宜指示します。

科目名

担当者名

経営数学

飯田哲夫

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

最初の授業のときに紹介する。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	担当者名
情報処理基礎	桃塚 薫

講義のねらい

この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ Windows の基本操作（電源の入れ方、キーボード、マウスの使い方、日本語入力、ファイルの保存）
- ・ インターネット活用方法（電子メール、ブラウザの使い方、情報倫理）
- ・ ワードプロソフトの基礎（Word による文書作成）
- ・ 表計算ソフトの基礎（Excel によるデータ処理）
- ・ ウェブサイトの作成（html のタグの使い方）

履修上の留意点

実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。

成績評価の方法

出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。

教科書

毎回プリントを配布します。

科目名	担当者名
情報処理基礎	依田 聖

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業で PC を道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PC の操作（Windows の基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）

履修上の留意点

講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）40%、レポート60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第3版]』（サイエンス社）2004年
1,995円、ISBN4-7819-1085-8

その他

授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科専門
教育

科目名	担当者名
情報処理基礎	加藤武信

講義のねらい	情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> コンピュータの仕組みと Windows の基本操作 アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む ワープロソフト Word による文書作成 日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用 表計算ソフト Excel による作表・作図（基本レベル） 売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成 基本関数、論理関数、データベースの活用 インターネットと電子メールの活用 Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	出席、レポートおよびテストにより総合評価する。
教科書	加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）
その他	授業の方法：パソコン実習 【クラス定員】 60名 【関連科目】 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論 ※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名
情報処理応用 I	桃塚薫

講義のねらい	この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの使い方（PowerPoint による資料作成、効果的なプレゼンテーションについて） ・データベースソフトの使い方（Access によるデータベースの操作、SQL の基礎） ・コンピュータ・ネットワークの仕組み
履修上の留意点	実習授業のため、欠席をしないようにしてください。毎回出席を取ります。なお、授業中に数回、課題を提出してもらいます。
成績評価の方法	出席点、課題提出状況、レポートにより評価します。
教科書	毎回プリントを配布します。

科目名	担当者名
情報処理応用 I	依田 聖

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理や IT ビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は (1) 表計算 (エクセル) (操作法、表計算、グラフ) (2) www-ワープロエクセルの連携 (アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析) (3) HP の作成 (HTML 言語で HP を作成)

履修上の留意点

講義にはメールを活用 (講義録の送付と課題の提出) する。
本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと (出欠は必ずとる)。

成績評価の方法

出席 (毎回の課題を提出) 40%、レポート 60%。毎回の課題はメールで提出する。受講者が多いと試験を行う場合もある。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第 3 版]』(サイエンス社) 2004 年
1,995 円、ISBN4-7819-1085-8

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60 名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の 4 月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名

担当者名

情報処理応用 I

加藤 武信

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

参考書等

授業の中で示す

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名

担当者名

経営学史

中川 淳平

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況、経営学前史
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離（制度学派）
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容（マクロ組織論・経営戦略論）
6. 経済学の企業理論（新制度学派）
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名

担当者名

アメリカ経営学

みやぎ
宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

＜2006年度『アメリカ経営学』授業計画＞

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000年（A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999年（A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

科目名**担当者名**

ドイツ経営学

高橋成夫
たか ばし しげ お**講義のねらい**

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)
北村健之助『経営経済学』(学文社)

科目名

担当者名

経営管理論

えだ まつ まさ ゆき
枝 松 正 行

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れてつづ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論 (職能論)
 - (3) 管理構造論 (組織論)
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代企業論
 - (1) 環境適応の管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

毎回出席をとり、カードにより質問・意見・要望を次回授業に反映させる。

成績評価の方法

成績は前・後期の中間テストと平常点により評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』(税務経理協会) 2001年4月

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』(税務経理協会) 1998年
鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』(税務経理協会) 2001年5月
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』(税務経理協会) 2001年6月

科目名**担当者名**

経営労務論

かしまひであき
鹿嶋秀晃**講義のねらい**

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田眞澄『人事労務管理』ミネルヴァ書房、1993(定価3000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995(定価2600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992(定価3500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名**担当者名**

生産管理論

ふじ 藤 原 篤 志

講義のねらい

生産管理は製造企業における一経営活動である生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。そしてそれは機能別・職能別に様々な管理・活動から構成されている。

本講義では様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説する。また企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げて解説したい。

また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

後期では、まず生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説する。その他、生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う予定である。その他、時間があれば、新たな生産方式（セル生産方式やモジュール生産方式）についても取り上げる。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

教科書

指定しない。

参考書等

山下高之『体系生産管理論』（中央経済社）1990年
その他、講義の中で指示します。

科目名

担当者名

マーケティング論

かねむらえい 兼村栄哲

講義のねらい

マーケティング論は、社会的な分業体制下におけるさまざまな経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問である。こうしたマーケティング論は、マクロ・マーケティング論（「流通論」とほぼ同義）とマイクロ・マーケティング論（いわゆる「マーケティング論」）の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものである。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものである。

マクロ・マーケティング論とマイクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にマイクロ・マーケティング論を扱っていく。そのねらいは、各履修者が、マクロ・マーケティング論とマイクロ・マーケティング論双方における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

講義の内容・授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
 - ・経済的懸隔の意義と内容
 - ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
 - ・流通機能の意義と領域
 - ・流通フロー
- 2) 流通機構
 - ・流通機関の意義と内容
 - ・卸売業者の意義と分類
 - ・小売業者の意義と分類
 - ・流通の客体
 - ・流通機構を取り巻く環境
 - ・流通経路
- 3) (マイクロ・) マーケティングの台頭
 - ・商業者の存立根拠
 - ・流通における商業者の地位の後退
 - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔マイクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
 - ・経営戦略
 - ・マーケティングの役割
 - ・マーケティング・コンセプト
 - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
 - ・マーケティング管理過程
 - ・環境分析
 - ・市場細分化
 - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
 - ・市場の2義性
 - ・消費財市場と産業財市場の比較
 - ・市場構造
- 4) 製品政策の領域
 - ・製品の意義
 - ・製品ミックス
 - ・新製品の意義
 - ・新製品開発プロセス
 - ・製品ライフ・サイクル
 - ・製品廃棄と計画的陳腐化
 - ・ブランドの意義と役割
 - ・ブランドの分類
- 5) 価格政策の領域
 - ・価格の設定方法
 - ・新製品導入時の価格設定方法
 - ・価格の管理方法
- 6) チャンネル政策の領域
 - ・チャンネル・タイプ
 - ・チャンネルの構築方法
 - ・チャンネルの管理方法
- 7) プロモーション政策の領域
 - ・広告活動
 - ・人的販売活動
 - ・販売促進活動
 - ・パブリシティ活動
- 8) 市場調査活動

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教科書

開講時に指定する。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
 宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
 宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（改訂版）〔同文館〕2003年

そ の 他

その他の参考書などについては、適宜紹介する。

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論－とくに、「2）流通機構 ・ 小売業者の意義と分類」において

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論－とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 ・ 経営戦略」において

経済学概説・近代経済学－とくに、「3）市場概念 ・ 市場の2義性」、「同 ・ 市場構造」

「5）価格政策の領域 ・ 価格の設定方法」において

統計学・統計原論・経営統計－とくに、「8）市場調査活動」において

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の経営戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは、企業の成長戦略と競争戦略にある。これは、経営戦略論の中心的概念であり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は、1回の講義で1つのトピックの理解に努める。

- 1、経営戦略の基本課題（経営戦略とは何か、戦略の概念、経営戦略論の発展；学説的系譜、外部環境分析・内部資源分析、戦略の策定と実行、現代企業の経営戦略、組織変革との関係など）
- 2、企業の成長戦略（企業の成長とは何か、事業領域の決定、多角化戦略、内部成長戦略；研究開発戦略・社内ベンチャー、外部成長戦略；M&A・アライアンス、グローバル戦略など）
- 3、企業の競争戦略（企業の競争とは何か、競争上の優位性、価値連鎖；バリューチェーン、コア・コンピタンス、コーポレート・ブランド、ビジネスモデル、ナレッジ・マネジメント、イノベーションなど）

以上は、講義で扱う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為（私語、携帯電話など）には厳しく対処する。1人（数名）の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

参考書等

- ・中村公一『M&A マネジメントと競争優位』（白桃書房）
- ・経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝他『経営戦略』（有斐閣）が役に立つだろう。

科目名	担当者名
ベンチャー企業論	許 伸 江

講義のねらい

経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義では、ベンチャー企業台頭の経済社会的背景について理解するため、主に中小企業に焦点を当てる。その中で、企業家（起業家）、イノベーション、および企業成長プロセス等のテーマについてもとり上げることとする。
後期の講義では、ベンチャー企業の経営的特徴について、より詳しくみていく。必要に応じて、ベンチャー企業のケースもとり上げる。

成績評価の方法

期末テストにより成績評価を行う。かつ、授業中の小レポート等も加味する。

その他

授業方法は、講義形式とする。

科目名	担当者名
公益企業論	菅 谷 実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（1）
〈総論〉
2. 公益企業とは（1）
3. 公益事業とは（2）
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制（2）
5. 公益事業規制の枠組（2）
6. 規制緩和の促進（2）
7. 政府規制の見直し（2）
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス（1）
9. リストラクチャリング（1）
10. 民営化（1）
〈個別事業〉
11. 個別事業総論（1）
12. エネルギー・水道（3）
13. 情報通信（4）
14. 交通・運輸（3）
15. まとめ（1）

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』（白桃書房）2005年5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

科目名**担当者名**

環境経営論

しらとりかずひこ
白鳥和彦**講義のねらい**

地球環境問題は全人類の課題であると共に、企業経営においても重要な課題である。我が国では公害問題以降、環境問題への対応は進み、企業活動における環境への対応は今や必須であるが、これまでは環境対応は負担と考えられてきた。しかし環境問題を企業の成長の糧、競争優位の条件として捉えた「環境経営」の取り組みが進められている。

持続可能な成長のために企業が行う環境経営とは如何なるものか。企業の社会的責任(CSR)の遂行のためにどう取り組んでいるか。企業経営における環境課題の取り組みについて理解を深めてもらいたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

環境経営の考え方と課題、およびその取り組みについて小テーマに分けて講義を行う。また産業界に籍を置く講師の知見を活かし、具体的な事例を多く取り上げていく。

1. 環境マネジメント
ISO14001、エコアクション
環境教育、環境業績評価、等
2. 事業活動(生産システム)の環境対応
温暖化防止、省資源・リサイクル、化学物質削減、グリーン調達、等
3. 環境技術開発
エコプロダクツ、LCA、環境効率、等
4. 環境情報開示と環境コミュニケーション
環境会計、環境報告、エコラベル、自然活動、等

履修上の留意点

途中数回小レポートを課することがある。

成績評価の方法

期末試験により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

単に知識を積み上げるのではなく、企業の具体的な事象に触れ、原因、成果及び効果、課題などについて自ら考えられる形とする。

科目名

担当者名

経営史

まえ だ かず とし
前 田 和 利

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
 - II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 4. 企業経営の変容
大企業体制の動揺と新動向－管理組織の変遷を中心として
- 以上のうち、前期において企業経営の確立のうち企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には進行速度に応じて事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、その他随時紹介する。

科目名	担当者名
日本経営史	大島久幸

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ

【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科目名	担当者名
商業史	山田勝

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

専科
専門
教育
目

科目名**担当者名****保険経営論**いしなざか くにあき
石名坂 邦 昭**講義のねらい**

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないと、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名**担当者名**

銀行経営論

はつとりよしひさ
服部昌久**講義のねらい**

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- (1) わが国の金融制度の沿革と特徴
- (2) 銀行の機能
- (3) 銀行の業務
- (4) 銀行経営と不良債権問題
- (5) 銀行経営とリスク管理
- (6) 信用秩序の維持と諸規制
- (7) これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、レポート(45%)、授業への出席(5%)を総合して評価する。レポートの課題は開講時に指示する。

教科書

指定しない。

参考書等

- ・服部昌久『日本型金融システムの転換』(財外国為替貿易研究会)2001年 2,700円
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社)2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社)2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社)2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社)2003年 2,200円

科目名	担当者名
商業経営論	いし かわ かず お 石 川 和 男

講義のねらい

人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（商業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）商業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）商業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に商業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 開講にあたって（受講上の諸注意）
- 2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）
- 3 流通機能と流通機構
- 4 流通機能Ⅰ（商的流通と物的流通）
- 5 流通機能Ⅱ（流通情報と流通情報システム）
- 6 流通補助機関の役割
- 7 小売とその営業形態
- 8 小売業の構造と変化
- 9 小売マーケティング
- 10 卸売とその営業形態
- 11 卸売業の構造と変化
- 12 卸売マーケティング
- 13 卸売マーケティングの事例
- 14 予算管理と販売管理
- 15 商品回転率と価格政策
- 16 仕入管理と売買契約
- 17 在庫管理
- 18 消費者行動の変化
- 19 商業立地と商業集積
- 20 商業・流通を取り巻く法的環境
- 21 流通政策Ⅰ（競争政策と振興政策）
- 22 流通政策Ⅱ（調整政策）
- 23 中小零細商業者問題
- 24 中小零細商業者の将来
- 25 日本の商業環境と商慣行Ⅰ
- 26 日本の商業環境と商慣行Ⅱ
- 27 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

- 1 遅刻、早退、中抜けをしない
- 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
- 3 他人との会話などを授業中はしない
- 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
- 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
- 6 その他

成績評価の方法

授業への参加意欲（出席点） 約30%
 中間レポートまたは中間試験 約30%
 期末試験 約40%

教科書

特に指定しない

参考書等

石川和男『基礎からの商業と流通』（中央経済社）2004年
 鈴木安昭『新・流通と商業（第3版）』（有斐閣）2004年

その他

連絡方法は、授業時に指示する。

科目名	担当者名
上級簿記	田 辺 正

講義のねらい	この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級から1級程度の商業簿記の知識を身につけることを目的としています。 投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。
講義の内容・授業スケジュール	1. 現金預金取引 2. 銀行勘定調整表 3. 有価証券 4. 手形取引 5. 引当金 6. 特殊商品売買取引 7. 固定資産 8. リース 9. 社債 10. 本支店会計 11. 合併 12. 連結会計
履修上の留意点	必ず電卓を用意してきてください。
成績評価の方法	小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。
教科書	加古宜士、渡部祐亘編著『新検定簿記講義2級商業簿記』（中央経済社）

科目名	担当者名
財務会計論	渡 邊 恵一郎

講義のねらい	財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。 講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。 (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則 (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価 (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本 (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算
履修上の留意点	毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。
成績評価の方法	成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。
教科書	桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）
参考書等	日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）
その他	(1) 授業の方式は、講義による。 (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - （1）監査の必要
 - （2）監査の意義
 - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - （1）監査の目的
 - （2）監査思想の変遷
 - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - （1）証券取引法監査
 - （2）商法監査
 - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - （1）必要性
 - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
 - （1）意義
 - （2）体系
 - （3）一般基準
 - （4）実施基準
 - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - （1）監査概念の拡大化
 - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について

て説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山本忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名

担当者名

原価計算論

ましだたかゆき
 岸田隆行

講義のねらい

原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支え、一方で管理会計を支えており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならないものである。

本講義では『原価計算基準』を元に制度としての原価計算を学習する。原価計算理論の本質を理解し、実際に自ら計算が行えるようになることが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ① 原価計算とはなにか
- ② 原価計算の機能と原価概念
- ③ 工業簿記（1）
- ④ 材料費計算（1）
- ⑤ 材料費計算（2）
- ⑥ 労務費計算
- ⑦ 経費計算
- ⑧ 製造間接費（1）
- ⑨ 製造間接費（2）
- ⑩ 部門別原価計算（1）
- ⑪ 部門別原価計算（2）
- ⑫ 部門別原価計算（3）

後期

- ① 個別原価計算（1）
- ② 個別原価計算（2）
- ③ 総合原価計算（1）
- ④ 総合原価計算（2）
- ⑤ 工程別総合原価計算
- ⑥ 組別・等級別総合原価計算
- ⑦ 工業簿記（2）
- ⑧ 標準原価計算（1）
- ⑨ 標準原価計算（2）
- ⑩ 直接原価計算（1）
- ⑪ 直接原価計算（2）
- ⑫ 活動基準原価計算（ABC）

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では随時小テストを行い、知識の定着をはかる。受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。

成績評価の方法

小テスト20点、定期試験80点として評価を行う。

教科書

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。
 木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』（税務経理協会）

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか (安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか (収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか (生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか (成長性分析)、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか (社会性分析)、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

科目名	担当者名
国際会計論	やま だ じゅん へい 山 田 純 平

講義のねらい

近年、企業活動の国際化に伴い、会計の分野においても急速な国際化が進みつつある。このような状況をふまえ、本講義では、①会計で国際的視点が必要とされる理由、②国際的な会計基準の動向とその背景となる考え方、③多国籍企業の財務諸表分析、といったことを中心に解説をしていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 企業活動の国際化と会計（会計に影響を与える要因、会計の役割と様々な会計モデル）
- 2 国際的な会計基準の動向（金融商品、業績報告、企業結合、概念フレームワーク、基準設定主体など）
- 3 多国籍企業の財務諸表分析

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とする。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説する。

成績評価の方法

試験50%、小テスト30%、出席・課題20%。

教科書

ミューラー他（野村健太郎他監訳）『国際会計入門《第4版》』（中央経済社）1999年

参考書等

教科書の内容は少し古くなっているため、授業中に補足資料を配布する。

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会(資本制経済)を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1)市場、(2)貨幣の資本への発展、(3)資本と労働、(4)資本の蓄積と再生産、(5)資本の流通、(6)資本と利潤、(7)資本の諸姿態、(8)資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 第1回 講義紹介 | 第2章 貨幣の資本への発展 |
| 序章 経済社会学と経済原論 | 第17回 資本の一般的定式とその矛盾 |
| 第2回 経済社会学と経済学 | 第18回 商品の購買と消費 |
| 第3回 科学的社会主義の学説と思想 | 第3章 資本と労働 |
| 第4回 科学的社会主義の知的遺産 | 第19回 資本による生産と労資型生産様式 |
| 第5回 経済社会把握の基本 | 第20回 剰余価値を増大させる諸方法 |
| 第6回 伝統的な経済観と経済学 | 第21回 賃金制度 |
| 第7回 経済学の拡張と展開 | 第4章 資本の蓄積と再生産 |
| 第8回 資本制の社会と経済 | 第22回 資本の蓄積と再生産 |
| 第1章 市場 | 第23回 雇用と失業 |
| 第9回 商品の二面的性格 | 第24回 身分階層型生産様式と階層分化 |
| 第10回 商品価値 | 補章 資本の流通と資本の諸姿態 |
| 第11回 商品の価値形態と物神的性格 | 第25回 資本の流通 |
| 第12回 交換過程 | 第26回 資本と利潤 |
| 第13回 貨幣の諸機能 | 第27回 商業・信用・地代 |
| 第14回 貨幣制度 | 第28回 資本制社会における市民・階級・階層 |
| 第15回 インフレとデフレの基礎理論 | |
| 第16回 市場型生産様式と市民社会 | |

履修上の留意点

講義に出席し、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。

参考書等

なお、参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』(桜井書店)3,000円+税も使用します。

科目名

担当者名

近代経済学

滝田公一

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業及び産業の経済学分析を目的とするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 産業組織論とは？
- 第2回 市場支配力の厚生経済学
- 第3回 企業の理論
- 第4回 支配的企業の理論
- 第5回 非線形価格付けと製品差別化
- 第6回 ゲームの理論Ⅰ
- 第7回 寡占理論
- 第8回 ゲームの理論Ⅱ
- 第9回 寡占の動学理論
- 第10回 製品差別化
- 第12回 企業の戦略的行動
- 第13回 研究開発投資
- 第14回 垂直的統合と垂直的制約
- 第15回 水平的合併
- 第16回 産業規制の経済理論
- 第17回 自然独占に対する最適価格付け

履修上の留意点

特にありません。

成績評価の方法

年度末の筆記試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

J. Chruch and R. Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.
J.M. Perloff and D.W. Carlton, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.
ロジャー・クラーク『現代産業組織論』(多賀出版) 1989年
新庄浩二ほか『産業組織論』(有斐閣ブックス) 1995年

科目名

担当者名

財政学

速水昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇編著 「政府の役割と租税」(学文社)

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は、現実生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

中北 徹著『入門国際経済』（ダイヤモンド社）2,800円

参考書等

伊藤元重『ゼミナール国際経済入門（第3版）』（日本経済新聞社）
ステファン A. ベーカー（樋口清秀編著／訳）『エッセンシャル国際経済学』（シーエーピー出版）

R.E. ケイブス/J.A. フランケル/R.W. ジョーンズ（伊藤隆敏監訳）『国際経済学入門』（I）、（II）（日本経済新聞社）

科目名

担当者名

証券市場論

佐藤 昇

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の気運が高まっている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤昇ほか著「入門 現代の証券市場（第2版）」（東洋経済新報社）2,800円
ISBN4-492-71160-0

参考書等

授業中に指定する。

科目名	担当者名
計量経済学	呉 逸 良

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

- (1・2) 統計学の基礎知識 (I)
- (3) 統計学の基礎知識 (II)
- (4～8) 単純回帰モデル
- (9～11) 重回帰モデル
- (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSP を利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSP の扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSP を用いて演習を行う。
- (14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
- (15・16) TSP の基礎および練習
- (17・18) Chow Test と予測
- (19・20) ダミー変数
- (21～23) 系列相関
- (24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 2003年 2,800円(税別)

参考書等

山本拓『計量経済学』(新世社)
 養谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
 養谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel と TSP 入門』(多賀出版)
 縄田和満『TSP による計量経済分析入門』(朝倉書店)
 和合肇、伴金美『TSP による経済データの分析』(東京大学出版会)

講義のねらい

経済史には、大別して二つのタイプがある。第1は、原始古代から現代に至る経済史の諸段階について、それぞれの時代の解明に独自の意義を認め、諸時代を取り扱っていくタイプである。第2は、その主要な対象を資本主義の歴史に置き、その理解に必要な限りでごく簡単に前近代にもさかのぼるというタイプである。この講義では、前期に第1のタイプを行う。この日本列島に、私たち人類が住み始めてから数万年の歴史が経過しているが、人びとが生活し、社会を形成し、国家を構成している以上、そこには社会経済的な営みは行われている。資本主義経済に先行する社会ではどのような経済構造であったのか、また私たちが住む資本主義経済をどのように生み出してきたのか、それを解明するのが前期の講義内容ならびに目的である。しかし、経済学の主たる対象が現代経済（資本主義経済）にあるのだから、経済史もその認識を深めるために資本主義の歴史を扱わなければならない。そこで、後期は日本資本主義の発達史を検討する。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。後期の講義では、日本の資本主義経済を歴史的にみていくことによって現代日本の歴史的な位置を考えていきたい。そして、前・後期の講義を通じ、経済史の基礎知識、歴史的な考え方を学べるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期の主要講義内容】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| (1) 狩猟採集経済と農業生産の始まり | (2) 律令国家の社会経済システム |
| (3) 戦国大名の経済政策と太閤検地 | (4) 幕藩制国家の社会経済構造 |
| (5) 明治維新の社会経済構造 | |

【後期の主要講義内容】

- | | | |
|---------------------|---------------|------------|
| (1) 日本の産業革命 | (2) 政商と財閥 | (3) 地主制の構造 |
| (4) 大正デモクラシーの社会経済構造 | (5) 昭和恐慌と高橋財政 | |
| (6) 十五年戦争下の日本経済 | (7) 敗戦と戦後改革 | |
| (8) 高度経済成長の歴史構造 | | |

履修上の留意点

歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

成績評価の方法

試験ないしはレポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

そのつど指示する。

科目名	担当者名
経営科学概論	にしむらかずお 西村和夫

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術のほかに、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）、OR（オペレーションズリサーチ）をはじめとする経営管理技術を導入することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し上げた。

この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

全体を大きく1、2、3の部分に分けて講義を行う。1ではこの講義で扱う学問領域（一般に経営工学と呼ばれている）を概観する。2では経営工学が対象とする経営管理の諸分野を取りあげる。3では経営管理のなかで用いられている技術的な各種手法について解説していく。ただし、2と3は相互に関連するものであり、必要に応じて順番を入れ替え、両者が有機的に結びつくよう講義を進めていく。

1. 経営工学の概略と歴史
2. 経営工学が対象とする諸分野
 - 経営計画：経営計画の策定、経営情報のシステム化
 - 販売管理：マーケティング活動、販売計画
 - 生産管理：生産方式、設備配置計画、日程計画
 - 品質管理：統計的品質管理、総合的品質管理
3. 経営管理技術の各種手法
 - インダストリアルエンジニアリング：メソッドエンジニアリング、作業測定
 - バリューエンジニアリング：価値のとらえ方、発想法
 - 経済性工学：資金の時間的価値、設備投資案の経済計算
 - データ解析：需要予測、推定と検定、回帰分析
 - オペレーションズリサーチ：線形計画法、PERT/CPM、待ち行列理論、在庫管理モデル、シミュレーション、システムの信頼性解析
 - システム解析：システム概念、情報処理システム

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は必要としない。教科書はあくまで参考として用いるものなので、毎回出席してきちんとノートをとること。また、手法についての理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価

教科書

秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）3,800円

その他

〔関連科目〕→経営科学、
講義内容と資料のページ
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/intro-syl.html>

科目名**担当者名****情報処理応用Ⅱ**宇谷明秀
う たに あき ひで**講義のねらい**

本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義（6～7回）
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習（5～6回）
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておくことと良い。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名**担当者名**

情報処理応用Ⅲ

宇谷明秀

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

1. データ分析手法の講義（3～4回）
幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。
2. プログラミング技術の講義（4～5回）
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発（3～4回）
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておくこと良い。
- ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|-----------------------------------|
| 4月 | 3回 | 授業内容概説、情報とは、情報量への要求 |
| 5月 | 3回 | 対数の原理と性質、計算練習 |
| 6月 | 4回 | 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法 |
| 7月 | 3回 | 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説 |
| 9月 | 2回 | 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること |
| 10月 | 2回 | 符号化(JISコード、万国共通文字符号)、対数・情報量の間中間試験 |
| 10月 | 2回 | 確率過程およびマルコフ過程 |
| 11月 | 2回 | 遷移確率と同時確率 |
| 11月 | 1回 | エントロピーの定義 |
| 12月 | 2回 | 冗長度、言語のエントロピー |
| 12月 | 1回 | 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測 |
| 12月 | 1回 | 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ |

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な問題を解決したり、合理的な意思決定を支援したりするための科学的な方法の提供を目的とした学問分野であり、数理モデルとコンピューターを使った定量的な分析に特徴がある。また、経営科学の応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつある。この講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について簡単な例を通じて学んでいく。応用分野としては、生産・流通とファイナンスを想定している。理解を深めるため、必要に応じてコンピューターを用いた実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、最適化のための手法（線形計画法、ネットワーク計画法）と意思決定のための手法（DEA、ゲームの理論）を扱う。最適化問題の例としては生産計画問題があるが、これは限られた資源量の下で利益を最大化する生産の計画を求める問題である。ゲームの理論では、競争下における最適戦略について考えていく。後期は、不確実性を伴う状況下での意思決定と問題解決手法を扱う。前半は金融工学への入門であり、ここではリスクを考慮した意思決定について学ぶ。後半は、生産・流通に現れる在庫の問題とコンピューターシステムの解析などに用いられる待ち行列理論について解説する。以下は今年度の講義予定である。

前期

1. 線形計画法：定式化、図による解法、感度分析、Excel ソルバーを用いた解法
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. データ包絡分析法 (DEA)：CCR モデル、効率的フロンティア
4. ゲームの理論：非協力ゲーム、ナッシュ均衡

後期

5. 金融工学入門：現在価値と債券の利回り、ポートフォリオ選択、効用関数とリスク、オプションの価格付け理論
6. 在庫問題：経済的発注量、発注点方式、定期発注方式
7. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/S モデル

履修上の留意点

経営数学、経営科学概論、情報処理基礎、情報処理応用 I を先または同時に履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教科書

高井徹雄編著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）

参考書等

宮崎浩一『証券分析への招待』（サイエンティスト社）
田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I、II』（朝倉書店）

その他

講義は板書を中心とし、必要に応じて補足プリントを配付する。実習はコンピューター室を利用する。理解を深めるために適宜演習を行う。

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史的変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教 科 書

高井徹雄他著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）2,600円

科目名

担当者名

システム論

う たに あき ひで
宇 谷 明 秀

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

1. システム論（その歴史）
2. システム論（分類と展望）
3. モデル化の方法論（分類と特徴）
4. 数理モデリング
5. コンピュータシヨナルモデリング

〔後期〕

1. システムの評価
2. システムの故障と信頼性
3. 危機管理と対策
4. 不確実な事象とシステム設計
5. システム導入における経済性

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ 2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
前期復習と中間試験	(7月中旬) 2回
標本分布	カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
統計的推定	点推定(不偏推定、モーメント法、最尤法) 4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
後期復習と定期試験	(翌年1月中旬) 2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』(新曜社) 2001年 1,500円(税別)
ISBN4-7885-0224-0

参考書等

数値表としての参考書：
森口繁一編『新編 日科技連数値表』(日科技連出版社) 1996年 510円(税別)
ISBN4-8171-0262-4
P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』(培風館) 1996年 1,650円(税別)
ISBN4-563-00839-7

その他

授業の方法 - 講義(OHPを使用する場合もあります。)

科目名**担当者名****経営統計**なが
長 こ
国 きょう
強**講義のねらい**

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
統計特性値：平均、分散、正規分布
市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測
経営指数：物価指数、
数量指数統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	担当者名
民法一部	おだ 晃子 織 田 晃 子

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税
コンパクト六法（岩波）

その他

プリント配布

科目名	担当者名
商法	しげ だ まきこ 重 田 麻 紀 子

講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキーバンソンは会社である。その会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化する等、急速な勢いで変化しており、これを受けて、今春から新たに「会社法」が施行される。これに伴い、わが国の会社法制は大きくその姿・内容を変えることになる。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、現在、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いので、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとしたい。具体的な項目としては、会社の意義、会社の種類、株式会社の設立、株主と株式、経営管理機構の仕組み、資金調達、企業結合などである。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

履修上の留意点

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自予習・復習を心がけてもらいたい。できれば、民法科目について事前に（少なくとも並行して）履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前後・後期各1回ずつ試験を行い、評価する。

教科書

最新の六法（小型のものでよい）を用意すること。
丸山秀平『やさしい会社法』（法学書院）2,000円

専
門
教
育
目

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどととも、総合的に評価します。追試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名

担当者名

税法

おくむらまさろう
奥村正郎

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V 前期、VI～X 後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著 『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名
演習 I	岩 潤 昭 子 <small>いわ ぶち しょう こ</small>

講義のねらい	会計にはコミュニケーション機能があり、企業の価値観や戦略が反映されています。会計を社会の動きと絡めて学習し、会計理論だけでなく実務に関する知識も深め、会計に対する幅広い視野と問題解決能力を身につけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータによる会計処理を通して簿記会計の基本を理解するとともに、CSR 会計など企業を取り巻く最近の動きについても学習します。時には、日本経済新聞の会計や経営に関する記事を読み、関連する会計理論や制度会計について理解を深めます。
履修上の留意点	簿記学・会計学は履修済みで、簿記会計に興味があり、将来は経理の仕事や税理士・公認会計士など簿記会計の知識を生かした仕事をしたいと考えている、まじめな学生の履修を望みます。
成績評価の方法	レポート・出席・受講態度等から総合的に評価します。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	必要に応じて、適宜紹介します。

科目名	担当者名
演習 I	大 島 久 幸 <small>おお しま ひさ ゆき</small>

講義のねらい	本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役立つ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った生き生きした歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。
講義の内容・授業スケジュール	前期の初めに文献輪読を通じて、論文の作成方法等を学んだ後、具体的テーマを設定して、有価証券報告書・社史・関連文献、雑誌記事等の資料を収集し、秋までに全員の共同作業で論文を作成する。
成績評価の方法	平常点ならびにゼミ活動への貢献度によって総合的に評価します。

科目名	担当者名
演習 I	奥村正郎

講義のねらい

近年、少子・高齢化や経済のグローバル化が急速に進展する中で、今後の税のあり方が、その使い途とともに、国民の高い関心事となっている。本演習では、一度は基礎から租税を勉強してみたいと考えている学生、また将来、会計の専門職を目指している学生を対象に、租税のしくみや意義など、基本的事項についての理解を深めてもらうことを目的とする。演習 I では、テキストを中心に現在の租税制度について学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、租税原則、租税の変遷、相続税等を、後期は所得税、法人税、消費税を中心に行う予定。

履修上の留意点

本演習では簿記会計の知識は必須ではないが、専門職を目指す学生は上級簿記等も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、課題等により総合的に評価する。

教科書

速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
演習 I	兼村栄哲

講義のねらい

受講生の一人ひとりが、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の4つを主な内容としている。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。
- (2) 年に1・2回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 4～5人のグループで業界研究をしてもらい、A4版で100枚以上のレポートにまとめてもらう。また、その概略を（2泊3日の）冬合宿で発表してもらう。
- (4) 夏休みに（2泊3日の）工場見学をおこなう。工場見学後、その内容についてのレポートを課すか、あるいは試験をおこなう。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を図ること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名
演習 I	中川 淳平 <small>なか がわ じゆん べい</small>

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者が適宜選択し、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名
演習 I	服部 昌久 <small>はつ べい よし ひさ</small>

講義のねらい

日本経済は大きな変化の渦中にある。さまざまな視点から現状を理解し、将来を展望するとともに、そのあるべき姿を考える。

講義の内容・授業スケジュール

参加者の意向を聴取した上で決めるが、原則として、前期は日本経済をめぐる諸問題に関して解説を行い、理解を深める。後期は各自がテーマを決め、簡単なレポートを基に報告するとともに、議論を深める。

履修上の留意点

受身で講義を聴講するという姿勢は好ましくない。疑問、意見を積極的に提示し、特に後期は議論をリードすることが求められる。発表者は1週間前に資料を配布し、他の参加者はそれを十分咀嚼しておくこと。

講義の妨げになるので、原則15分以上の遅刻は認めない。

成績評価の方法

演習での活動状況をもって評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名**担当者名****演習 I**ふじ 原 あつ 志
藤 原 篤 志**講義のねらい**

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名**担当者名****演習 I**やま だ じゅん へい
山 田 純 平**講義のねらい**

日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれる。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえない。そこで、本講義では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察する。また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、日本企業の財務諸表を分析することを通じて、会計基準を再検討する作業をあわせておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する。後期は、国際的な会計基準の動向を批判的に検討するために、さらに専門的なテキストを読む。あるいは、日本において会計上注目されるケースをとりあげて、会計の立場から検討を試みる。

履修上の留意点

原則として毎回出席すること。

成績評価の方法

議論への参加度、報告の出来、出席率で評価する。

教科書

授業中に参加者と相談のうえ、決定する。

科目名	担当者名
演習 I	依田 聖

講義のねらい

現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと、すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部では MOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文科系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。

本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら科学技術等によるビジネスシーズを探し、それをもとにビジネスプラン (事業計画) を作成することで、演習のまとめを行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

a. 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント (PPT) の使い方を覚える。b. 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPT を使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。

履修上の留意点

科学技術、ニュービジネス、新規事業開発、起業に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。
ビジネスプランの作成とそれをプレゼンするパワーポイントの作成を義務付ける。

教科書

授業中に指示する。

科目名	担当者名
外書講読 (英書)	中村 公一

講義のねらい

海外の基本的なテキストを使用し、近年の企業の活動や経営戦略、企業を取り巻く環境変化をテーマにした英文の購読を行う。外書購読の授業であるが、経営学関連の基本知識や事例などの説明も随時行っていく。英文を通して経営学を勉強するという点を重視して進める。

講義の内容・授業スケジュール

毎回の授業は、事前にプリントを配布し、和訳して報告してもらう。また、英文の和訳以外に、該当箇所に関連した専門用語や専門概念、事例などを調べてもらい、その発表もとり入れる。

履修上の留意点

毎回事前に課題を出題するので、その予習を行うための勉強時間が必要となる。受講者からの発表やディスカッションも採り入れるために、積極的な学習姿勢が要求される。

成績評価の方法

受講生が小人数の場合は、授業への出席と発表内容、課題についてのレポート、毎回の小テストなどによって評価する。受講生が多い場合は、筆記試験も採り入れる。(授業への取り組み姿勢が重要である)

教科書

特定のテキストは決まらずに、毎回プリントを配布する。

科目名	担当者名
外書講読(英書)	はやみ 速水 昇

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦(Trade Friction)、財政赤字(Deficit Finance)などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

レポート、小テスト、和訳等総合評価による。

教科書

授業時にプリントを配布

科目名	担当者名
ビジネス英語	すぎやま やすひこ 杉山 泰彦

講義のねらい

総合商社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の初期に貿易の形態と商売の流れを教え、基本文体を10~15パターンを覚えさせる。後期は具体的に自分で作文することを反復する。

履修上の留意点

学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して一人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

成績評価の方法

学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

教科書

田中武雄著『初めて学ぶビジネス英語』(成美堂)2,000円(税別)

参考書等

参考書は日商岩井(株)が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考としたい。

その他

大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントしてTime to Time 配布して参考としたい。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	大野満奈

講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

成績評価の方法

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。

その他

合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小沢利久

講義のねらい

人は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

Excelの総仕上げとして、VBAによるプログラミングを学びます。また、プレゼンテーション能力を高めるための訓練として、ビジネス企画書の作成とPowerPointを用いた発表練習を行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

提出物、出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小田幹雄

講義のねらい

現在の不況が続くなか就職戦線も厳しく、バブル時代のように企業は新人教育を時間をかけて育成する余裕が無くなり、即「戦力として使える人材」を求めるようになってきている。そこで、ただ漠然と大学を出ただけでは、どこの企業も相手にしてくれない。大学で「何を学び」「何ができるか」「どんな資格を持っているか」が問われる時代がきているのである。このような状況の中、「小田ゼミ」では、会計事務所や経理担当部署に就職したい学生、更に税理士の資格を目指す学生を対象に、税法についての理解と学力を付けてもらいたい。簿記検定試験2級（日商）所持者は努力すれば在学中に税法1～2科目合格も夢では無い。（このゼミは会計事務所の就職希望者や経理部署希望者向きです）

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 法人税関係：租税制度・法人税の基礎・益金・損金の計算・申告・納付
- II 所得税関係：所得税の概要・各種所得の意義・計算方法・所得控除・申告納付

履修上の留意点

授業の要旨に述べたように、日本商工会議所主催の簿記検定3級合格者が望ましい。

成績評価の方法

本年度は税金とは何か、また、税金はわれわれの日常生活にどのように関係しているのだろうか、ということを議論を交えて考えてみたいので普段の出席が大切になるので休まないこと。

教科書

納税協会連合会編『新くらしの税金百科』2004→5（清文社）1,500円程度

参考書等

随時掲げる。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	片桐のぶお

講義のねらい

このゼミは「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、

といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学、2年次の会計学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。
4年次（演習Ⅱ）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

その他

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテストによります。なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	加藤武信

講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営に関して文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、販売管理を含むデータベース設計・システム設計について、3年次に引続き勉強を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①競争戦略・戦略情報システム
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を10点ほど精読し、理論的基礎を確立し、かつ、情報システムの現代的役割と今後の展開についての基礎知識を吸収する。
- ②キャッシュフロー経営・会計の理解と会計処理と経営分析
キャッシュフロー経営・会計の理解を深めると共に、工業レベルの会計知識を修得し、ソフトの分析モデルの学習による経営分析能力を養成する。
- ③販売管理や顧客管理を含むシステム設計・データベース設計の検討
専門書などによる Access による販売管理や顧客管理の設計事例を検討する。
- ④複数プログラミング言語の検討
通産省の情報処理技術者試験取得の目標をもつ諸君に対しては、プログラミング言語の勉強もやれるように工夫する。
さらに、諸君の卒業後の進路にふさわしいテーマを設定し、ゼミ論文としてまとめてもらう。

履修上の留意点

演習は、諸君の専門をつくるための講座である。そのためには、自宅でのパソコン環境の整備（中古パソコンで可）や教材への資金の投入を惜しまず、情熱を持って努力を継続することが不可欠である。

成績評価の方法

授業への出席、レポート提出、個別テーマへの取り組みと論文作成等平常の活動を総合して評価する。

教科書

授業開始時に指示

参考書等

授業開始時に指示

科目名	担当者名
演習Ⅱ	園田哲男

講義のねらい

本ゼミは4年生を対象にゼミ論文指導を行う。研究内容としては最近の中小企業を取り巻く環境の変化が厳しい中で、企業が生き残るための自立化戦略や未来戦略について検討する。また、これらの研究活動が就職活動にプラスになればと期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰにおいて学んだ経営戦略論の基礎的文献および事業計画書の作成方法をベースに学生個々の研究テーマを決定し、個人指導を行う。必要に応じて夏合宿を実施する。学年末にはゼミ論文を提出してもらう。

成績評価の方法

出席を重視し、研究姿勢および論文内容を総合的に評価する。

教科書

授業中に指示する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	はね だ しょう こ 羽 田 尚 子

講義のねらい	各自の分析テーマを決め、演習Ⅰで習得した解析手法により分析し、レポート作成します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は各自テーマを決めます。後期は分析および結果報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。
成績評価の方法	出席状況、報告状況および分析レポートの内容により総合的に評価します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	ひ の けん た 日 野 健 太

講義のねらい	<p>好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。</p> <p>演習Ⅲでは、演習Ⅱでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習Ⅱと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。</p> <p>必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。</p> <p>普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出する。</p>
履修上の留意点	<p>ゼミ論文の提出には合計3回の中間報告が必須。</p> <p>良い論文を書くゼミ生は、他のゼミ生の論文の長所・短所をよく見ている。兄が怒られている（ほめられている）のを見る次男坊の気持ちでディスカッションに参加すること。</p>
成績評価の方法	出席とゼミへの積極性、提出された論文による。

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.409)

*他学部履修科目は、3年次生以降を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	経営A・経営B	通年	4	大吹勝男	635
社会思想史	経営A・経営B	通年	4	阿部弘	636
商業政策	経営A・経営B	通年	4	岩下弘	637
アジア経済論	経営A・経営B	通年	4	鄭章淵	638
社会政策	経営A・経営B	通年	4	竹下睿騏	639
中小企業論	経営A・経営B	通年	4	休講	
人口論	経営A・経営B	通年	4	休講	
法思想史	経営A・経営B	通年	4	高橋洋城	640
日本法制史	経営A・経営B	通年	4	茂野隆晴	641
西洋法制史	経営A・経営B	通年	4	休講	
経済法	経営A・経営B	通年	4	荒井登志夫	642
国際関係論	経営A・経営B	通年	4	三船恵美	642
地方自治法	経営A・経営B	通年	4	富井幸雄	643
国際紛争解決法	経営A・経営B	通年	4	王志安	644
倒産処理法	経営A・経営B	通年	4	鈴木貴博	645
中国禅宗史	経営A・経営B	通年	4	須山長治	645
日本禅宗史	経営A・経営B	通年	4	角田泰隆	646
インド仏教史	経営A・経営B	通年	4	池田道浩	646
日本仏教史	経営A・経営B	通年	4	袴谷憲昭	647
書道	経営A・経営B	通年	4	那須隆吉	647
仏教と文化	経営A・経営B	通年	4	岡本一平	648

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというのが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論 (価値論) ・電子マネー
- (2) 生産過程論 (労働過程論)
- (3) 流通過程論 (資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論 (中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論 (サラリーマン論)
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備 (学習) をして試験に望んでももらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社) 前期 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(梓出版社) 後期 1,500円

科目名

担当者名

社会思想史

阿部 弘

講義のねらい

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います。
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

[連絡体制]
講師の連絡先等を次に記載しておく。
TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）
03-3418-9343（経済学部事務室）
E-mail: xupabe@nifty.com

科目名

担当者名

商業政策

岩下弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- ニ わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

他学
履修
科目
部

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著「東アジアの開発経済学」（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名

担当者名

社会政策

竹下 睿 駿

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な基本的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、I. 社会政策の概念と分析視角——1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域 II. 資本主義と社会政策の歴史的展開——1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、III. 現代日本の社会政策——1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、①労使関係（労働組合）政策、②賃金政策、③労働時間政策、④労働市場（雇用・失業）政策、⑤労働者保護政策、⑥高齢化政策、⑦女性労働と社会政策、⑧ME・IT技術革新と社会政策、⑨国際化と社会政策、IV. むすび——現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎むこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策——構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村 裕通・荒又重雄編『新社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということも自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名

日本法制史

担 当 者 名

茂野隆晴

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墨田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相對濟し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

履修上の留意点

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

成績評価の方法

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円

科目名

担当者名

経済法

荒井登志夫

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名

担当者名

国際関係論

三船恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンケージ・ポリティックスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』（にちぶん）1,500円。後期教科書については、前期授業中に指示します。

科目名	担当者名
地方自治法	富井幸雄

講義のねらい 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法 前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書 開講時に指示します。

参考書等 『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他 講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名**担当者名**

国際紛争解決法

おう 王 し 志 あん 安

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名
倒産処理法	鈴木貴博

講義のねらい	破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	<p>倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倒産法制の概観 2. 破産原因・破産能力 3. 破産申立てと破産宣告手続 4. 別除権・相殺権 5. 破産財団をめぐる法律関係 6. 財団再建・取戻権 7. 破産手続の主体 8. 否認権・配当 9. 免責・破産犯罪
履修上の留意点	民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。
成績評価の方法	簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。
教科書	徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円
参考書等	<p>山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円 伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円</p>

科目名	担当者名
中国禅宗史	須山長治

講義のねらい	『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場します。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的です。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからです。禅宗は自ら不立文字と標榜しますが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのです。この事実を、禅の語録を通して考察していこうと思います。
講義の内容・授業スケジュール	昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を精読しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていきます。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、“中国禅”とはなにかを考察していこうと思います。
履修上の留意点	積極的にノートをとるよう努めてください。
成績評価の方法	出席を重視し、学年末の試験によって評価します。試験は基本的な内容を問い、具体的には、論述形式。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	<p>入矢義高他『碧巖録』上中下(岩波文庫) 梶谷宗忍他『雪竇頌古』禅の語録15(筑摩書房)</p>

他学部
履修科目

科目名	担当者名
日本禅宗史	つのだたいりゅう 角田泰隆

講義のねらい	禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は日本の禅宗の歴史について概説する。
講義の内容・授業スケジュール	日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の、仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。
成績評価の方法	年末に行なう筆記試験の成績によって評価する。筆記試験の日時については後期の授業において連絡する。
教科書	駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円
参考書等	授業において紹介する

科目名	担当者名
インド仏教史	いけだみちひろ 池田道浩

講義のねらい	インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。
成績評価の方法	受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。
教科書	特定の教科書は使用しない。
参考書等	高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会） 平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名
日本仏教史	袴谷憲昭

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舎宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第4章 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第5章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教思想
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとする事が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年
袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科目名	担当者名
書道	那須隆吉

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。
- ・中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

参考書等

随時紹介する。

科目名

担当者名

仏教と文化

岡本 一平

講義のねらい

輪廻という概念を中心にして、古今東西の文化に触れてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は体系的・組織的にせず、随意に、興味に応じて行いたい。

成績評価の方法

評価は、レポートによって行い、ペーパー試験は実施しない。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

資料は、そのつど配布する。